夕刊 滿洲日報 五月十四日

蔣系の大軍續々移動し 武漢の戰雲愈よ濃厚

京漢鐵道も一般旅客を斷り人心頗りに動搖す

【漢口十三日發電】[illegible]從が傳へられ時局は表面上小康を續け居るも事實上では[illegible]は五列車で孝感に向ひ第二師の留守役として劉峙氏の第一師が既に河南省境に到着したのを[illegible]際武漢に集中された第九、第十、第十一の各師はいづれ廣東問題に關し廣東援助のため出動を命ぜられた[illegible]楊騰輝氏の第七師は夫々武漢臨時駐防を命ぜられ之に伴ひ[illegible]十一日より杜絶し漢口より北行の旅客に金を戻し專ら軍[illegible]夏威氏は湖南、湖北軍隊整理と稱し居るも主要使命は對[illegible]き軍隊の移動と共に武漢の天地も戰雲漸く濃厚となり人心動搖しつゝある

三方面から包圍 積極的に馮軍壓迫

武漢の各軍一時に北進

【上海十三日發電】北平の第五路の采配を振りつゝある武漢方面の軍の西南部移動と武漢方面の南京各軍隊を一時に北進せしめ河南に在る馮玉祥軍を三方面より包圍する形を取り馮玉祥軍を陝西省以西に追ひ詰め之を封じ込めんとするものである、なほ京漢線上に於て蔣、馮兩軍衝突說あるも未だ確報がない

軍の北方移動につれ蔣介石、馮玉祥氏の關係は日増しに惡化しつゝあるが今回の蔣介石氏の軍隊移動計劃は積極的に馮玉祥氏を壓迫せんとするものなること明瞭で乃ち蔣介石氏直屬軍隊、閻錫山、唐生智、何成濬氏の各軍及び何應欽氏[illegible]

主力を擧げて三水を奇襲し同地は陷落した、廣東はいよ〳〵危險に瀕しつゝある

徐景唐軍寢返る

【廣東十三日發電】其の後の廣東市内は氣味惡き迄の靜穩である、西江方面の廣西第一路軍は實際に引揚げ廣東海軍の買收は不成功に終つた廣西軍は今粵漢鐵道方面に主力を集中した、徐景唐軍は廣西派に寢返り石龍で叛旗を飜した

三水を占領

【香港十三日發電】廣西軍は今朝

◇◇山東接收を前に

右より憲兵隊司令吳思豫、濟南西田總領事代理、山東省主席陳調元、谷參謀長、山東警備隊司令蔣鹿嶺の諸氏(濟南驛にて寫す)

犬養特使 十七日出發

【東京十四日發電】犬養毅氏は故孫文移柩祭參列のため十七日東京出發渡支する豫定である

膠濟沿線の引繼ぎ

着々と進む

【青島十三日發電】楊虎臣軍の一聯隊は漸く汽車輸送で博山に入り一兩日中には萊蕪方面から二旅の到着を見るはずである、又青州、金嶺鎭方面も今朝中に支那側警備に就き日本軍との引繼を了し博山

【天津特電十四日發】中央政府の嚴命に依り反日會の行動は其自由を失つた爲め前日經費節約を理由に檢查員數十名解傭し同時に斷然反日工作を停止し事務は之を本部に引繼ぐ事となり反日會は殆ど解散の姿となつたが實は換骨脫體で今度は救國運動會と姿を替へ六月一日より左の目的達成まで大に活躍する事になつた

一、廿一ケ條及不平等條約の撤廢

一、國貨の提唱に依る日貨を驅逐するまで

大々的救國運動

反日會が看板を替へて六月一日から

【北平十三日發電】反日會は衞戍司令部の嚴命に依り日貨沒收は停止したがなほその機關は存在し結局形を變へて排日運動を繼續する模樣である

馮氏は何處へ

戰はんにも勝味なく 妥協の餘地も失はる

在上海 大矢特派員

(下)

馮玉祥と廣東左派の提攜は昨秋來の懸案で、今春に至りかなり具體的なまで進んだが、遂に完全な結果を見ずして有耶無耶になつた。馮玉祥と廣東左派の首領汪精衞とは一見外觀は似通つた點が少くない。殊に既述の如く馮玉祥は孫文主義を標榜して兵卒と苦勞を共にし、農民および勞働者に厚い點は汪精衞の飽くまで被壓迫階級の味方として三民主義革命に突進しようとするのと軌を同うするものかに見受けられる。

×

しかし馮玉祥の孫文主義信奉がつけ燒刃であり、方便であると言ふ動機と立場が左派との提攜を不調に終らしめた根本的理由に外ならぬ。これに反して蔣介石と汪精衞の關係は現在では周知の如く甚だ面白くないが、しかしその著しい外見の相違にもかゝはらず、かへつて內容には深い共通點ありと消息通は觀てゐる

×

かような關係からして馮玉祥は今日蔣介石と解け難い仇怨を結んだが、しかし同じく蔣介石を敵とする汪精衞等廣東左派からの支援を受る見込もない。何と言つても汪精衞は孫文の正統的繼承者である。又蔣介石の步みつゝある道が如何に危ぶまれるにせよ彼も亦孫文の最も忠實なる信徒であるから事情さへ許せば必ず將來孫文の示した道に立ち返つて汪精衞と合作することが出來るが、汪と馮との關係は少くも今日ではこれと正反對であると言はねばならぬ。

×

もとくはじめから何人も信用したものもなからうけれども、こんどの機會に於て、馮玉祥の孫文主義を利用した假面は偶然にも必然的にはがれる機會に逢着した。從つて馮玉祥の國民黨內に於ける實際の生命はこんどの機會に於て斷末を告げたと言つてよからうと思はれる。更に遠い將來に於ても彼が國民黨に復活する日なしとは斷言し得られぬまでも、今日の彼は實際上彼自身から國民黨を出たとも言はれようし、又國民黨から出されたとも言ひ得よう。要するに從來の馮が孫文主義を利用しての大望は水泡に歸したと言つていい。

×

實際上國民黨から離れた馮玉祥されぱとて蔣介石をたゝきのめして南京政權を奪取するほどの力もなければ反つてうかくすれば蔣介石によつてたゝきのめされさうな今日、馮玉祥の出路はたゞ一つゝある。それは陝西、甘肅地方に引込んで力を蓄ひつゝ次の機會を待つことである。河南、陝西、甘肅地方は四年來の天災續きで今や大飢饉に襲はれつゝあり、財政上極めて不利な狀態にある。馮が今回山東を放棄したのは彼の卓出せる決斷で、彼は今日に於ては極力河南を保持するに努めるであらうがこれとても形勢不利と見れば河南を捨てゝ陝西、以西に退却する覺悟を持つてゐるに相違ない

彼は既に去年河南鞏縣の兵工廠を西安および甘肅蘭州に移してゐる。深謀と言ふべきである。大飢饉の西北に入ることはこの上もない苦艱であることゝ言ふまでもないが、しかし馮玉祥は苦めば苦むほど進步する男であるめ彼が先年北京を放棄してより、十萬の軍隊を率ゐて有頭五原よりアラシヤン沙漠を彷徨し甘肅陝西を迂回して去年二年振りで北京へ戾つて來たときには彼はどんなにか男を上げてゐたことか。彼の出路はたゞ西北の未開拓地あるのみである。而してこの未開拓地を開拓することによつてのみ馮玉祥は彼の將來を作るであらう(終り)

芳澤公使 對支外交を奏上

【東京特電十四日發】目下歸京中の芳澤公使は十四日午後二時半參內し拜謁仰付けられ對支外交の全般に關し逐一奏上御下問に奉答して退出した

黑田次官 けふ奉天泊

【奉天特電十三日發】黑田大藏次官一行は十三日午前十一時半着列車にて來奉、直に林總領事以下多數官民の出迎へがあり、午後零時半撫順視察に赴き、八時五分歸奉し、瀋陽館に投宿した、十四日は奉天滯在、十五日朝七時北行の筈

濟川、周村の派遣部隊は皆張店部隊に合した、之等は明朝青州方面の部隊を合せつゝ青島に引揚る豫定である、又坊子、濰縣も午後一である

山海關の奉天軍 商民を苦しむ

發電所休業し全市暗黑

【天津特電十三日發】山海關方面より入津した某氏の談に依れば目下山海關一帶には于學忠軍が集中され民家商店は悉く強制的に宿舍に充てられ盛んに橫暴を極めてゐるために一般商民は營業を中止し僅に二三の八百屋と魚屋が開店して居る位にて殆ど不當なる課稅の強制を恐れて閉店して居る、同時に同地電燈會社は奉軍入關以來錢一文も電燈料を支拂はぬ爲め營業續行不可となり發電を中止するの已むなきに至つた爲め全市は暗黑と化し僅にランプを使用して用を辨じて居ると、なほ同地在留邦人は最近增加し三菱の出張所も開設され合計百數十名に達してゐるが駐屯軍の所在地とて別狀なく平常の通り營業して居ると

伍堂顧問 きのふ歸鞍

【鞍山特電十三日發】製鋼事業視察のため歐洲へ出張中の鞍山製鐵所顧問伍堂中將一行は十三日午後三時二分着列車で官民多數の出迎へをうけて歸鞍した

萩川放談(37)

信義

日支の間には、濟南事件から始まつて、南京事件、漢口事件と繼起すべき懸案が逐次に解け去つて、今や通商條約改訂の段取に進み、こゝに支那の對日誠意が漸くに發露し來たを認むるが、それにも增して日本の對支同情の極めて深甚なる點が疑はれる、而して何時もながら日本の國際信義を守るに忠實なる、濟南事件解決に伴ふ山東撤兵の如きは支那側から種々な支障を持ち込まるゝに拘らず、それにすら色々と調和を求めて、實行の確實ならんことを期し、着々と其の步を進む、日本には常に此の信義あり、豈獨り這次の山東撤兵のみならんや、從ふて其の信義を守らざるものに對し苛酷に出づ、これ當然のみ。

◇

最近に日本と支那とは善からず支那の日本に背を示せしは、何の故かを知らぬが、日本の支那を蹂みしは、實に支那が國際信義を蹂躪するからである、されど東洋の平和を祈念する日本はこれにつき絕えず支那の反省を求め、之をして國際場裡に指彈さるゝが如きことなからしむると共に、其革命が一日も速かに圓滿結了せんことを希ひ、日本の支那に對する同情は、全くそれに繫がつて居ると云ひ得べし之が支那に通ぜしか、頃者國民政府と日本政府と折合好きが其照應とも見え、また諸事件解決に伴ひ、國民政府が約を履んで排日運動の鎭壓に從ふなんかは日本に對し所謂國際信義の遵守を表示するもの、こゝに至らば日本も釋然たり欣然たり、支那に寄する同情は更に濃からん。

◇

これから日支は、互ひに斯うした心持で、通商條約の改訂に入らんとす、談判の條項が繼し複雜で、其解決に苦難の點があればとて、此心持さへ渝らざれば必ずや之に良果を齎すべきを疑はぬが、親の心を子が知らないと云ふものか、現時に於ける東北四省に亘つて排日はどうしたことか、而も東北四省の中心たる奉天附近の公太堡にさへ、排日暴動が起る、そもく東北四省の代表たる張學良は絕對に國民政府への從順を誓ひ、其國民政府は絕對に排日を禁斷すとあつては、此矛盾を何と觀るべき是れ將に順潮に乘らんとする日支の友好を破壞せんとするものたり、罪は學良に存ず。

◇

國民政府は既に日本と好し、恐らく約を履んで學良の此排日罪にも制裁を加ふべしと信ずるが制裁を加へられずとも、學良にして眞に國民政府への從順を誓ふに於て、速かに其非を悛むべきに、之を悛めざれば、是れ國民政府に叛くなり、學良の迎南政策もこゝで尻尾が掴はれたような氣もする、そこで國民政府の革命統一には、殘存する國內の地方政權と、政見上の確執に妥協を必要とせん、併し斯うした政策上の矛盾に對しては用捨なからんことを希ふ、然らざれば望みを世界から絕たれん。

山本社長 明朝京城發

山本滿鐵社長は笹原秘書役同道十四日夜京城着朝鮮ホテルに一泊、十五日朝京城出發、十六日朝奉天乘換同夕六時大連歸着の豫定であるが、滿鐵からは社長出迎へのため神鞭理事が十三日夜行にて京城へ向け出發し更に藤井秘書役は十五日發で安東迄赴く豫定であると

滿鐵警備の責任者を處罰か

滿洲某事件の眞相は 近く陸軍省から發表されん

【東京十四日發電】滿洲事件の眞相を近く發表することゝなつたので白川陸相は十三日午後三時半出中首相を官邸に訪問し午前中貴族院有志との會見顚末、發表方法、內容につき種々協議したが、陸軍側の調查の結果は「事件其の物は絕對に軍部方面の關係者なし」となすに在るを以て發表に際しては昨年六月十二日の陸軍省公報を補足する程度にとゞめ此の意味の責任者は出さぬ模樣である、但し滿鐵警備の全責任は勿論關東軍に在り、而も一國の元首とも云ふべき人物が警備責任區域內にて遭難したる以上警備任務遂行上關東軍の責任は到底免れ得ずその責任者處罰は已むを得ざる形勢に在る、併し本件は不可抗力的事件として處罰內容は極めて消極的にとゞむる模樣である

あす木下長官が 熊岳城の漁場を視察

木下關東長官は十五日午前八時十分旅順發熊岳城に向ひ同地で一泊の上漁場を視察し十六日午後四時五分古家屯發湯崗子に一泊、それより撫順奉天方面の視察を爲すとなほ長官の熊岳城漁場視察はこれが始めてゝ特に支那側の漁業總局を訪ねて視察する筈であると

赤十字社總會

【東京十四日發電】日本赤十字社は皇后陛下御名代伏見宮博恭王妃經子殿下の御台臨を仰ぎ十六日神宮外苑で第三十七回通常總會を開くことゝなつた

滿鐵評議員會設置 近く正式認可申請

松岡副社長と首相懇談

【東京十四日發電】松岡滿鐵副社長は十四日午前九時半青山の私邸に田中首相を訪ひ約一時間懇談更に田中首相と同車で首相官邸に入り懇談を重ね十一時辭去した、右は嚢に山本社長より大體申出てゐた滿鐵職制改革案中の評議員會設置につき諒解を求めたもので此の結果滿鐵は近く關東廳を經て正式に認可を申請直に承認を得ることゝなつた、評議員會設置は來る六月二十日の滿鐵株主總會で決定の筈である

社員會組織改正 役員會にて協議

幹事會各部長決まる

滿鐵社員會幹事會では十一日の會議に於て三年度決算承認の件、四年度豫算報告等を附議し保々幹事長の指名により新に左の各部長を決定した、當日は右の外各地會員沿線見學案內に關する件並に組織改正(組織部提出)其他婦人分會新設に關する件(撫順提出)等が論議されたが何れも改めて硏究することゝなり、就中組織改正の件は重要懸案であるため來る廿五日の協和會館に於ける評議員會までに更に細部に亘り役員會に於て案を練ることになつた

庶務(花井修治)組織(二村光三)編輯(上村哲彌)會計(松本貫一)青年(笠木良明)婦人(伊藤眞一)事業(千葉豐治)相談(波田吉太郎)運動(山岡信夫)共濟(松浦開地良)宣傳(八木沼丈夫)調查(未定)

褚玉璞氏 消息不明

褚玉璞氏は本日來連直に香港丸で日本に亡命すると傳へられたが途中急に豫定を變更したものゝ如く芝罘より大連に入港した海語丸にも第廿六共同丸にも乘船してゐなかつた、一說によると大連上陸を阻止されることを知り便船を得て朝鮮へ到り日本內地に亡命した方が得策であるとしてこの方法をとつたのではないかと云はれてゐるなほ又一說によると芝罘某國領事館に身を匿してゐた褚氏は昨日來消息不明をつたへられてゐると

市會招集は沙汰止み

依然成算なし

石本市長を繞る市會の人々は助役收入役問題の行惱みに對し頻りに焦慮し局面打開の策を講じつゝあるが未だ成算立たざるものゝ如く今月に入つても去る三日を以て緊急市會を招集する豫定であつたが沙汰止みとなり更に十五日開會の內議を進めてゐたがこれ亦目算成らず延期となつた

張氏の幕下多數赴日

けふは曹氏外二名

別府に靜養してゐる欧陽張宗昌、吳光新氏等の後を追つて最近便船毎に張氏の幕下が日本へ行つてゐるが十四日出帆の香港丸でも今後の打合せ等の重要用件を帶び海軍中將溫樹德、元交通總長曾毓雋、同弟曾作舟三氏が別府へ向つた

人事

▲加賀山學氏(鐵道省工務局長)青島へ赴任の途次十四日午後八時半大連着の豫定

▲泉二新熊氏(司法省刑事局長)奉天丸にて十七日上海より來連一泊の上十八日旅順へ

▲神鞭常孝氏(滿鐵理事)山本社長出迎の爲め十三日出發京城へ

▲藤井十四三氏(滿鐵秘書役)同上、十五日夜出發安東へ

大觀小觀

電報と謠言の戰爭が長江沿岸で開始された。電報料が多く、宣傳の上手な方が勝つに決まつてる。

◇

廣西派が廣東を衝き、蔣派は河南に進み、馮軍は山西を狙ふ。將棋倒しの下積は張學良クンである。

◇

吉會線問題でグズついてゐるうちに飛んでもないことになるかも知れない。

◇

皇姑屯事件は既に我國に責任なしと決まつた筈である。ソレを今更の如く騷いでゐる貴族院議員、慌てゝる政府、共に倶に愚劣。

◇

サンマータイム否決となる。何うなつても大した問題でなし。

◇

市會招集說は市長派の夢想と判明。あまりモガくべからず。

天氣豫報

十五日(曇) 南東の風

日出四時四一分 日沒六時五九分 滿潮前一時五〇分 干潮後二時三〇分 千潮前八時 後九時四十五分

早慶、カ大を初め強チーム續々來る

實滿戰を了つて六月下旬から 滿洲球界頗る多事

大連の野球界は過般行はれた關東州野球大會以來各チームの有力選手は實業、滿倶に歸属して一國一城となり來るべき六月二日より開始せらるべき本社主催の實滿戰に活躍するため、連日火の出るやうな練習を續けてゐる結果ゲームそのものは無風狀態にあるが、實滿の終了後六月下旬から實滿兩軍に戰ひを挑んで遠征を希望して居り、或は

滿實側 より來滿を望んでゐるチームは慶大および慶大の招聘によつて今夏來朝するカリホルニヤ大學、早大の諸豪に今春のリーグ戰に法、帝、立、慶の四者と對戰して好成績を擧げ渡米軍に劣らぬ强味を示してゐる明大留守軍、國學院大學、今年は陣容充實して大學チームに匹敵する横濱高商、九州の一角に嶄然頭角を現して門鐵と共に內地實業團中の强チームである八幡製鐵所、新人を多數迎へ入れて

陣容を 整へた寶塚協會並に大毎の選拔大會の優勝戰に殘つた廣陵中學等であるが、右の內殆ど確定してゐるのは慶大とカリホルニヤ大學で前者は豐富にして堅實なること沂來無比の投手團を有し、攻守共に最も充實せる六大學リーグを通しての强者であり後者は米國のカレッヂチーム中傳統的に强味のあるチームであり兩者共に滿倶、實業にとつては絕對に

油斷の できない强敵であるからの滿洲球界は頗る多事であらうと見られてゐる

殉職した滿鐵傭員 表彰

滿鐵大連埠頭機械方傭員三澤玉市は三月五日第一埠頭石炭積込機運轉中インクラインド、コンベアー取附ボールトの取替をなさんとしてギヤーに捲き込まれて瀕死の重傷を負うたが責任觀念から機械を破損せしめ且石炭積込作業を中止するの餘儀なきに至るので重傷にも拘らず四米突を離れた非常用自動停止ボタンを押し機械の運轉を止めこれが安全を確め更にその旨主務者に報告すべく匍匐して三米突の地點まで至つたとき危篤に陷り遂に死亡したが、斯の如きは職務上稀に見る責任行爲だとして滿鐵では十二日社員表彰規程第一條第七號により勳績章並に金一封を授與して表彰するところあつた

儲からぬ日本で結構な御馳走

米國記者團歡迎會における ジョンズ代表の挨拶

【東京特電十四日發】十三日經濟聯盟、工業倶樂部聯合の米國記者團歡迎會の席上、團琢磨氏の歡迎辭に對して起つた代表ジョンズ氏の答辭は相當皮肉もあつて興味を惹くものがあつた

大震災後の東京市復興の跡には驚嘆した、然し

急激な 歐風崇拜のために日本在來の獨特な家屋の優雅な面影をお忘れないやう希望する、それから今日は日本實業家のお歷々が御出席なので私は二三の方に「商賣は如何です」とお訊ねした、するといづれもお答は「いや些つとも儲かりません」に一致してゐたが、私はアメリカでも實業家から常にこの「些つとも儲かりません」を聞かされます、然し

ソンナ に儲かりませんものなら今日こんな結構な御馳走は戴けない筈だと考へますが如何なものでせうか

特使殿下御西下

けふ正午御殿場を御發

【富士山麓精進十四日發電】グロスター公殿下は十三日富士五湖御巡遊に御感興を深めさせられたが十四日は午前九時精進ホテルを出でましモーターボートで精進湖を御越になり馱馬を召して御殿場に御到着午後零時四十分御殿場發列車で御西下になつた

けふの日程

【東京特電十四日發】米國記者團一行は十四日午前市內の各工場を參觀正午東京倶樂部における日米協會招待の午餐會に臨み、午後二時吉田外務次官招待の園遊會を次官々邸內に開會、折柄の微雨に天幕の中から新綠を愛で、夜は日本郵船會社が紅葉館に招待して晩餐會を催し例の日米國旗踊で華やかに一行の御機嫌を取り結んだ

瓦斯會社の宣傳デー

南滿瓦斯會社では支那人方面に對し大々的宣傳をなすべく實演の展覽會を十四日から五日間同社內で開催十四、十五兩日は大連居住支那人三千名に招待狀を發し招待デーとして蓋を開けたが早朝から非常な盛況を見せてゐた、招待者に對しては社員總出で歡迎し泰華樓から出張してる瓦斯實演の饅頭コーヒー、菓子その他を振舞ひ、場內の裝飾もスッカリ支那式で、金銀細工、理髮屋、料理店、菓子店等の實演即賣もありまた家庭用として燒鍋子などが最も喜ばれさうに見受けられてゐたが一般の入場は十六日から三日間となつてゐる

ペスト船元山丸 或は燒却か

なほ一名の疑似患者 長崎で檢疫に大童

【長崎十四日發電】ペスト船なる神戸山本汽船の元山丸は大阪税關港務部にて停船を命ぜんとしたところ、十一日午後一時既に三池に向け出港し間に合はざるより門司港務部にて之が檢疫消毒をなさしめんと手配したが、同船は關門を通過せず土佐沖を經て三池に向ひ居ること判明したるより直に同船に對し長崎入港を命じたるため同船は十三日午後五時長崎港外に着いた、長崎税關港務部にては直に防疫官その他衞生技師女神檢疫所にて同船を檢疫し乘組員四十名の內三分の一を船內に、三分の二を檢疫所病院に收容し檢疫、健康診斷、動物試驗を行つて居るが防疫の徹底を期するために或は船體を燒棄するやも知れずと、なほ同船には一名の疑似患者あり關係者は大に緊張してゐる

照つたり降たり厭なお天氣

まだ一兩日は續かう 大連では稀有の現象

この數日來例年になく陰鬱な天氣が續く……これに就き大連觀測所の吉田技手は語る

この現象は大連に於ては殆んど稀有のことで、內地の雨期は每年六七月の候揚子江流域に連續的に發生する低氣壓が黃海を橫切つて日本を通過する其都度雨をもたらすのであるが

滿洲の 雨期はそれより約一ケ月半遲れて七月十日頃より八月二十日前後にから黃河流域に發生する低氣壓が渤海を橫切り遼東半島より陸に入つて滿洲を東漸し日本海に拔けるので日本海に滯留してゐる高氣壓に遮られて停低するために連日陰鬱な天氣が續くのである、然し內地の雨期に比して滿洲の雨期は期間も短く雨量も比較にならぬ程少ない、昨今の天候は恰度この滿洲の七八月頃の

雨期と 同じ現象を呈してゐて此數日來黃河流域に連生する小低氣壓が、日本海方面に頑張つてゐる高氣壓と相對してゐる結果である、例年雨期の雨量は全滿洲を通じて六百二三十ミリで其內約半數量は七月中に降るのを例とするが、今年は未だ曾て觀ない雨期に等しい現象を二ケ月も早く見たのだから七八月の雨期には雨は降らぬかと云ふに、決してさうとは限らない、從つて降つても

雨量が 少なからうと云ふ樣な豫斷も出來ない譯である尚十四日の豫報は氣壓の配置から云ふと更に黃河流域に小低氣壓ありて東進の氣勢を示し、高氣壓は北海道附近にあつて大連初め沿線一帶は小雨、安東縣は晴れ、朝鮮一帶は曇天であつて大した事はないと思ふが茲一兩日は尙この天氣が續くものと觀測されると

咽喉部 を締付けた騷ぎ

父要一が之れを制止するや却つて狂ひ出し要一を散々殴打した上に隣家の者が駈け付け要一も漸く命拾ひしたが、恐怖のあまりその場より妻女を連れ他所へ避難する

キング六月號の大計畫五つ

キングはその六月號にかて又々「愛の勝利物語」「名畫ローマンス」「笑はせ大會」「一騎打物語」「本領發揮物語」の五大計畫で、天下をヤンヤと熱狂させて居る。

將校服の男 巡捕を射つ

金を强奪されたと申出 現場に向ふ途中

【昌圖十四日發電】十四日午前二時半ごろ滿井驛（昌圖北方）に年齡廿三歲位の將校服を着た支那人が現はれ附屬地に於いて匪賊より金八十圓强奪された旨申出たるため、同驛では早速此の旨警官に急報し日本人巡查及び支那巡捕の二名が右の申告者と共に被害現場に到る途中突然右の男が發砲し巡捕任仕長の左腕貫通銃創、下腹部盲貫銃創、左大腿部及左脚貫通銃創等を負はせ逃走した、日本人巡查は直に右犯人を追跡したるも遂にその行方を發見するに至らず右巡捕は直に第二五列車にて四平街醫院に入院せしめたるも重態であると

迷惑を かけては相濟まぬと再び歸國せしむべく旅費調達

みか、他人に對しても迷惑を……萬一のことあつてはならぬと子を思ふ親心より相當の旅費を預け入日出帆のはるびん丸で內地へ歸したが門司に到着と同時に摺れ違ひの大連行定期船に移乘し十二日歸還しその後も方々徘徊してゐるので、要一やまさ子は何時危害を加へられるやら生きた心地もないのでみか、

中であるから、旅費の出來るまで一時大連署に預つて保護して貰ひたいと云ふのである

大連市民大運動會 申込みは愈よ明日限り

公太堡事件の負傷警官へ

藤岡警務局長から慰問電

【奉天特電十四日發】公太堡における我負傷警官に對して十三日午藤岡警務局長から慰問電があつたと

多聞丸は救助

關東州廳繫船多聞汽船會社の第十八多聞丸は去る九日北海道江差岬燈臺において坐礁し浸水危險に瀕して救助を求めつゝあつたが、十三日當地海務局への入電によれば幸ひ函館より救助船あり乘組員は船長鷲島元吉氏を初め一同無事であつたと

伊藤警部一行 今明日に引揚ぐ

後藤關東廳警務局長より乾報天署長宛左の如き慰問電が到着した

暴民のため傷痍を受けたる署員に宜しく傳達を乞ふ

【奉天特電十四日發】公太堡事件に對する根本問題は彼我の交渉機關に讓ることゝなし同地來駐中の李公安局長も今後約一週間責任を以て村民の妨害行爲を取締ること言明したので、伊藤警部一行は情勢を見たうへ十四日乃至十五日朝同地を引揚げる豫定であると

滿洲視察を終へ 五團體歸る

十四日出帆の定期船香港丸は五つの團體を內地に送つた、入江八郞氏を團長にする福岡縣々會議員滿蒙視察團一行九名、小野軍吾氏を團長とする長野縣實業視察團一行十名、下關商業一行百廿三名、廣島縣山師範學校一行卅八名、豐橋商業一行百二名、何れも滿蒙見物に滿足し切つて離連

子思ふ親心

精神異狀の伜の保護願ひ

大連能登町七〇加藤只一かた宮崎要一（五〇）は十四日大連署保安係へ伜龜吉（二三）の保護方を願出た、願書に現はれた願の理由は伜龜吉がこの五日夜二時ごろ發作的精神に異狀を來し消燈の上妻女まさ子（假名）（二四）に對して突然猥褻行爲に出たので、當時病氣臥床中のと共に龜吉を慈惠病院に入院させた、然るに龜吉は病院を拔け出し晝夜の別なく方々を徘徊するので

ゴリラを乘せて Z伯號準備飛行の途へ

【ベルリン十三日發電】ツエッペリン伯號世界一周飛行の準備飛行搭乘について各方面から申込があつたが乘客十九名、乘組員四十名外に雌のゴリラが乘込んで出發した、ゴリラはミッシーと云ふ名前の所有者でシカゴ動物園に贈られるものであるが、その連れ合の雄ゴリラは可愛さうに取り殘されてしまつた、ツエ伯號のコースは向ひ風と濃霧の心配から

一、ボルドーからアゾレス群島ベルムダ島を經由するもの

二、ジブラル海峽からファンルを通りベルムダを經由するもの

三、最南コース則ち常に追風に惠まれる貿易風帶の北端コース

の三つの內一つを取るであらうが第三コースは距離が長過ぎて取られまいと

今曉、老虎灘で續け樣に三軒を襲ふ

犯人は支那人で硝子窓を外す

大連市外老虎灘市番外三二和田鶴三郞、內藤善二郞、宮原甲三郞の三氏方に十四日午前二時頃から同四時頃までの間に泥棒忍び込み內藤氏方では賊が枕元に立つたのを妻女が目を醒して逃走させ宮原氏方では熟睡中であつたゝめ金時計（鎖メタル附）時價三十五圓を竊取され、和田氏方では三男正君が四時頃炊事場に水呑みに行つた爲め一物も得ず逃走した

これを聞いた正君の母秋子さんは夜明け頃のことゝて賊を追かけたが遂にとり逃がしこの旨派出所に訴へ出でしも逮捕に至らなかつた平和境の老虎灘に一夜に三軒も見舞はれたので居住者は極度に不安を感じてゐるが犯人は支那人でガラス窓のボテをはがしてガラスを取除いて侵入する手口だと

露天市場の辻强盜狂言か

袋に入れて持參したもの、借金は日本貨であり不足の爲保證人である劉家屯宮培永方へ持ち行かんと前記の場所を通行中强盜に遭つたと申立て不審の點多く或は口實の爲の狂言ではないかと目下嚴重取調中

手配の四人組 强盜送還

山東龍口に於いて四人組强盜として手配中の敗殘兵魏樹五、魏煥章、孟憲軒、呂占山の四名は兵亂に紛れて大連に逃れて來たが、運惡く同船した被害者五奇堂に發見せられ屆出に依り小崗子署の手に逮捕せられ本日山東に送還される事になつた、尙最近張宗昌の敗殘兵にして小崗子方面に徘徊して居る者で判明してゐる數だけでも約二十名あり、彼等は衣食に窮すれば郊外に出で强盜を働き治安上面白くないので是等も便船の有り次第山東に送還すると

飛んだ氣焰 十郞の內緣の夫

旅順青葉町料理店若廼家抱へ藝妓十郞が自分を喰ひ物にして離れぬ內緣の夫大連乃木町一四高橋林太郞との關係を細々に陳情し離緣說諭方を旅順署に願出た事は當時所報の通りであるが、右事件移牒により大連署では高橋を呼び出し十郞の意見を傳へると共に若し意見あらば書面に認めて提出して貰ひたいと通じた處、高橋は十郞との關係には毫も觸れず自分の一代記を罫紙六百十一枚に綴つて來たので署では更に書き直しを命じた處今度は最後の項に日露戰の時近衞鬼將軍淺田閣下の手許にて戰線の露語通譯として彈丸の中に居りました、忠臣高橋としてこのお願をする等と氣焰を擧げてゐるので係官もブッと吹き出してゐた

本社見學

十四日午前旅順師範學堂生徒三十五名は中村教諭公主嶺公學堂生徒三十二名は廣原教諭にそれぞれ引率され本社を見學したまた旅順師範學堂女生徒十四名は十四日葛西教諭に引率され本社各部を見學した

◇……大連署では十三、十四の兩日間市中にウヨウヨしてゐる不良なボロニーヤ狩を行つたが、十三日のみで許可を受けて居りながら許可證を携帶してゐなかつたり、不正な秤を所持してゐたり、無許可で營業に從事してゐたりして告發されたもの九十三名

◇……ツエ伯號は本日午後四時試驗飛行のため短距離飛行に出發した【フリードリヒスハーフェン十三日發】

◇……シカゴ市に住むアレキサンダーシヤーロッグとその妻君のアンナは夫婦喧嘩の末十年この方一言の言葉をも換さない會話の必要な時には手紙を交換して來たが、最近妻君の方から夫が少しも私を省みないと云ふ理由で離婚訴訟を當地の裁判所に提出した【シカゴ電信】

◇……十四日橫濱出帆のプレシデント、ジャクソン號で桑港へ向ふ豫定であつた豆飛行機のケーニッヒ男は船室の都合で出發を延期【東京十三日發電】

慶大軍惜敗す

對明大留守軍野球

【東京特電十三日發】明大留守軍對慶應野球二回戰は十三日神宮球場に明大先攻で開始左の如く九回目六對六の同點となり補回戰に入つて大接戰を演じて八對七で明大凱歌を奏す

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	
明大	〇	〇	四	〇	二	〇	〇	〇	〇	二	八
慶大	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	五	一	一	七

バッテリー明大鬼塚・八十川・井川 慶大塚越・上野・水原・川瀨

早大投手病む

對慶大戰を控へ

【東京十三日發電】十八・九の兩日に迫れる早慶野球戰は久し振りに五分五分の接戰が見られるとファンの興味をそゝつてゐる折柄・慶應の宮武投手と一騎打の興味をかけられてゐる早大左投手小川選手は右足關節捻挫の爲め帝大病院に入院してゐるが・更に山出投手も肩を痛めファンは大いに心配してゐる

デ杯戰歐洲ゾーン 獨西各一勝す

【バルセロナ十三日發電】デ杯戰歐洲ゾーン西班牙對獨逸第一日シングルは左の如く西・獨各一勝した

メイエ（西）棄權 エッチクラインスロット（獨）

モルデルハヨエル（獨） 六－〇 六－一 六－三 ダヤテ（西）

寺尾マサ子孃結婚

【東京十四日發電】女子スポーツ界の花形として異彩を放つてゐた寺尾マサ子（一九）孃は十六日華燭の典を擧げることゝなつた・新婿は市外高田町地主前田耕藏君（二六）と云ひ早稻田大學商科出身マサ子さんは妹の文子さんと共に短距離界で鳴らし・大正十三年の神宮競技には五十米突を七秒の日本記錄を作つたのを最初に五十・百・四百リレー等で新記錄を作つてゐる

汀に春深し 星ヶ浦にて

金剛呪門（238）

山中峰太郎作 小田富彌畫

自然兒一

川の流れを見つめて、少年の虎三が、何を考へてゐたか？

それを思ふと、可憐な氣に動かされた、隼、

「そして、お前のお父さんのことは、なんにもお母から聞かされなかつたか？」

と、いたわつて尋ねる言葉に、虎三は顔を激しく振つた。

「聞きたかねエんだ。そんなこと！」

「なぜだ？、虎三！」

「聞くだけ、おいらは涙が出らゐ」

「ウム、だが、お父さんに逢ひたくはないのか？」

「……」

「え？、おまへは孤兒ぢやなかツたんだぞ。血を引いてゐる立派なお父さんが、こゝにゐられるんだ！、虎三！」

と、聞くと、俄に顔を輝かした虎三、見る見る眞赤になると、眼の前に坐つてる重兵衛と、まともに顔を見合した。

「……」

初めて相見る父と子が、つながる血縁に、かよふ氷ひの情愛に眼ざめながら、

「これ、おまへは！」

「……」

と、言つたまゝ重兵衛は、ハラハラと涙をこぼした。

「……」

虎三の圓らな眼にも涙がにじんだ。

「あゝ私が、わるかつた。私は、決してお前を捨てる氣ではなかつたけれど、……今さらこれを言ひだして、父と名のれる私であるとは、思はれぬけれども、どうぞ今日からは、この家にゐて、おまへの一生涯を……」

と、きれぎれに言ふ重兵衛を、まばたきもせずに見つめる虎三、急に顔をしかめると、

「では、おいらは、この十合の子だつたのかい？」

と、大聲に叫びだした。

「そうだ、虎三！、この御主人が江戸へ行かれた時に、今日お前が逢つたお母さんと、そしてお前は江戸で生れたんだ」

と、そばから數へる隼に、虎三、またも訊ねた。

「すると、あの數之助といふ人はおいらの兄さんだね？、親分、さうなんかい？」

「あゝさうだとも！、かうして素性が分つてみれば、お前はこの十合のお家の御次男さまだ。佃も聞いたら驚くだらう」

「……」

檜普請の周圍の建具から天井をグルリと見廻した虎三、なほシミジミと重兵衛を見まもると、涙をためたまゝ言ひ出した。

「おいらは、十合の次男だか知らねエが、こんな邸の子になるのは嫌ひでエ！」

「なんで？、なんで、そんなことを言ふ？」

と重兵衛は、手を取らぬばかりに膝をすゝめた。

「こんな大きな邸にゐて、樂に暮してちやア、人間が腐つちまわア！」

「それはお前の了簡ちがひ、私らは決して樂には暮してゐない。朝夕共に、商賣のことで、心配しいしい生きてゐるのやもの、よその人が思ふほど、さうさう樂なものでは……」

「そんな心配なら、なほ面白くねエや」

と、虎三が啖呵を切つた時、丁稚の松吉が勝手に呼んできた數之助とお京、その後に乙蔵が、あわたゞしく廊下から入つてきた。と

「ヤア、虎三、手前、大え出世をしやがつたぢやねエか」

眞先に聲をかけた乙蔵が虎三の前に、ムズと座ると、

「松吉どんから聞いたんだ。手前……ぢやねエ、何といつたら好いんだい、やツぱり若旦那か、坊ちか、巾坊ちか、小坊ちやんか、此まア邸の落し胤だツて言ふぢやねエか！、え？、かう！、少しは己にも分け前をよこしねエよ、小坊ちやん！」

と、差し出した顔を、いきなり

「何を言ふんでエツ！」

聲と共に、ビシヤリと横面を張つた虎三、スツと立上ると、

「おいらは、隼の親分！、野育ちの虎三だよ。出世するなら獨りですらア！、こんな邸に引取られるのは眞平だ！」

叫びながら燕のごとく廊下へ飛び出したまゝ、前に自分が隱れたことある縁を、ツ、と走つて行つた。

映画と演藝

少女歌劇三の替

連日大入滿員の歌舞伎座の少女歌劇は明晩より左の通り三の替りを上演する

歌劇 モガ水兵 一幕
歌劇 神に祈る夜 一幕
新作舞踊レヴユウ 七景
歌劇 石童丸 一幕
歌劇 銀座行進曲 一幕

◇◇豐太閤足輕篇◇◇ マキノキネマ春季特作品太閤記三部曲の其一でマキノ省三氏立案總指導中島寶三脚色監督作品オールスターキャスト（次週演藝館上映）

映画案内

滿洲日報

馮軍は奥地に向ひ移動を始むるか

平漢線の車輌多數を抑留して全線不通となる

[illegible]中部は馮系軍の輸送に忙殺[illegible]居り馮系軍は漸次陝州方面[illegible]し奥地に向ふらしく軍の移[illegible]共に車輛も隴海線に移してゐる[illegible]同地方の人心は極度に不安[illegible]はれてゐる

[illegible]は公金四萬元を私消したと報告すると共に新聞にも公表した

馮軍大擧して山西攻撃か

省境に有力部隊配置

[illegible]有力な部隊を配置してゐる、之[illegible]閻錫山軍は山西の南西部に[illegible]軍に對抗すべき充分の軍隊を[illegible]してゐる

中國鐵道の完成に努む

米債と米人技師とて

北平に滞いた孫鐵道部長語る

[illegible]るはず、米國との航空契約も[illegible]部の反對にかゝはらず順調に[illegible]み既に契約も成立した、宋慶[illegible]はシベリア經由で二十日頃來[illegible]する

グロスター公

京都に御着

陳調元氏

正式に就任

【南京十四日發電】陳調元氏は十[illegible]正式に山東省政府首席代理に[illegible]し政府を濟南に移すことゝな[illegible]

山東接收委員の暗闘

【南京十四日發電】山東接收委員[illegible]士傑、委員李[illegible]施氏の暗闘爆[illegible]李氏は國民政府宛に崔士傑氏[illegible]

犬養特使

二十日出發

【東京十四日發電】芳澤公使は二十三日東京驛發二十四日神戸より乘船上海に向ふ事となつた、又犬養翁は二十日東京發二十一日神戸發汽船で孫文遺靈祭列席のため渡支する事となつた

遣外艦隊の御慰問使

長江を遡航

【上海十四日發電】遣外艦隊御慰問使住山侍從武官は本日午後一時軍艦嵯峨で上海に向つたが、長江筋各地駐泊軍艦を慰問しつゝ漢口より重慶に遡江し月末迄に下江し歸朝の途に就く筈

民政黨の新政策

具體案成る

【東京十四日發電】民政黨は十二日午後二時半本部に政務調査會の組織機能改善に關する特別委員會を開き、特別委員會には政務調査會長、總務、幹事長も出席して意見を述ぶることに決した上小川委員長より左記政策具體案に關する原案を報告し協議可決し次の政務調査總會に報告するに決し五時散會した、黨としては左の九大項目を主要政策として各目特別委員會を設けて具體化した上民政黨内閣の際實行することゝし又對支問題に於ては非常に力瘤を入れ此の際對支外交特別委員會を設けて調査し黨の意見を定むることゝなつた

政策具體化に關する特別委員會案

一、金解禁
二、公債政策
三、政費節約
四、義務教育費
五、税制整理
六、社會政策
七、農村政策
八、金融制度改善
九、電力政策

支那問題の原案協議

日本經濟聯盟

【東京十四日發電】日本經濟聯盟會は十四日工業倶樂部に支那問題特別調査委員會を開き委員長井上準之助、委員兒玉謙治、白岩龍平、荻野元太郎、川野重九郎、一宮鈴太郎、宮島清次郎氏等出席し七月アムステルダムにて開催の國際商業會議所總會に提出さるべき支那問題各種議題に對する意見を決定すべく井上委員長の原案を基礎として協議し日本委員として出席すべき池田成彬氏をして支那の現狀に即した報告をなさしむるに決した、報告要項左の如し

一、支那に於ける條約侵害狀況
二、支那の國際信用回復に關する件
三、支那に於ける生命財産の不安狀況
四、支那の排外狀況

不戰案批准遲れ內閣改造亦遷延

宣言書の文案決定せず

【東京十四日發電】不戰條約樞府、制局長官は新設省の名稱につき二上樞府翰長と折衝の結果結局「拓務省」が最も當を得たものではないかといふことになつたと報告したが最後の決定は尚保留し白川陸相より最近支那各地の情報を報告した後昨日貴族院各派有志との會見顛末を述べ滿洲某重大事件に就ては陸軍の調査完了次第改めて閣議の承認を求めて發表の範圍內容等を決定したいと諒解を求めた

御諮詢奏請問題は十四日の閣議の話題に上つたが未だ批准書中に挿入する宣言書の作成が出來てゐない爲め何等決定を見なかつた、此の分では關西行幸に先立ち御諮詢を奏請することも困難と見られ斯て內閣改造亦遷延の已むなきに至り結局六月一日迄には拓殖省大臣の任命は困難となつた

新設省は驪務省か

十四日の閣議

【東京十四日發電】十四日の定例會議では田中首相より阪神地方ベスト發生事情並に今後續發の模樣なく陛下の行幸は御豫定に御變更なきものと拜すと報告し、前田法[illegible]と述べて閣僚の諒解を求めた

漁區問題報告

【東京十四日發電】山本農相は本日の閣議席上にて日露漁區問題につき

鐵落の漁區問題は日本側の希望に對して露國側は之れを國內的問題として簡單に應じない模樣であるから、今後は外務農林兩當局にて好く打ち合せ最善の措置を講じ度い

日支借款整理會議

今月末召集

【上海十四日發電】我國の督促につき國民政府は今月末日支借款整理會議を召集するに決定して我國に非公式に通告して來た、支那側は日本と同時に諸外國との債務も同時に整理する方針らしいから會議は債權國が聯合參加して開かれることゝなる模樣である、尚日本側首席代表として公森財務官が之に當ると

河本高級參謀第九師團に轉任

後任は板垣卅三聯隊長

過般來某事件に關聯して兎角の說のあつた關東軍司令部高級參謀陸軍大佐河本大作氏は今回左の通り第九師團司令部附に轉勤を命ぜられ後任として第三十三聯隊長陸軍大佐板垣征四郎氏が就任することゝなつた

を以て關東軍參謀から第九師團司令部附に轉任を命ぜられた河本大佐の異動につき陸軍當局は單に大佐が最近神經衰弱症に罹つた爲め暫時靜養を切望してゐたのが承認されたのみで別に意味はないと語つてゐるが、大佐が奉天在任中滿洲某重大事件の突發もあり最近再燃した某重大事件問題の議論もあり大佐今回の轉任は頗る注目されてゐる

陸軍辭令

【東京十四日發電】

關東軍參謀 步兵大佐 板垣征四郎
步兵第三十三聯隊長
補關東軍參謀
第九師團司令部附被仰付 步兵大佐 河本大作

意味はない

陸軍當局は語る

【東京十四日發電】本日陸軍辭令[illegible]

七千萬圓の滿鐵社債發行

【東京十四日發電】滿鐵は六月二十日定時株主總會で社債七千萬圓發行の件を附議すると

公太堡暴動事件で張氏に嚴重抗議す

きのふ林總領事から

【奉天特電十四日發】公太堡に於ける支那側農民及び官憲の暴動事件に關しては應援に向つた伊藤警部一行より出先支那官憲に嚴重なる交渉を爲し今後は支那官憲に於て責任をもつて取締ることゝなり暴民並に支那官憲等のわが警官並に勸業公司員に對する暴行に對しては林總領事より本日交渉署員を通じて張學良氏に嚴重なる抗議を爲した

朝陽鎭吉林城間十五日から開通

一日一回混合列車運轉

【吉林特電十四日發】吉海鐵道の朝陽鎭、吉林城間はいよく開通し十五日から一般營業を開始するが兩地より一日一回混合列車を運轉することゝなつたが貨客相當に多き見込である

教育大會で排日講演

奉天各學校を巡廻して

【奉天特電十四日發】支那側教育會、青年會、道德普及會等の主催の下に去る十二日より民衆教育大會を開催、王教育會長、袁青年會長、朱東北大學教授等は各學校に於て巡廻講演をなし東北と日本鐵道問題その他に關する排日講演を爲したるも官憲の嚴重なる警戒により會場以外に於ける民衆團體の遊行運動はなかつた

奉天城內に共產黨標語

公安局で發見

【奉天特電十四日發】十二日當地工業區一馬路一帶に、共產黨宣傳の標語を何者か貼附しあるを支那側公安局にて發見し直に之を剝ぎ取り目下共產分子の取締を嚴重にしてゐる

朝鮮博覽會農林省出品

決定通知す

【東京特電十四日發】今秋京城で開催される朝鮮博覽會に對し農林省山林局から左の通り出品することに決定し朝鮮當局に通知を發した

一、本邦に於ける林野所有別分布圖
一、內地に於ける保安林種類別並に所有別面積一覽圖
一、最近我國に於ける主要林產輸出入概況圖
一、民有林植伐事業の趨勢
一、國有林野造林事業開始以來隔十年施業面積比較
一、國有林野に於ける歲入歲出累年比較
一、國有運搬設備現況
一、國有林特殊の運搬設備模型
一、國有林砂防事業施行とその施行後に於ける林相寫眞並に國有林寫眞
一、輸出入關係林產物各種標本

梅津軍事課長渡滿

【東京十四日發電】陸軍省の梅津軍事課長は本年十一月より增設さる滿洲獨立守備隊二個大隊の兵舍準備の爲め十二日渡滿したが、次で鐵洲某重大事件につき調査を爲し同事件の發表に資する筈尚歸京は六月一日の豫定である

濟南の居留民は案外平靜で居る

迫間大佐の視察談

第二遣外艦隊機關長迫間清大佐は十四日入港の榊丸にて來連直に旅順に赴いた、山東撤兵に伴ふ一般の情勢に就き語る

安滿師團長も引揚げ來青し、殘部隊も十三日には濟南を出發する事になつてゐる、邦軍引揚後の治安と云ふものに對しては支那側で極力留意して居る事であるからあまり騷がれてゐない、私が此方にくる時なぞ萬歲々々で青島市中は沸き返る樣な賑かさで老も若きも旭日旗を手にして迫つた別れを惜んでゐた、濟南接收の任に當つた支那側幹部は吳恩像憲兵司令山東警備司令范熙績氏を初め師長旅長に至るまで總べて日本の士官學校出で日本語を話し、日本に對しては深い理解をもつてゐるから大した事はないと居留民も安心して居て案外平靜である

本年度の米穀需給

十月末殘存米五百七十萬石

【東京十三日發電】五月一日現在內地在米高は既報の如くであるが最近五ケ年間及本年上半期の實情より推定するに十月末迄の米穀需給狀況左の如くである（單位千石）

△供給

五月一日現在高	三三、二二六
五月以降十月迄の鮮米豫想移入高	二、〇〇〇
同臺灣米	一、一〇〇
同外米輸入高	六〇〇
供給合計	三六、九二六

△需要

五月以降十月末迄の內地消費豫想額	三一、〇〇〇
同期間移輸出豫想額	二〇〇
需要合計	三一、二〇〇
差引殘高	五、七二六

即ち總持越高五百萬石を控除すれば七十二萬六千石の供給過剩となる、尚昨年同期持越米七百八十三萬石に比し今年は二百十一萬石減少の見込である

芝罘入港の華船徵發

片つぱしから劉珍年軍に

十四日芝罘より入港した海壽丸がもたらした報道によると、支那船は劉珍年軍の徵發を恐れて芝罘に一隻も入港せず既に政記公司の永利號は劉軍に徵發され張軍敗殘兵約千名を搭載、瑭沽に向つて昨日朝出帆したと、なほ利通公司所有の芝罘、仁川、大連間の定期船利通號は十三日芝罘に向つて出帆のところ徵發される恐れありとの報に接し出帆を差し控へ十四日朝漸く出帆した

山本社長

京城に到着

【京城特電十四日發】山本滿鐵社長は本日午後七時五十分到着朝鮮ホテルに入り小憩の後山梨總督を官邸に訪問し一泊十五日總督府各局部長を朝鮮ホテルに招待し午後八時發列車にて北行の筈

荷主側は泣寢入か

松花江の航業紛爭問題

【哈爾賓[illegible]發】航業公會對荷主運輸業者の紛爭のため奉天へ招致せられた航業公會々長王理堂氏は奉天から實情調査のため特派された審查委員とゝもに十日歸哈したが十一日正午航業公會において航運業者、荷主及び運送業者等の聯席會議を開き奉天にての經過につき報告する處があつた、而して一方特派された調査員は各方面に亙つて實地調査の上で協方法を講ずべく目下双方の意見を聽取中であるが仄聞する處によると奉天當局では航業公會の計畫を遂行せしめる肚であるらしく結局荷主側は泣き寢入りの外はないと見られてゐる

學生思想徹底的に取締る

【東京十四日發電】從來文部省專門學務局內の一課として各學校の思想善導の統一に當つてゐた學生課は、六月一日より大臣官房に移り勅任の課長を置き大規模に學生思想を調査して其の對策を講ずる事となつた、今後は學生の思想問題につき飽くまで徹底的に取締る方針である

め十七日午前八時十分發急行にて沿線各地へ出張することゝなつたが豫定は二十日位だと

市內小學校長公用電話

近く架設す

市內小學校長及び公學堂長の私宅に公用電話を架設することについては大連市役所に於て既に豫算を計上し遞信局への申込み手續きも終つたが、近々中には架設される運びになつてゐると

戰蹟弔慰團一行招待午餐會

滿洲在鄕軍人後援會では卅日正午將校集會所で一戶大將の來旅を機として大將を主賓に戰蹟弔慰團代表一行を招待し午餐會を催すと

軍司令官視察

村岡關東軍司令官は甘井子築港の視察の爲十四日午後二時陸軍運輸部の日東丸にて甘井子に向つたが、約一時間を經て歸還した、因に滿鐵よりは小日山理事も同行した

西山課長歸期

朝鮮に出張中の西山警務課長は二十日頃歸廳の豫定である、尚警察會議は無期延期となつたが多分藤岡警務局長と西山課長の歸任を俟つて開催されるであらう

關東廳辭令（十三日附）

任關東州小學校訓導 朝鮮公立小學校訓導 西島羽寅次

人事

▲迫間清氏（海軍機關大佐）十四日入港榊丸にて青島より來連

▲加賀山學氏（鐵道省官吏）外隨員四名十四日視察の爲來連ヤマトホテルに投宿

▲齋藤固氏（朝鮮鐵道局員）外隨員四名同上

木下長官の視察日程

二十日に歸廳

熊岳城其他視察の途に上る木下長官の日程は左の如くにして春日秘書官、富田理事官外三名が同行し小川殖產課長は熊岳城から一行に加はる筈である

十七日撫順、十八日本溪湖、十九日安東、二十日歸廳

松井大使免官

【東京十四日發電】十四日閣議決定

特命全權大使 男爵 松井慶四郎
依願免本官

學校の社會科學研究取締を打合せた

司法官會議から歸連せる森本大連法院長談

本月三日から一週間司法省に於て開かれた全國の控訴院長、地方裁判所長、檢事長、檢事正の司法官會議に出席し十三日歸廳した森本大連地方法院長は左の如く語る

今回の會議の主要議題は十月一日から實施される筈の改正民事訴訟法に關する打合せであつたが、その他問題となつたのは各學校の社會科學の研究取締りに關する打合せであつて、從來大學又は專門學校に於ける社會科學の研究は學校當局に取締りを一任してゐたのを、今次の會議の結果今後は檢事局がこれを所管することに決定した、關東廳では近く二名の檢事が增員される筈でそのうちの一名は主として各學校に於ける社會科學研究取締りの任に當ることになつた因に右取締に關する具體的方法に關しては、官廳の決定するを待ち學務課方面と協議決定することになるものとみらる

沿線豫算查定

滿鐵々道部營業課旅客係主任員塚新作氏は昭和五年度豫算查定のた[illegible]

安田朋子

木下長官が美味求眞の後篇を脫稿したといふ本欄の記事を見て長官の曰く▲「實は旅順へ來てから書いたのではなく既に浪人中、前篇を書いた後引續き一氣呵成にものしたのであるがマダ之れから朱を入れなければならぬ、之れが容易な仕事ではない」▲と惟い原稿を見せながら「誰かに淨書を頼めば宜いのだが斯ういふものは成るべく自分で一切やりたいと思ふ、さうなるとマヅ浪人でもしなければ完成出來ぬことになる」▲「しかし備てられるのは宜いが非常な料理通のやうに評判されて方々から講演を頼まれるには困るよ、東京なら一席數十圓の講義料は呉れるがいくら貧乏の僕でも關東長官が內職をしたとあつてはネ……」

一日一線（9）

滿蒙鐵道驛傳競爭を前にして

頗る有望視さる北滿の呼海鐵道

奥地は宛らの穀倉

新線呼海鐵道は、哈爾賓傳家甸の對岸松浦より海倫に至る二二四、六哩、馬船口枝線四哩餘の鐵道で、ケージは標準軌道である。

最初馬船口、綏化間の工事に着手したのは一九二六年の春で、この竣工は翌二十七年の春、更に綏化、海倫間は二十八年の春工事に着手し、一九二八年十二月全通を見たのである。

この沿線は、沃野であるが、河川多く、橋梁の數だけでも三十九、內九橋梁は大きなもの、その中で、秦家崗附近の呼蘭河橋（全長三五五、五米突）は殊に大きく、而もこれ等は悉く木橋である。

○——○

この鐵道は、一九〇九年以來四度黑龍江省議會に於て敷設問題起り、その間及びその後幾多の經緯があつたが遂に一九二五年黑龍江省政府によつてこの計畫は具體化した。

鐵道資金の內容は、黑龍江省政府と廣信公司の五百萬元、及び民間よりの五百萬元、計一千萬元（哈爾賓大洋）である

本來この鐵道は濱黑線（哈爾賓黑河間）とその他を合せた六四五哩）の一部であり、この鐵道敷設に關しては、一九一六年三月二十七日支那政府と、露亞銀行との間に「濱黑鐵道借款契約」の調印成り、露亞銀行は支那側に前渡金さへも出してゐる、

その後、更に一九一九年六月十四日、露亞銀行と、正金銀行との間に「濱黑シンジゲート契約」と云つたものが成立して、その權利を亨有負擔することゝした、

然るにそれ以後幾多の曲折を經て、遂に吉林省當局は、他國に頼らず自國の資本に依り「呼海鐵道」と銘を打つて敷設したものである。

東支側からこれを見れば、曾て露亞銀行との借款線であり、又東支鐵道の援助の下に東支同樣五呎の軌幅として敷設することに、吳俊陞とイワノフ東支管理局長との間に諒解が成立し、後奉天側の反對で獨力敷設となつた鐵道なので、東支にとつては宛ら滿鐵に於ける瀋海（瀋陽－海龍）の關係に類似したものである。

○——○

この鐵道の背後地は名だゝる北滿の穀倉であり、今後頗る有望視されてゐる鐵道である。

現在鐵道哩數も短く、貨車亦尠く未だ馬車、河川によつて運送される數量も存外多い。

然しいづれこの線が墨爾根あたり迄延びるか又は克山鎭方面へ延びた曉は、すばらしい線となることであらう。

一九二八年四月から一九二九年三月迄の一ケ年間にこの鐵道によつて運ばれた貨客數を見ると

人員	九〇二、六〇四人
其收入	一、二六四、二八三元
貨物	五八九、四八二噸
其收入	二、六五五、五九九元
雜收入	八二、一二四元

と云つたやうな有樣で、一ケ年總收入は約四百萬元以上となつてゐる。

勿論今後條件が完備すれば（貨車の增配と運賃の低減等）增收も亦豫想される所である。

尚三年度沿線貨物出廻り驛の主なる所を拾つて見ると

綏化	九九、九七〇噸
興隆鎭	八二、〇〇〇噸
呼蘭	四一、二〇〇噸

この貨物の約六割は大豆、三割は小麥、その他一割は雜穀と云つた內譯である。

○——○

呼海鐵道の概觀は大體右の通りであるが、しかし問題の重點は鐵道の奥、豐饒なるヒンターランドに在る、而してこの線の將來は頗る大きな興味が繫ぎ得らるゝのである。

この點に關しては、既に齊克線（齊々哈爾克山鎭間）の延長は既定事實で、目下軌道工事も少しづゝ進んでゐる、克山鎭迄進めば海倫は目睫の間である。

そして克山鎭、海倫の連結こそ北滿の穀倉と云はれる沃野の開拓に一轉期を來し、而して穀物の運搬と、移民の招來に一步を進め目覺ましき「鐵道時代」を生み來すことであらう。（寫眞は呼海鐵道沿線）

特產 定期後場（銀建）

▲大豆（福灘）（單位厘）
▲豆粕（現合）（單位厘）
▲豆油（保合）（單位錢）
▲高粱（保合）（單位厘）
▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

錢鈔 定期後場（單位錢）

現物後場（單位錢）

商品 後場（出來不申）

神戶特產物（十四日）

大阪株式

橫濱生糸

大阪綿糸

大阪期米

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二九五三	二九五三
六月	三〇〇〇	三〇〇〇
七月	三〇一四	三〇七一

神戶期米

限月	後場寄	後場引
五月	二九五二	二九五六
六月	三〇二二	三〇二九
七月	三〇七九	三〇八三

(第三種郵便物認可)

滿洲日報

地方的たるべき滿蒙問題

芳澤公使の對支意見なりと云ふに據れば、支那の國民政府と新規蒔直しに條約改訂交渉をなすも、滿蒙問題は飽くまで東三省當局を相手にその解決を圖るべく、新條約締結に當つても特に右の主旨を容認させるとの事である。吾等は曩に滿蒙問題が條約改訂交渉の一難關とならざるかを一言して置いたが、滿蒙問題は當該地方官憲を相手としてその解決を圖るのが本筋であるから、我が政府が國民政府と條約改訂交渉をなすに方り、特にこの點を容認させるのは當然な事で、そこには一分の讓歩をも許されぬのである。

◇

政權が南京の國民政府に移つてから、支那の外容は大分變つたけれども、實質内容は從來と餘り變つた所がない。五色旗が青白旗となり、三民主義が全支那を風靡したところで、馮や閻の猾軍が殘存してゐる外、更に私兵を擁する種々の新軍閥が生じ、新舊軍閥たる蔣馮兩派の衝突も宣傳さるゝと云ふ狀態であつては、新舊各勢力が地方を地盤として封建的に割據するといふ情勢は今も尚ほ昨の如しと謂ふべく、從つて統一なるものは名だけに過ぎない。張學良を中心とする舊奉天軍閥は蔣の國民政府に合流し、青天白日旗を東三省に揭げたけれども、その封建的地方割據の情勢には絲毫の變化もないのである。

◇

支那の新興勢力を過大に見積る者といへども、此の支那の實質内容は認めざらんと欲するも得ざるべく、從つて地方の問題はその當該地方の割據的勢力を相手として交渉するの至當なることも認むるであらう。況んや我國と特殊の關係を有する滿蒙においてをやで、既得權益に關する事柄は無論の事、その然らざるものも、苟くも滿蒙問題に含蓄さるべき事柄は、一切悉くその地方的勢力たる東三省の支那當局との間に之が解決を圖る事にせねばならぬ。東三省當局が外交權を中央政權たる國民政府に移すと云ふは、例の術策であるから、我國は此くの如き籠引に氣を腐らす事なく、滿蒙問題は飽くまで東三省當局を相手に交渉を運むると云ふ堅い決心をなし、一方國民政府にこれを容認せしめなければならぬ。吾等はこの點について芳澤公使がその言明を裏切らざらんことを希望するものである。

◇

今の國民政府の滿蒙問題に對する意嚮として傳へらるゝ所は區々になつてゐる。或る報道によれば、日本の滿蒙における既得權益を認めてゐると云ひ、又他の報道によれば、大正四年の日支條約はこれを認めて居らぬと云ふ。その孰れが眞なるかは判斷に苦しむ所であるが、統一の美名に憧がれてゐる國民政府の事であるから、東三省乃至東北四省にも靑天白日旗の揭げられた今日、たとへ日本の既得權益を認むるにもせよ、滿蒙問題の交渉は今後改めて中央政府との間において爲すべしと、斯う主張するだらうと思ふ。法制や裁判及び行刑制度の尙ほ不完全なるにも拘はらず、例の面子のために、治外法權撤廢を主張して已まぬといふ狀態から考へてみても、國民政府が滿蒙問題の地方的交渉を容易に認めやうとは考へられぬのである。

◇

日本と滿蒙との特殊關係から云つても、支那の實質内容が依然として軍閥割據の封建的なる點から言つても、我國が滿蒙問題の地方的解決を主張するは當然である。然るに國民政府の意嚮が右の如くであり、當該地方官憲たる舊奉天派が例の術策よりして外交權の中央政府移讓を唱へるといふ有樣では、之を突破して我が正しき主張を貫徹するのは容易な業でない。吾等が曩に滿蒙問題を條約改訂交渉中の一難關であると云つたのは此の故である。此の一事だけでも芳澤公使の責任は極めて重いと謂はなければならぬ。

赤露職業同盟の閉鎖を計畫

東鐵電信電話回收案を確定し 蔣斌氏哈爾賓に急行

【奉天特信】張學良氏は五月三日東支鐵道電信電話回收案を承認し前回哈市電信處を回收直接衝に當つた奉天電信電話課長蔣斌氏を十四日哈市に派遣し電話處を回收せしめると共に本月中に東省特別區並に東支沿線に在る赤露の職業同盟其他不穩團體閉鎖をも實行する筈であると

高氏との不和が翟氏辭職の原因

高氏盛に張氏に焚附く

【奉天特信】翟主席の辭表提出に關し某支那側要人の語る所に依れば今回翟主席が辭職したのは高紀毅氏との不和に依るもので高紀毅氏は東北交通委員會副委員長の職を利用し翟主席に無斷で自己の勢力扶植の爲め各鐵路局に自派人物を採用せしめ事毎に翟氏を排斥し最近は奉票暴落に依り之は翟主席の無能なる爲であると學良氏に告げ學良氏も高氏の言を信じ翟主席をうとんずる樣になつたによるため翟主席は高氏は陰謀家なる爲め將來は第二の郭松齡ならんと語つたと云ふ事である

奉海鐵路總會

【奉天特信】奉海鐵路局にては來る十五日商總會に於て規定に基き株主總會を開催の上董事の改選を行ふ筈にて當日張學良氏は狀況の

孫文の移柩式に學良氏參列せず

代表二名を特に派遣

【奉天特信】國民政府より派遣された中央執行委員吳鐵城氏は十二日夜平奉線にて北平へ向つたが聞く處によれば故孫文の移柩式參列につき張學良氏の出席督促のためわざわざ來奉したものであるが之れに對し張學良氏は時局の關係上この際赴燕は見合せると拒絶し代表として軍令廳長王樹常氏秘書廳長王樹翰氏を派遣せしめることゝしたと

閻の特使南下

【天津特信】閻錫山の密旨を受けて朱綬光は十日北平より入津し老站に於て傅警備司令曾公安局長と會見し直に津浦線にて南下し蔣介石と重要問題に就て交渉する筈である

中央の命に依り兩縣名改稱か

【遼陽特信】遼寧省政府は中央政府の命に依り省内の縣名中、興京縣は清朝發祥の地に因んで命名した沿革を有つので、現在では民國政府の趣旨に合致しない、また海龍縣は龍神の神祠と云ふ意味で現代民國としては不合理と云ふ解釋から興京を新賓、海龍を輝北と改稱することに省委員會に提出した由

四鐵路會議終る

各線は互助的精神で自給自足を申合はす

【奉天特信】既報支那側としては最初の試みである東北鐵路會議は十三日を以て終了したが右に就き仄聞する處に依ると北寧四洮洮昂齊克各鐵路にして貨物輸送其他一般の業務擴張に際しては互助的精神を以て切に自給自足となし他國の依賴等は極力排止すべき事を決定せるもの如く滿鐵方面との對抗策に就ては別段極端なる方針は執らざる模樣なりと傳へらる

罌粟栽培公許

【間島特信】情報によれば露領水淸區内ハバルク地方の一般住民は昨夏の水害で慘憺たる苦境に陷つてゐる爲め極東政廳は其の情狀に鑑み同地方に限り罌粟の栽培を公許してゐると

開灤炭礦の勞働爭議解決す

双方代表間に妥協成立

【天津特信】久しく紛爭して居つた開灤炭礦の爭議も十日午後五時双方の代表間に正式に解決が出來たが其條件の内容は左の如し

一、增給に就ては十五元より二十四元迄の者は每日八分增し、二十四元以上五十元迄の者は一割增し、五十元の者一割增し、七十元以上は五分增し

二、煤票に就ては五日以内の休業者は得票を差引かない、一ケ月以内の請暇も願出に據つて差引かない

三、休業日に就ては陰曆正月三日間、陽曆正月二日間、中山先生誕生日、中山先生忌辰日、双十節、五一節、每年定例休日九日然して工作繁忙の際は合定例休日でも作業に服せしめ二倍の工賃を給し服業せざる者も給料を差引かない

四、工會は廠内に從業中の職工を突然逮捕するが如きは違法に就き法律に依つて解決す

ラヂオ英語講座

大連放送局五月十五日午後七時三十分

講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第七回（第七週第一課）

Cherry-Flower Viewing.　第一回

1. Let us go and see how things look out-doors.
2. Where shall we go?
3. Let us take a walk to Hoshigaura to see cherry blossoms.
4. It's impossible to get into any of these tram-cars.
5. Then let us walk. It wouldn't take us more than an hour.
6. Yes, that will be better, It's rather pleasant to walk, so nice.
7. Now here we are.
8. Oh, it's very nice; much better than expected.
9. Yes, the flowers are now at their best.
10. There's a bench, let us sit down.
11. The sun shines so brightly.
12. Yes, there's not a cloud overhead.
13. Hard! Birds are singing.
14. The rain has not spoiled the flowers.
15. We have come at the right time.
16. See, a butterfly is flying over there.
17. Now I begin to feel chilly.
18. Then let us go home.
19. There comes a car, let's get in.
20. We must change cars at Tokiwabashi.

* * * * * * * * *

花見

1. 外出して戸外の樣子を見ませう。
2. 何所に行きませうか。
3. 散步旁星ケ浦へ花見に行きませう。
4. どの電車にも乘れませんね。
5. では步きませう、一時間以上はかゝらないでせう。
6. さう、それもよいでせう、天氣が大層よいから步く方が却つて氣持がよい。
7. さあ、來ました。
8. あ立派だね、思つたより遙によい。
9. さうね、花は今滿開だ。
10. あそこに ベンチ があるから腰をかけませう。
11. よく晴れてゐますね。
12. ほんと一に、日本晴です。
13. 聞いて御覽、鳥がさへづつてゐます。
14. 雨が降つたが花は大丈夫です。
15. 丁度よい時に來ましたね。
16. あれ、向ふに蝶が飛んでゐます。
17. 少し寒くなつて來ました。
18. では歸りませう。
19. 電車が來たから乘りませう。
20. 電車は常盤橋で乘り換へねばなりませぬ。

滿日俳壇

雲雀　島田青峯選

○ 大連　日野　玄鳥

郊外の踏切番や雲雀鳴く

雲雀野に風募りつゝ夕づきぬ

丘の上の午砲鳴りけり揚雲雀

○ 哈爾賓　玉川　靜波

揚雲雀かそけく浮ぶ晝の月

子を負うて麥踏む母や雲雀啼く

揚雲雀麥の青葉に風輕し

○ 大連　高木　春陵

雲雀高く鳴きすむ空の眞青かな

目もはるに續く麥圃や揚雲雀

ねむたさや雲雀に醒めし窓明り

○ 香川縣　高木　宏影

雲雀鳴く彼岸參りの道すがら

順禮の行く四國路や雲雀鳴く

○ 哈爾賓　飯倉　凡水

羊遊ぶ夕日が丘の雲雀かな

放牧の馬遠近や雲雀啼く

○ 同　松本峯牛子

耕すや笠に迫りし夕雲雀

舞雲雀見上げし空の高さかな

南征雜錄 (18)

サンボウロ市にて　難波勝治

ブラジル (十八)

新しい事業は兎角傍からケチがつけられ易い、人間嫉妬心のある限り何時の代にも免れぬ傾向ではあるが、性急者の日本人間には殊に區々たる小理窟が絶えぬ、開設直後のアリアンサ移住地もこの例に洩れず、一時は中々盛んに冷笑痛罵を浴びせ懸けられたが、經營の歩武を進めるにつれて批評の聲は少くなつた、否少くなつたよりも合理的になつて來た、この地の事情に就いては私も兩三年來各種の不平を聞かされたが、親く實地を視察するに及んでその案外スクスクと成長して居るのに驚嘆した併しそれは必ずしも批評家の意見が間違つて居たのでなく、時代に應じ若しくは各人經驗の異同に準じて事物の見方に甲乙があつた、其處から議論が起り感情も交つた相互の疎隔を生じたのであらう、されば世間の批判は毒にもなれば藥にもなる黑住宗忠の遺した道歌のやうに「立向ふ人の姿は鏡なり」でもあれば踏臺でもあつて、要はその批判された人の心得一つに歸着する、この意味に於て過古五六年間のアリアンサが、飽くまで不退轉の所信を貫徹實現し來つたのは、何といつても輪湖、北原兩理事の奮鬪に外ならぬ、今や信濃協會が三移住地區の核子となつて鳥取、富山の二協會は唯拱手成を仰いで居る形だが、之は單に協會の歷史が舊い爲め許りでなく人の力でもある、移住地當初の礎石を置いた永田君の最大貢獻は、此壯年有爲の二適材を拉し來つて自由に働かせた所にある、勿論今後の同移住地は各方面とも新しい人物を鑿出せしめるであらうが、併しアリアンサ創立史の第一頁中に右二理事の名は永く銘記さるべきである

輪湖君も北原君も出身地は均しく長野縣、南安曇と上伊那の山鄉に育つた田舍者だが、前者は夙に大志を抱いて北米に渡航し、デンバアからユタ方面へ掛けて果物賣りもやればスクールボーイもやつた、居ること數年、會々ブラジルにイグアッペ植民地といふが建設されるときいて、當時は勤務して居たロッキー新聞社を飛び出し、ニューヨークを經てサントスに渡航したのは大正二年であつた、來伯後十年間の君の生活は相當數奇を極めた者であるその間今の聖州新報社長の香山君とモンソン耕地に入植したこともあれば、革命當時カンポグランデの伯國新聞社で植字職工を勤めた事もある、爾來或はブラジル時報社に、或はイグアッペ植民地に轉々したが、大正十一年伯國百年祭の時來遊した片倉兼太郎氏に知られたのが緣となり、翌年末北西年鑑を著したのを最後として放浪生活の足を洗つたのである、北原君は大正六年の渡航者であるが、之は又輪湖君と正反對の鈍重主義を嚴守し、アリアンサの現地位に就くまで八年間イグアッペで綿ゆる農業的研究と體驗とを積んだ

君自身は「何分世間を歩かない者だから」と謙遜して居るが夫だけ智識慾が熾烈で多方面の蘊蓄を有し誠實と親切とを以て入植者一般の信望を博して居る、由來アリアンサは入植者の雜多な事に依て知られ「カフェ園勞働てふ實科目を修了した者にして、始めて獨立農たり得」とされた海興會社邊の傳統は種々な意味に於て破壞されて居る、それだけ純農者眼から見て缺點があり、遂に世間から溫室農園又は恩給植民地など冷評さるゝに至つた（寫眞はアリアンサ第一移住地事務所と二理事（向つて左）輪湖俊午郎君（右）北原地價藏君）

滿日旅順版

來旅する筈

長官が女學校で美味求眞の講義

常識講座第一回講演

旅順高等女學校に本年度から新設された補習科生に對し常識養成の一つとして常識講座を設けることになつたが、第一回の講座に木下長官の調理法に關する講話と實習を乞ふ由で多分「美味求眞」の一頁が開講されるであらうと

青年聯盟

支部定時總會

青年聯盟旅順支部では十四日午後六時半から語學校で左記議題に就き定期總會開催の筈である

第一議案　支部會計並に事業計畫に關する件

イ、櫻樹を植える件（十年計畫一萬本）

ロ、戰跡順禮の件

ハ、市會の傍聽並に市內諸設備見學の件

其他五項目

第二號議案　本部に建議の件

第三號議案　會則改正の件

第四號議案　青年議會議員選擧の件

好成績の滿洲館

廣島博視察談

廣島の博覽會を視察し東上中であつた關東廳經理課大森主計總は十一日歸廳したが、廣島博の滿洲館に就き次の如く語つた

地理的關係もあらうが廣島博は大體に於て成功であつた、一日平均七、八萬人の入場者あり少くとも五萬圓の收入はあつたらしいから經費に五、六十萬圓を支出しても裕に利益があつたであらう、植民地特設館のうち矢張り滿洲館は一番人を惹きつけてゐた、場所も會場のドンヂリではあつたが他の北海道、樺太の其れよりは位置もよく他の館は殆ど素通りであるのに反し、滿洲特設館は活動映畫を撮影してゐた爲めに一寸休憩すると云ふ風な足溜りとなり多數の觀覽者が詰めかけてゐた、其れに滿洲を代表する白塔は慥に他の館よりは目立つてゐたのも亦其の成功の一つであつたらしい

警官の庭球戰

旅順軍惜敗す

大連警察署對關東廳警務局との對抗庭球試合は十二日午前十一時から高等女學校コートに於て開始され四十二對三十八の點數で大連軍のために名を成さしめたが、試合後一同は大正公園で懇親宴を開催し四時散會した、次回は大連で行ふと

旅順春秋

◇

「健全なる精神は健全なる身體に宿る」とは古い諺であるが、今も眞理として使ふに變りはない、國家の消長盛衰は國民體力の總和によつて決せられることは昔も現今も一貫した事實である、さればこそ近代人は「國民體育デー」の名によつて健全なる體育と思想を養ふために練磨の方法を機會ある毎に造らんとしてゐるのである

◇

來る二十六日は旅順市民の年中行事の一つとして全市を擧げての運動會が開催される日である回を重ねること今年で三回目であ恐らく盛大に擧行されることだと信ずるが、參加申込は十五日限であるに對して十三日までには僅々三百數十種の希望者があるばかりだと云ふ、一名四種目以上を選擇することのできる規程であるから、出場者は頭數からすれば一千種に達しても三百名に滿たぬ寥々たるものである、一萬一千有餘の人口を有する市とすれば大海の一滴の感がある、これでは果して旅順市民運動會として誇るに足るであらうか

◇

回を重ねる毎に盛大となるべき運動會が逆に衰退して行く傾向のあるは市の名譽のためにも面白くない、市民は何がために斯く無關心となり又ならんとしつゝあるのか、原因は色々あらうが其主なるものは運動會の組織と方法に缺陷が存するのではなからうか

◇

競技本位のものと、遊山氣分を含んだ運動會なる名稱のものとは根本の出發點に於て差異がある、市民の大部分は運動會なるが故に其の一日をドンチヤン騷ぎで愉快に小人も大人も遊びたいとの希望はある、其れがシカツメらしい競技によつてのみ行はれるならば運動會と稱する意味が現はれないのである

◇

故に旅順市民運動會は市民運動會は市民全體の希望を容れての競技本位を去り運動會としての本來の性質に還元し擧行せられるならば年中行事の一つとして全市は當日をもつてお祭り氣分に浸ることができ、會は年々盛大となるであらう

會行政講習會

旅順民政署地方係では來る十四日から三日間に亘つて管內會吏員に對し會行政實務講習會を開催するが其日割左の如し

十四日　方家屯會事務所

十五日　三澗保會事務所

十六日　王家店會事務所

木下長官の招宴

木下長官は十三日午後六時十五分から官邸に於て大連記者倶樂部と旅順記者を招待し一夕の懇親宴を開催したが、長官はデザートコースに入るや立ちて電通大連支社長內海、吉川新舊兩氏を主賓として招待したる一場の挨拶あり、賓側氏の謝辭に內海吉川兩氏の挨拶に主客歡を盡し八時半散會した

金澤聯隊區將校の見學團

金澤聯隊區將校滿鮮見學團一行十六名は憲兵中佐佐藤喜四郎氏指導の下に十六日午前九時着の列車で

暴民の爲傷ける警官表彰されん

警務局長に電請中

關東廳警務課にては奉天勸業公司農場公太堡に於て菅原、根本船越の各巡査に外二、三名のものが支那暴民のために重輕傷を負ふた事件に關し直に東上中の藤岡警務局長に十三日急電を發し經過を報告したが、此等の勇敢なる巡査に對して多分公傷規程を以て慰藉されるであらう

警官の新配置

十一日附で旅順署に左記の警察官配置に決定した

松原兼義、森武男（以上練習所修了生）澤田石岩三郎（營口）山崎美巳（四平街）

高橋氏追悼碁會

關東廳秘書課長安藤氏外二名が發起と爲り十四日午後四時半から千歲倶樂部に於て故關東廳秘書官高橋寛氏の追悼圍碁會を催した

少年誘拐さる

監禁されたか

王家店會李溥屯李新增の二男長春子（一三）及び同會屯一五李秀峰長男小八子（八）の兩人は四月二十九日午前中大連市外周水子番地不詳韓玉明に誘拐され八方搜査したが杳として消息が分らぬが仄聞する處に依ると旅順署管內に監禁されてゐるらしいから十三日搜査方を願出た

賣掛代を浚ふ

山東生れ當時瓦房店西區共榮街雜貨商王子鳴方店員趙永紀（二〇）は去る五月八日大石橋の取引先から賣掛代金一千四百圓を集金し其の足で拐帶逃走したが、旅大方面へ高飛びしたらしい形跡あり瓦房店署からの通牒に接した旅順署では直に手配を開始した

自動車が少年を撥ね飛ばす

敦賀町滿洲タクシー運轉手篠原忠一（三四）は十二日午後六時半頃旅第一二一號を運轉して乙女橋から大正公園に向け疾走中櫻町三丁目共同浴場前に於て吉野町方面から自轉車で來た軍司令部の給仕三上に突かけ三上は其場に跳返され人事不省に墜ちたので直に自動車に乘せ關東廳病院へ舁つぎ込んだが三上は後頭部に全治一週間の擦過傷を負ふた

大社教春祭

出雲大社教旅順教會所に於ては來る十八日から三日間春季大祭のため左の行事を擧行する、十八日宵祭十九日本祭、廿日祝祭で每夜講話あり、本祭の當夜は筑前琵琶、奉納和歌、生花展覽會を催すと

山崎末松氏

乃木町三丁目七七時計商山崎末松氏（三八）は去る十日腸チブス患者として療病院へ收容されたが十二日午後死亡十三日龍心寺にて埋葬式を擧行した

くさねむ短歌會

滿洲短歌會旅順支部主催のくさねむ短歌會は十二日午後一時から市內千歲倶樂部で開催したが大連からは西田猶之輔、內山茂雄、末島綱、鈴木千草、氷原星の雫、西島貞子の幹部連あり、旅順は菱田世紀、中尾千代子等合計十六名で題詠に移り、終つて晩餐會を催し七時散會した、因に當日の會員互選に依る高點歌を擧げると

この街の見ゆるものみなおちつけりしばし移りて住まむと思ふ　七點　內山　義雄

道のべの斑入りの小石打ち割れば血のにじむやと思はるゝ山　七點　菱田　世紀

士饅頭の石積みの塀一様に晴野のはてに夕陽にむけり　六點　西田猶之輔

倘支部では每月一回短歌會を開催の豫定である

黃金臺

關東州水產試驗場で本年初めて試みられた龍王塘及水源池の公魚卵の孵化試驗は美事に成功し全部孵化せしめることができたので設備品を全部引揚げた

○―○

朝鮮總督府から送付して來た若布の移殖は嶺前屯會嶺甲灣地先に養殖場を設け蒔種に着手したが大體の準備を了つた

○―○

鰮の鹽貯藏試驗は引續き行つてゐるが今週は黃華魚及金頭魚鹽藏の試驗に着手する

○―○

本月五日から十一日までに至る大然痘罹病者は大連入名、沿線二名であつた、尚腸チブス其他流行性に關する豫防に關し衞生課では極力各署に注意を與へてゐる

公休日

川原ヤマトホテル支配人が星ケ浦の支配人と同行で上海方面の視察から歸つての話▲用命は黃金臺のホテルへ避暑客を勸誘することであつた▲ツマリ早手廻しに特別契約を上海地方の外人と結ぶ爲▲川原さん「多少豫約はして來ましたが、今年から一つダンスホールを設けやうかと考へましてネ」と▲ダンサーの美しい日本人二、三名を上海から仕込んで來る豫算▲「ダンサーにエプロンをかけるかと問ふたらネよろしいと言ひましたヨ」と▲引張つて來る前に試驗濟の證明が與へてある樣子だから怪しい

優秀に輝く
朝日乾電池
ラヂオ用　燈火用　通信用
御買求の際は必ず「朝日」と御指名を乞ふ
製造元　朝日乾電池株式會社
大連市龍田町　大連市三河町　大連市信濃町
横川電機工務所　圓橋電氣合資會社　和登商行ラヂオ部

玩具問屋
居乍ら仕入が出來る
月刊安田源商報進呈
大阪市西區南堀江下通一丁目　安田源商店

月やくとまり不順で御心配の方は

副作用絕對になく確實の通經作用を以て安全迅速に其の應用の目的を達する特殊通經劑經球を用ひなさい色々の藥を用ひ効なく煩悶の方は私方へお出でなさい遠方は返信料を添へて申込あれ藥の說明書送ます

價並三圓五十錢特製強球六圓十圓

東京市四谷區信濃町電停前　森田屋本店　振替東京二五〇三六番

代理店　大連市山縣通一丁目　順和公司

結核性疾患の治癒と豫防に

グアヤコール

ブルトーゼ

本劑はブルトーゼの造血とグアヤコールの解熱殺菌兩樣の作用を併合せしめ一層効果を顯著ならしめたるもの胃腸を害せず吸收頗る完全なり

肺結核、喉頭結核に絕對的價値あり尚、肋膜炎、喘息、百日咳、慢性氣管支炎、慢性肺炎等に効果顯著なり

醫學博士　小田俊三先生著「呼吸器病の養生法」及說明書醫家實驗集

藤澤友吉商店

コドモページ

童話　繪をかく阿闍梨（三）

江上照彦

やがてその日の眞夜中になりました。すると沙門始めて筆をおいて、御堂の欄干にもたれながら身體を休めました。外では死靈の衣の様な陰氣な雨が降つてゐました。

するとまもなく不思議や大伽藍の軒には蛇の形をした青い鬼火が、ぐるぐるとからみながら燃えはじめ、池に落ちる雨はひそひそと怖しい秘密を語りだしました。

やがて鬼火はふわふわと軒を離れ、酸漿提灯よりも眞赤になつて鐘樓の傍まで來ました。鬼火は赤く青く色を變へながら、ぐんぐん大きくなつて行き、そしていつの間にか赤鬼と青鬼とにかはつてしまひました。

赤鬼はぎらぎらする赤い眼と炎を吐く赤い口とを持つてゐました。青鬼はぎらぎらする青い眼と、炎を吐く青い口とを持つてゐました。二匹の鬼は臼を思はせる大きな足をどしんどしん踏みならしながら何かをさがしてゐました。而し間もなく赤鬼青鬼は鐘樓の傍まで來ると一度に「見つけた」と叫びました。

そしてその聲が雷になつてあたりに響きわたりました。

「これだ。この鐘だ。毎日々々俺達を苦めるのは」赤鬼はさも口惜しさうに云ひました。

「さうだ。にくい鐘だ。此の鐘の音を聞くと百萬斤の大釜を片手で支へる此の俺でさへ、まるで亡者の様に震えあがつてしまふ」青鬼は怖ろしさうに云ひました。

「ぶちこはしたいものだ」赤鬼は申しました。

「而し一寸でも是にさはれば俺達がおしまひだぞ」青鬼は答へました。

二匹の鬼はさもさも無念さうに大きな釣鐘を眺めてゐましたが、やがて一時にその炎の口からパツと焔を吐きかけました。その勢ひがあまり强かつたので釣鐘は大きく前後にゆれ大伽藍の五色の瓦が五枚下へ落ちて怖ろしい響きをたててわれました

赤鬼青鬼はその音に驚いてふりかへりました。すると伽藍の欄干に沙門がよつかかつてこちらを見てゐるのが見えました。

「人間だ。人間だ」鬼は手をうつてげらげら嗤ひました。

而し青鬼赤鬼は沙門の朝露より輝かしい瞳を見ると、急に震へあがつて煙りの様にどこかへ消えてしまひました。

翌朝小僧が曉の鐘をつかうと鐘樓へ上りますと不思議にも釣鐘に赤い銹や青い銹が一面についてゐました。それで小僧が驚いて和尚に此事を申しますと、和尚は蚊の様な聲で「大方雨のせいだらう」と云ひました。

ニドメノ大チャンノタンケン（49）

ハルミチ作　ジラウ畫

シマノムスメタチハ　大チャンニ　ナニカ　カハツタコトガアルコトヲ　シリマシタ。「ヨシ、ワタクシタチハ　大チャンヲタスケヤウ」ミンナハ　カタク　ケツシンヲシマシタ。

ソレカラ　ムスメタチハ　クレカカル　モリノナカヲ　ブルニアンナイサレテ　大チャンヲタスケヤウト　ダンダン　オクヘ　オクヘ　ト　ハイツテイキマシタ。

「アツ　アンナトコロニ」ムスメタチハ　シバラレテヰル大チャンヲ　ミツケテ　オドロキマシタ。大チャンハ　シマノムスメタチガ　タスケニキテクレタコトヲ　ヨロコビマシタ。

學校と家庭

よく跳ねる州內の兒童と　案外腕力のない公學堂の兒童

豫て關東廳體育研究所で調査中であつた關東州內初等學校兒童の體力檢査の結果は三ケ月の日子を費して漸く完成したが、小學校は滿十二歳の男兒に公學堂は初等科第三學年につき懸垂と立幅跳の二種目の試驗を行つた結果一つの表を得た。それによると公學堂生は內地の各小學兒童よりは遙かに劣つてゐるが、州內小學兒童は立幅跳に於て第二位を占め懸垂では大阪市小學兒童のそれよりはよい成績を示してゐる。內地の小學兒童と州內初等學校の兒童との體力の比較を擧げて見ると

立幅跳（平均數）

岐阜縣	一、七七米
關東州	一、七四米
富山縣	一、七一米
公學堂	一、四七米

懸垂（五回を最高の體力として算定）

岐阜縣	四、四八回
富山縣	三、六四回
關東州	二、二九回
大阪	一、七〇回
公學堂	〇、八四回

右の表によつて見ると腕力と脚力とが最もよく調和してゐるのは岐阜縣小學校で關東州內小學校兒童は腕力に於て稍劣つてゐる。又このテストによつて支那人兒童は全く腕力に缺けてゐることが判つた。

以上の如き體力檢査は關東廳に於て今回初めて施行したのであるが今後は毎年この種の檢査を施行し小學兒童の體力增進に對する新しい研究方法を講ずる方針であると

大廣場校の運動會　保護者聯合

大廣場小學校では學校と家庭の親交を計り且つ其の接觸を緊密にせんとする趣旨により一昨年以來春季に學校保護者聯合の團欒的運動會を開催してゐるが本年は來る六月二日（第一日曜）新綠薫る同校々庭に於て盛大に擧行、兒童保護者の最も興味ある各種競技を行ふと

石田訓導の二葉の記　聖德の特輯號として發行

聖德小學校石田訓導の「二葉の記」が同校保護者會報「聖德」の特輯號として發行された。僅か九十五頁の小册子ではある。しかし收むる所は一行一句すべて石田訓導擔任兒童の生活から滲み出た金玉の文字である。先づ四月四日の入學式より筆を起し三月二十五日の終業式まで數十項目に亘り石田訓導の其の日其の日の教育體驗が批判を通して如實に描き出されてゐる。而もすべてが毎日學級から家庭へ送つた日記から蒐錄したものだけに生命が躍如としてゐる。

學校だより

◇入試存廢委員會延期　十三日に大廣場校で開催される筈であつた入試存廢研究の委員會は中等學校側の都合により二十日十時から開催に變更された

◇アカシヤ編輯委員會　十五日午後三時から大廣場校に於て獎學會が發行してゐる兒童文集アカシヤの編輯委員會が開催されるが該アカシヤは從來年三回發行のところ本年より二回發行に更める由、尙ほ本年度第一回分は六月下旬發行の豫定であると

新刊教育書紹介

▲教育論叢（五月號）　地理科往來物についての研究、私的惡は公的利、修身教授と德目との關係トルストイの人生論を批評して教育凹愛の探究に及ぶその他の講話、研究、教育、隨筆、教育春秋等（五十錢東京牛込區赤城元町文教書院）

光と影の美

何と美しい模樣ではありませんか一寸見ると、まるで友禪染か千代紙のやうです。しかしこれはそんな描いたものや染め出したものではなく、テーブルの上にならべたマッチの箱とマッチの軸を横の方から强い光線を送つて、それによつて出來た面白い光と影とを眞上から寫眞に寫したものなのです。まことに面白い實物圖案ではありませんか

童謠

じどう車

松林小學校三年　大橋壽江

じどう車ぶうぶう
はしつてる
まちからまちへと
走つてゐる
わたしが町かど
たつてゐたら
大きなお目めを
ひからして
むかふのほうへ
いつちやつた

じどう車ぶうぶう
はしつてる
おきやくをのせて
はしつてる
大きな音を
たてながら
おほきなおくちを
あけたまま
むかふのほうへ
いつちやつた

じどう車ぶうぶう
はしつてる
わたしも一ど
のつてみた
あんまりはやくて
めがまつた
おうちもおひとも
あとへ行く
じどうしやほんとに
はやいな。

オセツクスンダ

大廣場小學校尋一　阿部庄一郎

オセツクスンダ
五月六日
オカアサンオ人形
カタヅケル
ボクモテツダイ
シマシタヨ
モモタロサンモ
キンタロモ
ミンナオハコニ
イレマシタ
マタマタセツクガ
クルマデハ
オトナニネンネ
シテオイデ

愈よ來る十九日に關東州庭球大會

六十四組の爭霸戰

若葉馨る露西亞町コートて

本社主催の第十三回關東州庭球大會はいよく來る十九日午前九時より滿鐵露西亞町コートに行はるゝこととなつた、本年の申込數は六十四組で昨十四日滿鐵庭球部幹事及び本社係員立會抽籤の結果左記の通り

組合せを決定したが

對戰は各コート共番號順によつて對戰、一組完了つたものをコート順により組合せ準優勝戰を行ふべく準優勝戰並に優勝戰は第三コートを使用するに決定した、ゲーム開始は午前九時からであるが出場選手諸君は當日午前八時までに集合されたく、審判は別項の如く大連に於ける斯界の先輩及び有力者に委囑した

第一コート（乃木町東側コート）

1 南山（長村田） 2 大商（荒川）
3 華工（吉永田） 4 一中（都古）
5 滿銀（林京谷） 6 滿鐵（大關）
7 金州（太戶田上） 8 驛（島後）
9 電友（大永里道） 10 埠頭（吉山）
11 育成（萩井原上） 12 旅中（柴笹）
13 機區（櫻江井藤） 14 常盤（持安）
15 豐年（近川藤妻） 16 霞（大園）

△審判 田中（佐）岩下、津田、芦塚本部原本田崎田藤未谷串垣田川

第二コート（乃木町西側コート）

1 金州（中西村原） 2 滿電（幸高）
3 霞（菊森川川） 4 埠頭（樋松）
5 周水（二太宮田） 6 鐵事（山山）
7 滿鐵（鹿下野重） 8 一中（菅森）
9 電氣（大伊石藤） 10 中試（河井）
11 大商（片見岡本） 12 育成（內松）
13 福昌（西會山田） 14 經濟（竹村）
15 遞信（平山崎本） 16 金州（杉江）

△審判 川原、村田、山崎（儀）加藤諸氏

第三コート（北公園東側コート）

1 金州（竹川人氏） 2 華工（小小谷）
3 常盤（佐橫賀尾） 4 驛（大芹澤）
5 大商（國石松野） 6 一中（松松串澤）
7 滿庭（白林木） 8 育成（工三田）
9 福昌（崎松本尾） 10 周水（高一宅地）
11 埠頭（根中島本） 12 滿鐵（淸須宮）
13 旅中（小宮島） 14 機關（堀岡水田）
15 涉外（松野永崎） 16 電友（沼野本田）

△審判 飯河、野中（菊）樋口、笠中諸氏

第四コート（北公園西側コート）

1 金州（高藤見原） 2 大商（大小川下）
3 旅中（森高田田） 4 霞（山松田村）
5 埠頭（川小野上田） 6 機區（印樋牧口）
7 滿鐵（齋大石藤） 8 社會課（月野野間）
9 成發東（入楠江永） 10 中試（川高久保木）
11 育成（持安原藤） 12 旅順（岩岩本）
13 驛（松吉田田） 14 滿電（渡小本）
15 所聯引（上三田樋） 16 一中（山數見田）

△審判 岡、三科、笠原諸氏

上海日報公會東北視察團來る

きのふ榊丸で一行二十三名

大いに氣焔を擧ぐ

上海における言論界の權威と云はれる五大新聞社員廿三名よりなる上海日報公會東北視察團一行は既報の如く榊丸で十四日午後大連に上陸した、一行は團長格たる申報の張竹平氏を初め特に一行の爲に上海日報日本特派員として中國新聞界切つての

日本通たる鮑振青氏の加はるなど賑々しい顏ぶれであるが、滿蒙視察に好奇のまなこを輝かしてゐた、特に一行を代表して上海時事新報記者程滄波氏は船中出迎への記者團の問ひに對しリファインされた快い應答ぶりで

中國の政界の今後ですつて、難しいですねこのことは私等自身でも未知數な問題ですよ、國民政府は將來如何に進むかと云ふ事は頗る興味のある問題でせう國民全體が三民主義をもつて政府が樹立した政策に

邁進して行く時こそ判然した國民政府の今後と云ふものが話せるのです、だが今國民の殆ど總べてが三民主義者になりつゝある事は事實です、蔣介石對馮玉祥との間の紛糾もお互が同主義の下に今日まで妥協して來たのですから誤解が一掃されたら結局武力に訴へなくても濟む事と思ひます、同じく廣東廣西兩派の戰ひも極く小部分のもので大局には關係ないと見るのが至當だと思ひます又

反日會の暴狀とか色々云はれるがこれは支那人自身が日本の國民に對して何も反感をもつてするものではなく貴國政府が樹てた政策が不合理な點があると云つて騒いでゐるのであつて、對支政策さへ確立したら恐らく反日の影は消えるであらう、不合理とは即ち隣國にあり乍ら常に一部軍閥派の非條理的な例へば不平等條約等の政策の爲に禍されてゐるその事を云ふのです、どうも私達の考へによると日本の所謂浪人と云ふ方々が色々策動されるには今後日支國交の

親善の上に色々な支障を來しはしないでせうか、私達輿論を代表するものは今までもそうですが今後とも公正な立場に立ちしかも輿論の指導者として戰つて行きたいと思ひます、御國の新聞社の方にもこの點は

同じ意味で御努力下さい、この旅行團は團體としては最初のもので滿蒙における經濟狀態、文化狀態をよく見て置こうと考へたからです、更に私等から見た最近の中國の

婦人界の事に移りますがやれアメリカニズムとか毀譽褒貶區々ですが何と云つても過渡期にあるのですから仕方がないでせう、要するに眞實の意味で目覺めてくれゝば好いのです

一行は上陸と共に滿鐵差廻しの自動車に分乘し星ケ浦のヤマトホテルに向つた、ホテルにて少憩の後龍王塘を見學引返し奉華樓にて滿洲報主催の歡迎宴にのぞみ同十時の列車で北上した【寫眞は榊丸船上の一行】

旅順駐割隊で月刊通報を發行

駐滿軍では最初の試み

旅順駐劄の步兵第九聯隊では島村中尉が編輯人、村田又次郎氏が發行人となつて今回內地の鄕里に於ける父兄に兵營生活その他の狀況を知らしめるため「旅順駐劄時報」なる月刊通報を發行する事になつた、右は滿洲駐劄軍としては始めての試みであるので各方面から興味深く注目されてゐる

應援華工で作業を開始

怠業を機會に徹底的に改善

國際運輸奉天支店が

【奉天特電十四日發】國際運輸奉天支店に於ける二百名の積卸苦力が突然怠業する迄には、解雇される苦力頭が運動し、例によつて同盟罷業を開始して會社側を困らしてやるといふ手段で行つたらしく會社側では應急對策を講じ、應援華工として急派された大連からの六十三名、鐵嶺からの十名、長春からの四十五名及び臨時に雇入れた華工百九十一名をもつて作業に取掛つてゐるが、更にこれを機會に徹底的の改善を試みると

解雇されると早合點が原因

奉天國際の怠業

【奉天特電十四日發】既電の如く國際運輸奉天支店の奉天驛貨物積卸苦力二百名が十三日突然怠業せる事件の原因は賃金値上ではないかと云はれてゐたが右に關し白石同支店長は語る

實は現在の使用苦力は貨物の積卸しに不十分な點あり滿鐵荷主側に對しても是非之を改善する必要ある處から既に二ケ月前からその準備を急いでゐたのであるが、急に出來るものでないので大體今月廿日頃から新制度を實施するため

準備を整へてゐた、之を知つた苦力等はもう解雇されるのだと早合點し苦力頭四名が作業を休んだのでその下に使はれてゐた苦力も全部休んだ譯で別に同盟罷業と云つた種の事でもない然し會社としては悪弊はドシ〳〵改革する方針であるから之を機會に充分改善を加へる積りである旣に新苦力も入れてボツ〳〵作業に取掛つてゐる

內鮮滿連絡の新造機でけふから試驗飛行

愈よ七月一日から輸送を開始

所要時間と料金

【東京特電十四日發】日本航空輸送會社では過般來內鮮滿連絡旅客輸送機スパーユニヴアーサル機二臺の組立て中であつたがいよ〳〵十三日終了、十五日より試驗飛行をなすとになつた、斯て七月一日より旅客輸送を實行する筈である

所要時間

東京大阪間 一時間三十分

大阪福岡間 二時間五十分

料金

區間	料金
東京大阪間	三十圓
大阪福岡間	四十圓
福岡蔚山間	三十圓
蔚山京城間	二十圓
京城大連間	四十圓

大連迄の開通は八月となるか

設備は急いでする

麥田大連營業所長語る

右に就き麥田大連營業所長は東公園町の事務所で語る

本社からまだ詳細な通知に接しませんが旅客輸送の七月一日開始は本社が主務省に對して履行の義務を負つてゐるのです但し

新造機二臺のみを使用して福岡あたり迄で我慢するかして新舊機混用で全線に亘り一齊に開始するかは未定です、之が準備として各地から飛行士が五、六、七の三月に交替上京して夫々一ケ月の新造機操縱練習を行ふ豫定で當地からも六、七の兩月に一人づゝ派遣します、結局當地まで開通するのは八月に入るかとも思ひますが格納庫その他の設備は極力早急に竣工させます、郵便飛行の成績ですか？一日まづ平均內地向十通から

十五通まで、餘り多忙とはいへませんがこれは蔚山まででしか飛行機が利用できないためだらうと思はれます、朝鮮向郵便物は現在では皆無といつていゝ狀態です

夫婦共謀して資金詐欺の訴へ

東亞證券の取締役が

大連櫻花臺六四東亞證券株式會社代表取締役長井春雄は昨年十二月八日二葉町七五野口一二の紹介により當時紀伊町三三喜野商會內同鐵の妻白川フジ(三七)のため投資すべく二千三百圓を出資した處、同野は一月二十日ごろ長井方に來り右二千三百圓は一月十五日ごろ內地へ逃走されたから之れより奪還のため追跡して來ると內地に至り居所尾久こと岡野鹿大(三五)を知り共同にて會社事業を經營すその儘所在を晦ましたので、岡野が內緣の妻と共謀して打つた狂言に相違ないと長井は憤慨し十四日大連署に岡野を相手取り詐欺の告訴を出した

全滿排球大會

六月二日擧行

來る六月二日午前十時より滿洲體育協會の主催で全滿洲バレーボール選手權大會（男女共）を彌生高等女學校に於いて擧行することゝなつた、參加資格は滿洲に在る日本人デーイムにして五月二十四日までに選手權缺主將名を記して滿鐵本社々會課內滿洲體育協會宛に申込まれたいと

張宗昌氏夫人旅順へ引揚ぐ

永らく星ケ浦ヤマトホテルに滯在し豪奢な生活に世人を驚かしてゐた張宗昌第一夫人及び四人の子供等は十三日午後六時下僕を引連れ三臺の自動車に分乘してホテルを引揚行先も告げず旅順へ向つて去つた

三百二十名の滿鮮視察團

日本旅行會主催の鮮、滿視察團一行三百二十名は十六日午前三時安東着豫定となつてゐるので、滿鐵では一行のため全線に臨時列車を運轉し更に營業課旅客係宮內案內主任を安東まで派し充分なる案內をすることゝなつたが、宮內氏は十四日夜行にて大連を出發した尚ほ一行は撫順旅順を經て十七日午後五時十分大連に到着二船の上十九日午前臨時列車にて金州南山を訪ひ湯崗子に一泊、鞍山、遼陽を經て一路哈爾賓に赴き奉天へ引返し一ず再び朝鮮經由歸途につくと

倉鹿野技師宅全燒す

十四日午後八時二十分旅順新市街關東廳技師倉鹿野氏宅より出火同家を全燒して九時五分前鎭火した原因及び損害額は目下取調中

高田武夫畫伯

帝展新進畫家として囑目されて居る高田武夫畫伯は十五日バイカル丸で來連、沿線スケッチ旅行の後豫て持參の三十餘點を加へて大連に於て個人展覽會を催す由

下關の大火

廿六戶燒く

【下關十四日發電】下關市園田町三百六番地前田英助方より十四日午前四時二十分發火し二十六戶を全燒し五時二十分鎭火、病臥中の英助は無慘の燒死を遂げた、損害約三萬圓の見込みである

强盜は狂言

露天市場ピストル强盜は被害者劉喜文の申立が怪しいので嚴重取調べた處劉は小崗子雜穀商三義興に對して不義理な借金があり、苦し紛れに柳樹屯から小石をズツク袋に入れて携へ露天市場で暗くなつてから「强盜々々」と騷ぎ立てたもので、係官も呆れ返り拘留三日のお灸を据えた

上水道掃除日割

五月十五日の分

大山通全部、奧町一部、愛宕町一部、駿河町一部、浪速町一部、吉野町一部、監部通一部、大正通一部、黃金町一部、白金町一部、下萩町一部

滿倶工大練習試合

本日午後四時から滿倶運動場に於いて滿洲倶樂部と旅順工科大學との練習試合が行はれる

朝倉工博の講演

五月十五日午後四時十五分より滿鐵社員倶樂部に於て左記の通り講演會を開催する由

演題 國有鐵道の新製車輛と本邦車輛工事（鐵道省工作局車務課工學博士朝倉希一氏）

昭和四年五月十五日（水曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース

自午後七時三十分

一、ニユース

二、英語講座（第一課花見） 大連彌生高等女學校茶谷茂

三、獨唱と合唱「合唱1夏の夕べ2櫻草、アルト獨唱1死と少女（シウベルト作）2子守歌（山田作）」 滿鐵音樂會演奏部員

四、常盤津（岸澤常盤松島） 彈語り山下千代

五、講談（淸水次郎長荒神山血煙）（第三席） 燕城九正

六、支那唱（時調小曲） 唱王桂贊

七、料理獻立 師付徐月亭

八、天氣豫報

九、ラヂオ體操

本社懸賞當選小說

人生の曲藝 (130)

瀨野皓太作
淺枝次朗畫

彼女の行方(一)

早川啓吉の必死の努力を持つてしても、葉山百合子の行衛を見つける事が出來なかつた。

彼は藤村子爵に會つて、彼女についての一切を話して、その助力を乞ふたのであつた。いかに彼女は恐ろしき計畫を持つてゐるか、そして彼女が哈爾賓の赤化本部の優れたる女探であるかについて話したのであつた。●

子爵はその明けすけな大きな笑ひでそれを打ち消して了つた。

「冗談じやない。あの女は俺が長いこと、ひいきにしてやつてゐる女だ。殊に東京劇場の花形女優じやないか。そんな馬鹿な……」

「いゝえ、これは子爵と個人の資格でお話してゐるのではありません。私は哈爾賓に特派されてゐる陸軍の軍事探偵としてお話申し上げてゐるのです。私が冗談なぞ言ふ譯はありません」

早川は少しばかり顔色を變えた。

「いや、それは充分判つてゐる。しかしあまり、突飛な話なんだもんだからな」

「どうだ、この早川を信じて下さい。この突飛とも思はれる事が、實に周到な彼らの計畫なんです。あの女は子爵に近づく爲に有らゆる努力を拂ひ、子爵から探り得るいろいろな秘密を彼女の本國に報告する樣に命ぜられてゐるのです。私はこの事について、隨分長い間その確證を握る事に努力をしたのです。そして、漸く私の豫想に近い證據を握つたのでした」

「證據?」

「さうです。あの女は實に大膽にも荒井研究所の助手に住み込んで荒井博士の手許から重要な書類を盜み去つたのです」

「えつ、荒井博士の!」

藤村子爵は、まるで電氣に打たれたかの樣に立ち上つた。

子爵の胸には、葉山百合子が彼に乞ふて、その友人と稱する素晴らしい若い女性を荒井研究所の助手に推薦した事、そして數日前も荒井博士からの懇篤な謝狀を手にした事が考へ起されたのであつた。

「うむ、それは違ふ。早川君、荒井博士の助手になつてゐる女は青江節子と言ふアメリカ歸りの婦人だよ」

「ところが、その青江節子と稱してゐる女こそ、葉山百合子なのです。而も、葉山は夜は夜でやはり東京劇場に勤めてゐたのです」

「うむ、そして、荒井博士の研究所へ入れて呉れと依賴したのは勿論葉山百合子であつた。じやあ、葉山が青江節子と名乘つて研究所に入り込んでゐるのだと、君は言ふのだね」

子爵は尚も疑ひの念を消さなかつた。尚且にも、荒井研究所の助手たる爲には、かの一女優たる葉山百合子の到底、及びもつかない仕事の樣に思はれたからであつた。

「どうも、自分は不思議でならない」

彼はさう言ひながら机の中から一通の書狀を取出して早川に示した。

「荒川博士からも、此の樣に謝狀が來てゐる。これを見ると、青江節子と言ふ婦人は、稀に見る勝れた才能を持つた女らしくもある。葉山が言つてゐた事は、何ら、かけひきがなかつたばかりでなく、葉山の推賞した才能よりももつと素晴らしい才能を持つてゐるらしく書かれてある。荒井博士の言葉を借りて言へば、現在の世界の女性が持つ最も勝れたる頭腦の持主だと言ふ事だ。その青江節子が葉山百合子で有樣がないではないか」

「いゝえ、子爵。あなたは葉山百合子と言ふ名前のもとの彼女の中から、その勝れた才能をおみつけにならなかつたばかりなのです。私は充分調査もし、而も疑ひもなくあの研究所に助手をして働いてゐる彼女を、この眼で見究めたのです」

「うむ」

子爵の胸には、しかし、かすかながらも、葉山百合子の持つてゐる、その大膽なる計畫の一端を見つけつゝあつた。

「そこで、子爵。私は重大な過失をして了つたのです」

「過失?」

藤村子爵は、ぢつと早川啓吉の顔をみつめた。

新刊紹介

▲税の話(勝正憲著)「税金のゆくへ」と「日本の租税」とを收め租税の意義、歴史等からその性質種類、税務機關等にいたるまで詳細に而かも通俗的に解説されてゐて、不平タラタラで納税して納税を終ればそれが如何なる方面に使はれて行くかに案外平氣な日本人などの一讀すべき書である、著者は前東京税務監督局長たりし人(四六判布裝箱入三六四頁金一圓五十錢)東京京橋第一相互館、千倉書房

▲空(平井常次郎著)實用時代にまで漕ぎつけた飛行機の一つの物語りであり航空發達史である内容を上中下三編に分ち上編では征空に成功するまで約四世紀にわたる受難の跡を顧み中編は新らしい空の旅人に贈る著者の手記、下編には近時の航空界の外相とでもいふべきものが記されてゐる(四六判布裝箱入四〇四頁金一圓八十錢)東京日本橋本石町博文館

▲獨逸語(五月號)東京市本郷區森川町大學正門前獨逸語發行所(定價三十五錢)

▲電氣の友(五月號)東京市芝區新幸町一番地第一堤ビルヂング電氣の友社(定價四十五錢)

▲農民(五月號)東京府北多摩郡千歳村八幡山八全國農民藝術聯盟(定價十錢)

▲女醫界(五月號)東京市麹町區飯田町四丁目社團法人至誠會(定價二十錢)

▲士上(五月號)東京市牛込區若松町八十一番地國民吟社(定價二十錢)

▲生活と宗教(五月號)名古屋市中區南久屋二ノ七破塵閣書房(定價十一錢)

▲川柳きやり(五月號)東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社(定價二十五錢)

全島谷汽船大連出帆
●南鮮裏日本各港函館小樽行
大成丸 五月十九日
鮮海丸 五月卅一日
長成丸 六月十四日
●寄港地鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●各等客室設備あり
●敦賀伏木新潟行
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會
電長四七一一・三四八二・六二三三

大連汽船出帆
●青島、上海行
天津丸 五月十四日前十一時
榊丸 五月十七日前十一時
奉天丸 五月廿日前十一時
●天津行
天潮丸 五月十五日前九時
濟通丸 五月十七日前九時
長平丸 五月十八日後二時
●登州府、龍口行
龍平丸 五月十五日後六時
●香港、廣東行
一東洋丸 五月廿日
●安東行
濟通丸 五月廿二日後六時
大連汽船株式會社
電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町)
永和公司
電話七二七五・七八六八番

高橋汽船大連出帆
大連芝罘間定期船
●芝罘行
瀧壽丸 五月十六日午後六時
大連加賀町三〇
代理店 鹿玉軒記
電六一一七・三八五一

社船大連出帆
●鹿兒島三角行
廣發丸 五月十八日
富士丸 五月十七日
●函館、小樽行
井八乾坤丸 五月十六日
大連市山縣通一二九
栃木商事株式會社大連出張所
電話七四一八番

政記輪船出帆
成利號 五月十五日營口行
得利號 五月十五日芝罘行
乾利號 五月十六日上海行
有利號 五月十六日安東行
增利號 五月十六日復州行
吉地號 五月十六日香港行
達利號 五月十七日天津行
廣利號 五月十九日威海行
政記輪船股份有限公司
電話四一四一番

大阪商船出帆
●門司神戸(大阪行)午前十時出帆
ばいかる丸 五月十七日
はるびん丸 五月廿日
うらる丸 五月廿三日
香港丸 五月廿六日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
盛京丸 五月廿四日
長沙丸 六月五日
福建丸 六月十六日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸 五月廿一日
●北米シヤトル、タコマ行
(上海神戸四日市横濱經由)
ありぞな丸 六月八日
●紐育行(神戸四日市横濱經由)船客お斷り
へいぐ丸 五月廿三日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り
あんです丸 五月三十日
●天津行
貴州丸 五月廿一日後四時出帆
河南丸 五月廿五日後五時出帆
武昌丸 六月一日前七時出帆
●横濱直行(後三時出帆)
河南丸 五月卅一日
武昌丸 五月十七日
貴州丸 五月廿四日
大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
專屬船客案內所滿洲旅館協會
信濃町遼東ホテル內電四一三一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町
ジヤパンツーリストビユーロー
大連案內所電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通)
國際運輸株式會社大連支店
電話三一五一番
大山通り列符發賣所電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行內
電話九五〇六番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番

日淸汽船大連出帆
●青島、上海行午前九時出帆
華山丸 五月卅一日
唐山丸 六月八日
代理店 大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
專屬荷客取扱店(大連市山縣通)
國際運輸株式會社
電話三一五一番

阿波共同汽船
●芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸 五月
●芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸 五月十五日後七時
●芝罘、威海衛、青島行
第廿一共同丸 五月十六日後七時
●鎭南浦行
長山丸 五月
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店
電長六八九一・五〇〇二番

日本郵船出帆
●歐洲行
松本丸 五月卅日漢堡行
鬱稻丸 六月廿五日漢堡行
敦賀丸 七月廿五日漢堡行
だかあ丸 六月廿六日孛漸行
だあばん丸 七月二日孛漸行

近海郵船出帆
●長崎、神戸、大阪、横濱行
文武丸 五月卅日
勝浦丸 六月廿一日
●横濱行
勝浦丸 五月十八日
淡路丸 五月廿四日
相模丸 六月八日
●天津、牛莊行
勝浦丸 五月十六日
文武丸 五月廿二日
相模丸 五月卅一日
淡路丸 六月六日
●基隆、高雄行
神州丸 五月十八日

朝鮮郵船出帆
●青島、仁川行
會寧丸 五月廿五日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸 六月一日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地旨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所
大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
監部通(吾妻橋)
專屬客貨取扱店 丸二商會
電話四二四六・五八八八番

夕刊 滿洲日報 五月十四日

THE MANSHU NIPPO　昭和四年五月十五日（水曜日）　第八千二百六十四號（一）

（明治四十一年十月二十五日第三種郵便物認可）

蔣系の大軍續々移動し武漢の戰雲愈よ濃厚

京漢鐵道も一般旅客を斷り人心頻りに動搖す

【漢口十三日發電】馮玉祥氏の中央服從が傳へられ時局は表面上小康を續け居るも事實上では茲數日來蔣介石系軍隊の移動頻々として行はれ劉峙氏の第一師が既に河南省境に到着したのをはじめとして十一日顧祝同氏の第二師は五列車で孝感に向ひ第二師の留守役として魯滌平氏の第十八師補充せられ、曩に湖南討伐の際武漢に集中された第九、第十、第十一の各師はいづれも北方に向つて移動し又今次の廣西、廣東問題に關し廣東援助のため出動を命ぜられた李銘瑞氏の第十五師及び白崇禧氏舊部下の楊騰輝氏の第七師は夫々武漢臨時駐防を命ぜられ之に伴ひ軍馬強制徵發盛に行はれ又京漢鐵道は十一日より杜絕し漢口より北行の旅客に金を戻し專ら軍隊輸送にて充十一日南京より來漢の何應欽氏は湖南、湖北軍隊整理と稱し居るも主要使命は對馮策動のためなること明白で慌たゞしき軍隊の移動と共に武漢の天地も戰雲漸く濃厚となり人心動搖しつゝある

三方面から包圍積極的に馮軍壓迫

武漢の各軍一時に北進

【上海十三日發電】北平の第五路の采配を振りつゝある武漢方面の軍の西南部移動と武漢方面の南京各軍隊を一時に北進せしめ河南に軍の北方移動につれ蔣介石、馮玉在る馮玉祥軍を三方面より包圍す祥氏の關係は日増しに惡化しつゝる形を取り馮玉祥軍を陝西省以西あるが今回の蔣介石氏の軍隊移動に追ひ詰め之を封じ込めんとする計畫は積極的に馮玉祥氏を壓迫せに在るものである、なほ京漢線上んとするものなること明瞭で乃ちに於て蔣、馮兩軍衝突說あるも未蔣介石氏直屬軍隊、閻錫山、唐生智、何成濬氏の各軍及び何應欽氏だ確報がない

徐景唐軍寢返る

三水を占領

【廣東十三日發電】其の後の廣東市內は氣味惡き迄の靜穩である、西江方面の廣西第一路軍は實際に引揚げ廣東海軍の買收は不成功に終つた廣西軍は今粵漢鐵道方面に主力を集中した、徐景唐軍は廣西派に寢返り石龍で叛旗を飜した

【香港十三日發電】廣西軍は今朝主力を擧げて三水を奇襲し同地は陥落した、廣東はいよ〳〵危險に瀕しつゝある

犬養特使

十七日出發

【東京十四日發電】犬養毅氏は故孫文移柩祭參列のため十七日東京出發渡支する豫定である

膠濟沿線の引繼ぎ

着々と進む

【青島十三日發電】楊虎臣軍の一聯隊は漸く汽車輸送で博山に入り一兩日中には萊蕪方面から二旅の到着を見るはずである、又青州、金嶺鎭方面も今朝中に支那側警備に就き日本軍との引繼を了し博山淄川、周村の派遣部隊は皆張店部隊に合した、之等は明朝青州方面の部隊を合せつゝ青島に引揚る豫定である、又坊子、濰縣も午後一である

山東接收を前に

右より憲兵隊司令吳思豫、濟南西田總領事代理、山東省主席陳調元、谷參謀長、山東警備隊司令張熙績の諸氏（濟南驛にて寫す）

芳澤公使

對支外交を奏上

【東京特電十四日發】目下歸京中の芳澤公使は十四日午後二時半參內し拜謁仰付けられ對支外交の全般に關し逐一奏上御下問に奉答して退出した

黒田次官

けふ奉天泊

【奉天特電十三日發】黒田大藏次官一行は十三日午前十一時半着列車にて來奉、直に林總領事以下多數官民の出迎へがあり、午後零時半撫順視察に赴き、六時五分歸奉し、瀋陽館に投宿した、十四日は奉天滯在、十五日朝七時北行の筈

山海關の奉天軍商民を苦しむ

發電所休業し全市暗黑

【天津特電十三日發】山海關方面より入津した某氏の談に依れば目下山海關一帶には于學忠軍が集中され民家商店は悉く強制的に宿舍に充てられ盛んに橫暴を極めてゐるために一般商民は營業を中止し僅に二三の八百屋と魚屋が開店して居る位にて殆ど不當なる課稅の強制を恐れて閉店して居る、同時に同地電燈會社は奉軍入關以來鐚一文も電燈料を支拂はぬ爲め營業續行不可となり發電を中止するの已むなきに至つた爲め全市は暗黑と化し僅にランプを使用して用を辨じて居ると、なほ同地在留邦人は最近增加し三菱の出張所も開設され合計百數十名に達してゐるが駐屯軍の所在地とて別狀なく平常の通り營業して居ると邦人に對する態度も感心されない

伍堂顧問

きのふ歸鞍

【鞍山特電十三日發】製鋼事業視察のため歐洲へ出張中の鞍山製鐵所顧問伍堂中將一行は十三日午後三時二分着列車で官民多數の出迎へをうけて歸鞍した

大々的救國運動

反日會が看板を替へて六月一日から

【天津特電十四日發】中央政府の嚴命に依り反日會の行動は其自由を失つた爲め前日經費節約を理由に檢査員數十名解傭し同時に斷然反日工作を停止し事務は之を本部に引繼ぐ事となり反日會は殆ど解散の姿となつたが實は換骨脫體で今度は救國運動會と姿を替へ六月一日より左の目的達成まで大に活躍する事になつた

一、廿一ヶ條及不平等條約の撤廢

一、國貨の提唱に依る日貨を驅逐するまで

【北平十三日發電】反日會は衛戍司令部の嚴命に依り日貨沒收は停止したがなほその機關は存在し結局形を變へて排日運動を繼續する模樣である

滿鐵警備の責任者を處罰か

滿洲某事件の眞相は近く陸軍省から發表されん

【東京十四日發電】滿洲事件の眞相を近く發表することゝなつたので白川陸相は十三日午後三時半田中首相を官邸に訪問し午前中貴族院有志との會見顛末、發表方法、內容につき種々協議したが、陸軍側の調査の結果は「事件其の物には絕對に軍部方面の關係者なし」となすに在るを以て發表に際しては昨年六月十二日の陸軍省公報を補足する程度にとゞめ此の意味の責任者は出さぬ模樣である、但し滿鐵警備の全責任は勿論關東軍に在り、而も一國の元首とも云ふべき人物が警備責任區域內にて遭難したる以上警備任務遂行上關東軍の責任は到底免れ得ずその責任者の處罰は已むを得ざる形勢に在る、併し本件は不可抗力的事件として處罰內容は極めて消極的にとゞむる模樣である

山本社長

明朝京城發

山本滿鐵社長は笹原秘書役同道十四日夜京城着朝鮮ホテルに一泊、十五日朝京城出發、十六日朝奉天乘換同夕六時大連歸着の豫定であるが、滿鐵からは社長出迎へのため神鞭理事が十三日夜行にて京城へ向け出發し更に藤井秘書役は十五日發で安東迄赴く豫定であると

滿鐵評議員會設置近く正式認可申請

松岡副社長と首相懇談

【東京十四日發電】松岡滿鐵副社長は十四日午前九時半青山の私邸に田中首相を訪ひ約一時間懇談更に田中首相と同車で首相官邸に入り懇談を重ね十一時辭去した、右は曩に山本社長より大體申出てゐた滿鐵職制改革案中の評議員會設置につき諒解を求めたもので此の結果滿鐵は近く關東廳を經て正式に認可を申請直に承認を得ることゝなつた、評議員會設置は來る六月二十日の滿鐵株主總會で決定の筈である

社員會組織改正役員會にて協議

幹事會各部長決まる

滿鐵社員會幹事會では十一日の會議に於て三年度決算承認の件、四年度豫算報告等を附議し保々幹事長の指名により新に左の各部長を決定した、當日は右の外各地會員から沿線見學案內に關する件並に組織改正（組織部提出）其他婦人分會新設に關する件（撫順提出）等が論議されたが何れも改めて研究することゝなり、就中組織改正の件は重要懸案であるため來る廿五日の協和會館に於ける評議員會までに更に細部に亘り役員會に於て案を練ることになつた

庶務（花井修治）組織（二村光三）編輯（上村哲彌）會計（松本貫一）青年（笠木良明）婦人（伊藤眞一）事業（千葉豐治）相談（波田吉太郞）運動（山岡信夫）共濟（松浦開地良）宣傳（八木沼丈夫）調査（未定）

あす木下長官が

熊岳城の漁場を視察

木下關東長官は十五日午前八時十分旅順發熊岳城に向ひ同地で一泊の上漁場を視察し十六日午後四時五分古家屯發湯崗子に一泊、それより撫順奉天方面の視察を爲すとなほ長官の熊岳城漁場視察はこれが始めてゞ特に支那側の漁業總局を訪ねて視察する筈であると

赤十字社總會

【東京十四日發電】日本赤十字社は皇后陛下御名代伏見宮博恭王妃經子殿下の御台臨を仰ぎ十六日神宮外苑で第三十七回通常總會を開くことゝなつた

馮氏は何處へ

戰はんにも勝味なく妥協の餘地も失はる

（下）　在上海　大矢特派員

馮玉祥と廣東左派の提携は昨秋來の懸案で、今春に至りかなり具體的なまで進んだが、遂に完全な結果を見ずして有耶無耶になつた。馮玉祥と廣東左派の首領汪精衛とは一見外觀頗る似通つた點が少くない。殊に既述の如く馮玉祥は孫文主義を標榜して兵卒と苦艱を共にし、農民および勞働者に厚い點は汪精衛の飽くまで被壓迫階級の味方として三民主義革命に突進しようとするのと軌を同うするものかに見受けられる。

×

しかし馮玉祥の孫文主義信奉がつけ燒刄であり、方便であると言ふ動機と立場が左派との提携を不調に終らしめた根本的理由に外ならぬ。これに反して蔣介石と汪精衛の關係は現在では周知の如く甚だ面白くないが、しかしその著しい外見の相違にもかゝはらず、かへつて內容には深い共通點ありと消息通は觀てゐる

×

かような關係からして馮玉祥は今日蔣介石と解け難い仇怨を結んだが、しかし同じく蔣介石を敵とする汪精衛等廣東左派からの支援を受る見込もない。何と言つても汪精衛は孫文の正統的繼承者である。又蔣介石の步みつゝある道が如何に危ぶまれるにせよ彼も亦孫文の最も忠實なる信徒であるから事情さへ許せば必ず將來孫文の示した道に立ち返つて汪精衛と合作することが出來るが、汪と馮との關係は少くも今日ではこれと正反對であると言はねばならぬ。

×

もと〳〵はじめから何人も信用したものもなからうけれども、こんどの機會に於て、馮玉祥の孫文主義を利用した假面は偶然にも必然的にはがれる機會に逢着した。從つて馮玉祥の國民黨內に於ける實際の生命はこんどの機會に於て斷末を告げたと言つてよからうと思はれる。更に遠い將來に於ても彼が國民黨內に復活する日なしとは斷言し得られぬまでも、今日の彼は實際上彼自身から國民黨を出たとも言はれようし、又國民黨から出されたとも言ひ得よう。要するに從來の馮が孫文主義を利用しての大望は水泡に歸したと言つていい。

×

實際上國民黨から離れた馮玉祥はされば蔣介石をたゝきのめして南京政權を奪取するほどの力もなければ反つてうかくすればさらな今日、馮玉祥の出路はたゞ一つある。それは陝西、甘肅地方に引込んで力を養ひつゝ次の機會を待つことである。河南、陝西、甘肅地方は四年來の天災續きで今や大飢饉に襲はれつゝあり、財政上極めて不利な狀態にある。馮が今回山東を放棄したのは彼の卓出せる決斷で、彼は今日に於ては極力河南を保持するに努めるであらうがこれとても形勢不利と見れば河南を捨て、陝西、以西に退却する覺悟を持つてゐるに相違ない

彼は既に去年河南鞏縣の兵工廠を西安および甘肅蘭州に移してゐる。深謀と言ふべきである。大飢饉の西北に入ることはこの上もない苦艱であること言ふまでもないが、しかし馮玉祥は苦めば苦むほど進步する男である彼が先年北京を放棄してより、十萬の軍隊を率ゐて包頭五原よりアラシャン沙漠を彷徨し甘肅陝西を迂回して去年二年振りで北京へ戾つて來たときには彼はどんなにか男を上げてゐたことか。彼の出路はたゞ西北の未開拓地あるのみである。而してこの未開拓地を開拓することによつてのみ馮玉祥は彼の將來を作るであらう（終り）

荻川放談（37）

信義

日支の間には、濟南事件から始まつて、南京事件、漢口事件と幾忌すべき懸案が逐次に解け去つて、今や通商條約改訂の段取に進み、こゝに支那の對日誠意が漸くに發露し來たを認むるがそれにも增して日本の對支同情の極めて深甚なる點が窺はれる而して何時もながら日本の國際信義を守るに忠實なる、濟南事件解決に伴ふ山東撤兵の如きは支那側から種々な支障を持ち込まるゝに拘らず、それにすら色々と調和を求めて、實行の確實ならんことを期し、着々と其の步を進む、日本には常に此の信義あり、豈獨り這次の山東撤兵のみならんや、從ふて其の信義を守らざるものに對し苛酷に出づ、これ當然のみ。

◇

最近に日本と支那とは善からず支那の日本に背を示せしは、何の故かを知らぬが、日本の支那を疎みしは、實に支那が國際信義を蹂躙するからである、されど東洋の平和を祈念する日本はこれにつき絕えず支那の反省を求め、之をして國際場裡に指彈さるゝが如きことなからしむると共に、其革命が一日も速かに圓滿結了せんことを希ひ、日本の支那に對する同情は、全くそれに繫がつて居ると云ひ得べし之が支那に通ぜしか、頃者國民政府と日本政府と折合好きが其[illegible]服團とも見え、また諸事件解決に伴ひ、國民政府が約を履んで排日運動の鎭壓に從ふなんかは日本に對し所謂國際信義の遵守を表示するもの、こゝに至らば日本も釋然たり欣然たり、支那に濺ぐ同情は更に深からん。

◇

これから日支は、互ひに斯うした心持で、通商條約の改訂に入らんとす、談判の條項が縱し複雜で、其解決に苦難の點があればとて、此心持さへ濁らざれば必ずや之に良果を齎すべきを疑はぬが、親の心を子が知らないと云ふものか、現時に於ける東北四省に亘つて排日はどうしたことか、而も東北四省の中心たる奉天附近の公太堡にさへ、排日暴動が起る、そも〳〵東北四省の代表たる張學良は絕對に國民政府への從順を誓ひ、其國民政府は[illegible]つては、此矛盾を何と觀るべき是れ將に順潮に乘らんとする日支の友好を破壞せんとするもの、罪は學良に存す。

◇

國民政府は既に日本と好し、恐らく約を履んで學良の此排日罪にも制裁を加ふべしと信ずるが制裁を加へられずとも、學良にして眞に國民政府への從順を誓ふに於て、速かに其非を悛むべきに、之を悛めざれば、是れ國民政府に叛くなり、學良の迎南政策もこゝで尻尾が顯はれたような氣もする、そこで國民政府の革命統一には、殘存する國內の地方政權と、政見上の確執に妥協を必要とせん、併し斯うした政策上の矛盾に對しては用捨なからんことを希ふ、然らざれば望みを世界から絕たれん。

褚玉璞氏消息不明

褚玉璞氏は本日來連直に香港丸で日本に亡命すると傳へられたが途中急に豫定を變更したものゝ如く[illegible]丸にも乘船してゐなかつた、一說によると大連上陸を阻止されることを知り便船で朝鮮へ渡り日本內地に亡命した方が得策であるとしてこの方法をとつたのではないかと云はれ、なほ又一說によると芝罘某領事館に身を隱してゐた褚氏は昨日來消息不明をつたへられてゐる

市會招集は沙汰止み

依然成算なし

石本市長を繞る市會の人々は助役收入役問題の行惱みに對し頻りに焦慮し局面打開の策を講じつゝあるが未だ成算立たざるものゝ如く今月に入つても去る三日を以て緊急市會を招集する豫定であつたが沙汰止みとなり更に十五日開會の內議を進めてゐたがこれ亦目算成らず延期となつた

張氏の幕下多數赴日

けふは曹氏外二名

別府に靜養してゐる敗將張宗昌、吳光新氏等の後を追つて最近頻々と張氏の幕下が日本へ行つてゐるが十四日出帆の香港丸で[illegible]の打合せ等の重要用件を帶びて中將溫樹德、元交通總長曹[illegible]、同弟曾作舟三氏が別府へ向つた

人事

▲加賀山學氏（鐵道省工務局長）青島へ赴任の途次十四日午後八時半大連着の豫定

▲泉二新熊氏（司法省刑事局長）奉天丸にて十七日上海より來連一泊の上十八日旅順へ

▲神鞭常孝氏（滿鐵理事）社長出迎の爲め十三日出發京城へ

▲藤井十四三氏（滿鐵秘書役）同上、十五日夜出發安東へ

大觀小觀

◇電報と謠言の戰爭が長江沿岸で開始された。電報料が多く、宣傳の上手な方が勝つに決まつてる。

◇廣西派が廣東を衝き、蔣派は河南に進み、馮軍は山西を狙ふ。將棋倒しの下積は張學良クンである。

◇吉會線問題でグズついてゐるうちに飛んでもないことになるかも知れない。

◇皇姑屯事件は既に我國に責任なしと決まつた筈である。ソレを今更の如く騷いでゐる貴族院議員、憐てゝる政府、共に倶に愚劣。

◇サンマータイム否決となる。何うなつても大した問題でなし。

◇市會招集說は市長派の夢想と判明。あまりモガくべからず。

天氣豫報

十五日（曇）南東の風

日出四時四一分　日沒六時五九分

滿潮前一時五〇分　後二時三分

干潮前八時　後九時四十五分

早慶、カ大を初め 强チーム續々來る
實滿戰を了つて六月下旬から 滿洲球界頗る多事

[illegible]

滿實側

[illegible]

陣容を

[illegible]

殉職した滿鐵傭員表彰

[illegible]ギヤーに捲き込まれて瀕死の重傷を負うたが責任觀念から機械をそのまゝ放置するときはこれを破損せしめ且石炭積込作業を中止するの餘儀なきに至るので重傷にも拘らず四米突を離れた非常用自動停止ボタンを押し機械の運轉を止めこれが安全を確め更にその旨主任者に報告すべく匍匐して三米突の地點まで至つたとき危篤に陥り遂に死亡したが、斯の如きは職務上稀に見る責任行爲だとして滿鐵では十二日社員表彰規程第一條第一號により勤續章並に金一封を授與して表彰するところあつた

儲からぬ日本で結構な御馳走
米國記者團歡迎會における ジョンズ代表の挨拶

[illegible]驚嘆した、然し急激な歐風崇拜のために日本在來の獨特な家屋の優雅な面影をお忘れないやう希望する、それから今日は日本實業家のお歷々が御出席なので私は二三の方に「商賣は如何です」とお訊ねした、するといづれもお答は「いや些つとも儲かりません」に一致してゐたが、私はアメリカでも實業家から常にこの「些つとも儲かりません」を聞かされます、然しソンナに儲かりませんものなら今日こんな結構な御馳走は戴けない筈だと考へますが如何なものでせうか

特使殿下御西下
けふ正午御殿場を御發

[illegible]

けふの日程

【東京特電十四日發】米國記者團一行は十四日午前市內の各工場を參觀正午東京俱樂部に於ける日米協會招待の午餐會に臨み、午後二時吉田外務次官招待の園遊會を次官々邸內に開會、折柄の微雨に天幕の中から新綠を愛で、夜は日本郵船會社が紅葉館に招待して晩餐會を催し例の日米國旗踊で華やかに一行の御機嫌を取り結んだ

瓦斯會社の宣傳デー

南滿瓦斯會社では支那人方面に對し大々的宣傳をなすべく實演の展覽會を十四日から五日間同社內で開催十四、十五兩日は大連居住支那人三千名に招待狀を發し招待デーとして蓋を開けたが早朝から非常な盛況を見せてゐた、招待者に對しては社員總出で歡迎し泰華樓から出張してる瓦斯實演の饅頭、コーヒー、菓子その他を振舞ひ、場內の裝飾もスツカリ支那式で、金銀細工、理髮屋、料理店、菓子店等の實演即賣もありまた家庭用として燒鍋子などが最も喜ばれそうに見受けられてゐたが一般の入場は十六日から三日間となつてゐる

ペスト船元山丸 或は燒却か
なほ一名の疑似患者 長崎で檢疫に大童

【長崎十四日發電】ペスト船なる神戸山本汽船の元山丸は大阪稅關港務部にて停船を命ぜんとしたところ、十一日午後一時既に三池に向け出港し間に合はざるより門司港務部にて之が檢疫消毒をなさしめんと手配したが、同船は關門を通過せず土佐沖を經て三池に向ひ居ること判明したるより直に同船に對し長崎入港を命じたるため同船は十三日午後五時長崎港外に着いた、長崎稅關港務部にては直に防疫官その他衞生技師女神檢疫所にて同船を檢疫し乘組員四十名の內三分の一を船內に、三分の二を檢疫所病院に收容し檢疫、健康診斷、動物試驗を行つて居るが防疫の徹底を期するために或は船體を燒棄するやも知れずと、なほ同船には一名の疑似患者あり關係者は大に緊張してゐる

照つたり降たり 厭なお天氣
まだ一兩日は續かう 大連では稀有の現象

この數日來例年になく陰鬱な天氣が續く……これに就き大連觀測所の吉田技手は語る

この現象は大連に於ては殆んど稀有のことで、內地の雨期は每年六七月の候揚子江流域に連續的に發生する低氣壓が黃海を橫切つて日本を通過する其都度雨をもたらすのであるが

滿洲の雨期は それより約一ケ月半遅れて七月十日頃より八月二十日前後にかけて黃河流域に發生する低氣壓が渤海を橫切り遼東半島より陸に入つて滿洲を東漸し日本海に拔けるので日本海に滯留してゐる高氣壓に遮られて停低するために連日陰鬱な天氣が續くのである、然し內地の雨期に比して滿洲の雨期は期間も短く雨量も比較にならぬ程少ない、昨今の天候は恰度この滿洲の七八月頃の

雨期と 同じ現象を呈してゐて此數日來黃河流域に發生する小低氣壓が、日本海方面に頑張つてゐる高氣壓と相對してゐる結果である、例年雨期の雨量は全滿洲を通じて六百二三十ミリで其內約半數量は七月中に降るのを例とするが、今年は未だ曾て觀ない雨期に等しい現象を二ケ月も早く見たのだから七八月の雨期には雨は降らぬかと云ふに、決してさうとは限らない、從つて降つても

雨量が 少なからうと云ふ樣な豫斷も出來ない譯である

尙十四日の豫報は氣壓の配置から云ふと更に黃河流域に小低氣壓ありて東進の氣勢を示し、高氣壓は北海道附近にあつて大連初め沿線一帶は小雨、安東縣は晴れ、朝鮮一帶は曇天であつて大した事はないと思ふが玆一兩日は尙この天氣が續くものと觀測されると

汀に春深し 星ヶ浦にて

ゴリラを乘せて Z伯號準備飛行の途へ

【ベルリン十三日發電】ツエツペリン伯號世界一周飛行の準備飛行搭乘について各方面から申込があつたが乘客十九名、乘組員四十名外に雌のゴリラが乘込んで出發した、ゴリラはミツシーと云ふ名前の所有者でシカゴ動物園に贈られるものであるが、その連れ合の雄ゴリラは可愛そうに取り殘されてしまつた、ツエ伯號のコースは向ひ風と濃霧の心配から

一、ボルドーからアゾレス群島ベルムダ島を經由するもの

二、ジブラル海峽からフアンシヤルを通りベルムダを經由するもの

三、最南コース即ち常に追風に惠まれる貿易風帶の北端コース

の三つの內一つを取るであらうが第三コースは距離が長過ぎて選ばれまいと

慶大軍惜敗す
對明大留守軍野球

【東京特電十三日發】明大留守軍對慶應野球二回戰は十三日神宮球場に明大先攻で開始左の如く九回目六對六の同點となり補回戰に入つて大接戰を演じて八對七で明大凱歌を奏す

明大 ○○四○二○○○○二|八

一二三四五六七八九十

慶大 ○○一○○○○四一一|七

バツテリー明大鬼塚・八十川・井川 慶大塚越・上野・水原・川瀨

早大投手病む
對慶大戰を控へ

【東京十三日發電】十八・九の兩日に迫れる早慶野球戰は久し振りに五分五分の接戰が見られるとフアンの興味をそゝつてゐる折柄・慶應の宮武投手と一騎打の興味をかけられてゐる早大左投手小川選手は右足關節捻挫の爲め帝大病院に入院してゐるが・更に山田投手も肩を痛めフアンは大いに心配してゐる

デ杯戰歐洲ゾーン 獨西各一勝す

【バルセロナ十三日發電】デ杯戰歐洲ゾーン西班牙對獨逸第一日シングルは左の如く西・獨各一勝した

メイエ(西)棄權 エツチクラインスロツト(獨)

モルデルハヨエル(獨) 六—一、六—一、六—三 ダヤテ(西)

寺尾マサ子孃結婚

【東京十四日發電】女子スポーツ界の花形として異彩を放つてゐた寺尾マサ子(一九)孃は十六日華燭の典を擧げることゝなつた・新郞は市外高田町地主前田耕藏君(二六)と云ひ早稻田大學商科出身マサ子さんは妹の文子さんと共に短距離界で鳴らし・大正十三年の神宮競技には五十米突を七秒の日本記錄を作つたのを最初に五十・百四百リレー等で新記錄を作つてゐる

雨量が …

將校服の男 巡捕を射つ
金を强奪されたと申出 現場に向ふ途中

【昌圖十四日發電】十四日午前二時半ごろ滿井驛(昌圖北方)に年齡廿三歲位の將校服を着た支那人が現はれ附屬地に於いて匪賊より金八十圓强奪された旨申出たるため、同驛では早速此の旨警官に急報し日本人巡査及び支那巡捕の二名が右の申告者と共に被害現場に到る途中突然右の男が發砲し巡捕任仕長の左腕貫通銃創、左大腿部及左脚貫通銃創、下腹部盲貫銃創等を負はせ逃走した、日本人巡査は直に右犯人を追跡したるも遂にその行方を發見するに至らず右巡捕は直に第二五列車にて四平街醫院に入院せしめたるも重態であると

大連市民大運動會
申込みは愈よ明日限り

子思ふ親心
精神異狀の伜の保護願ひ

大連能登町七〇加藤只一かた宮崎要一(五一)は十四日大連署保安係へ伜龜吉(二三)の保護方を願出た、願書に現はれた願の理由は伜龜吉がこの五日夜二時ごろ發作的精神に異狀を來し消燈の上養女まさ子(假名)(一四)に對して突然猥褻行爲に出たので、當時病氣臥床中の父要一が之れを制止するや却つて狂ひ出し要一を散々毆打した上

咽喉部 を締付けた騷ぎに隣家の者が駈け付け要一も漸く命拾ひしたが、恐怖のあまりその場より養女を連れ他所へ避難すると共に龜吉を慈惠病院に入院させた、然るに龜吉は病院を拔け出し晝夜の別なく方々を徘徊するので萬一のことあつてはならぬと子を思ふ親心より相當の旅費を預け八日出帆のはるびん丸で內地へ歸したが門司に到着と同時に擂れ違ひの大連行定期船に移乘し十二日歸連しその後も方々徘徊してゐるので、要一やまさ子は何時危害を加へられるやら生きた心地もないのみか、他人に對しても

迷惑を かけては相濟まぬと再び歸國せしむべく旅費調達中であるから、旅費の出來るまで一時大連署に預つて保護して貰ひたいと云ふのである

キング六月號の大計畫五つ

キングはその六月號に於て又々「愛の勝利物語」「名畫ローマンス」「笑はせ大會」「一騎打物語」「本領發揮物語」の五大計畫で、天下をヤンヤと熱狂させて居る。

公太堡事件の負傷警官へ
藤岡警務局長から慰問電

【奉天特電十四日發】公太堡における我負傷警官に對して十三日午後藤岡警務局長より乾奉天署長宛左の如き慰問電が到着した

暴民のため傷痍を受けたる署員に宜しく傳達を乞ふ

伊藤警部一行 今明日に引揚ぐ

【奉天特電十四日發】公太堡事件に對する根本問題は彼我の交涉機關に讓ることゝなし同地來駐中の李公安局長も今後約一週間責任を以て村民の妨害行爲を取締ることを言明したので、伊藤警部一行は情勢を見たうへ十四日乃至十五日朝同地を引揚げる豫定であると

滿洲視察を終へ 五團體歸る

十四日出帆の定期船香港丸は五つの團體を內地に送つた、入江八郎氏を團長にする福岡縣々會議員滿蒙視察團一行九名、小野軍吾氏を團長とする長野縣實業視察團一行十名、下關商業一行百廿三名、廣島絹山師範學校一行卅八名、豐橋商業一行百二名、何れも滿蒙見物に滿足し切つて離連

多聞丸は救助

關東州置籍船多聞汽船會社の第十八多聞丸は去る九日北海道江差岬燈臺において坐礁し浸水危險に瀕して救助を求めつゝあつたが、十三日當地海務局への入電によれば幸ひ函館より救助船あり乘組員は船長綱島元吉氏を初め一同無事であつたと

今曉、老虎灘で 續け樣に三軒を襲ふ
犯人は支那人で硝子窓を外す

大連市外老虎灘屯番外三二和田篤郎、內藤善二郎、宮原市三郎の三氏方に十四日午前二時頃から同四時頃までの間に泥棒忍び込み內藤氏方では賊が枕元に立つたのを妻女が目を醒して逃走させ宮原氏方では熟睡中であつたゝめ金時計(鎖メタル附)時價三十五圓を竊取され、和田氏方では三男正君が四時頃炊事場に水吞みに行つた爲め一物も得ず逃走した

これを聞いた正君の母秋子さんは夜明け頃のことゝて賊を追かけたが遂にとり逃がしこの旨派出所に訴へ出でしも逮捕に至らなかつた平和境の老虎灘に一夜に三軒も見舞はれたので居住者は極度に不安を感じてゐるが犯人は支那人でガラス窓のボテをはがしてガラスを取除いて侵入する手口だと

露天市場の辻强盜狂言か

[illegible]露天市場のピストル强盜事件については小崗子署に於いて手配中であるが、其後被害者劉喜文の申立によると劉は柳樹屯の菓子製造人で十三日午後四時半西崗街五三難數商三義興への借金六十六圓を支拂ふため大洋六十五圓を袋に入れて持參したもの▲借金は日本貨であり不足の爲保證人である劉家屯宮培永方へ持ち行かんと前記の場所を通行中强盜に遭つたと申立て不審の點多く或は口實の爲の狂言ではないかと目下嚴重取調中

手配の四人組 强盜送還

山東龍口に於いて四人組强盜として手配中の敗殘兵魏峰五、魏煥章、孟壓軒、呂占海の四名は兵亂に紛れて大連に逃れて來たが、運惡く同船した被害者五奇堂に發見せられ屆出に依り小崗子署の手に逮捕せられ本日山東に送還される事になつた、尙最近張宗昌の敗殘兵にして小崗子方面に徘徊して居る者で判明してゐる數だけでも約二千名あり、彼等は衣食に窮すれば郊外に出で强窃盜を働き治安上面白くないので是等も便船の有り次第山東に送還すると

飛んだ氣焰 十郎の內緣の夫

旅順青葉町料理店君廼家抱へ藝妓十郎が自分を喰ひ物にして離れぬ內緣の夫大連乃木町一四高橋林太郎との關係を細々に陳情し離緣說諭方を旅順署に願出た事は當時所報の通りであるが、右事件移牒により大連署では高橋を呼び出し十郎の意見を傳へると共に若し意見あらば書面に認めて提出して貰ひたいと通じた處、高橋は十郎との關係には毫も觸れず自分の一代記を罫紙六百十一枚に綴つて來たので署では更に書き直しを命じた處今度は最後の項に日露戰の時近衞鬼將軍淺田閣下の手許にて戰線の露語通譯として彈丸の中に居りました、忠臣高橋としてこのお願をする等と氣焰を擧げてゐるので係官もプツと吹き出してゐた

本社見學

十四日午前旅順師範學堂生徒三十五名は中村教諭公主嶺公學堂生徒三十二名は庵原教諭にそれ〴〵引率され本社を見學したまた旅順師範學堂女生徒十四名は十四日葛西教諭に引率され本社各部を見學した

南船北馬

◇……大連署では十三、十四の兩日間市中にウヨ〳〵してゐる不良なボロニーヤ狩を行つたが、十三日のみで許可を受けて居りながら許可證を携帶してゐなかつたり、不正な秤を所持してゐたり、無許可で營業に從事してゐたりして告發されたもの九十三名

◇……ツエ伯號は本日午後四時試驗飛行のため短距離飛行に出發した【フリードリヒスハーフエン十三日發】

◇……シカゴ市に住むアレキサンダーシヤーロツグとその妻君のアンナは夫婦喧嘩の末十年この方一言の言葉をも換さない會話の必要な時には手紙を交換して來たが、最近妻君の方から夫が少しも私を省みないと云ふ理由で離婚訴訟を當地の裁判所に提出した【シカゴ郵信】

◇……十四日橫濱出帆のプレシデント、ジヤクソン號で桑港へ向ふ豫定であつた豆飛行機のケーニツヒ男は船室の都合で出發を延期【東京十三日發電】

長女悅子儀豫て病氣の處十三日午後六時死去候に付御通知に代へ此段謹告候也
追て葬儀は途中行列を廢し十五日午後三時春日町大連寺に於て告別式相營み候
昭和四年五月十四日
父 石井俊平
親戚總代 築島信司
友人總代 田中千吉 吉村英吉 笠原博

地方的たるべき滿蒙問題

滿洲日報

芳澤公使の對支意見なりと云ふに據れば、支那の國民政府と新規蒔直しに條約改訂交渉をなす、滿蒙問題は飽くまで東三省當局を相手にその解決を圖るべく、新條約締結に當つても特に右の主旨を容認させるとの事である。吾等は曩に滿蒙問題が條約改訂交渉の一難關とならざるを一言して置いたが、滿蒙問題は當該地方官憲を相手とし、その解決を圖るのが本筋であるから、我が政府が國民政府と條約改訂交渉をたすに方り、特にこの點を容認させるのは當然で、そこには一分の讓歩を許されぬのである。

◇

……權が南京の國民政府に移つてから、支那の外容は大分變つたけれども、實質內容は從來と些も變つた所がない。五色旗が青白旗となり、三民主義が全支那を風靡したところで、馮や閻が殘存してゐる外、更に……を擁する種々の新軍閥が勢力抗爭を演出し、次いで……と廣東軍との間に戰ひを……最近には南京派と武漢派……新舊軍閥たる蔣馮兩派の……宣傳さるゝと云ふ狀態では、新舊各勢力が地方を……して封建的に割據すると云ふ形勢は今も尙ほ昨の如しと云ふべく、從つて統一なるものは名目だけに過ぎない。張學良を首とする舊奉天軍閥は蔣の國民政府に合流し、青天白日旗を……に揭げたけれども、その封建的地方割據の情勢には絲毫の變化もないのである。

◇

……の新興勢力を過大に見積……いへども、此の支那の實……は認めざらんと欲するも……べく、從つて地方の問題は……當該地方の割據的勢力を相手として交渉するの至當なるを認むるであらう。況んや……特殊の關係を有する滿蒙に於てをやで、既得權益に關する事柄は無論の事、その然らざるものも、苟くも滿蒙問題に屬するべき事柄は、一切悉く地方的勢力たる東三省の支……

[illegible]

……益を認むるにもせよ、滿蒙問題の交渉は今後改めて中央政府との間において爲すべしと、斯う主張するだらうと思ふ。法制や裁判及び行刑制度の尙は不完全なるにも拘はらず、例の面子のために、治外法權撤廢を主張して已まぬといふ狀態から考へてみても、國民政府が滿蒙問題の地方的交渉を容易に認めやうとは考へられぬのである。

◇

日本と滿蒙との特殊關係から云つても、支那の實質內容が依然として軍閥割據の封建的なる點から言つても、我國が滿蒙問題の地方的解決を主張するは當然である。然るに國民政府の意嚮が右の如くであり、當該地方官憲たる舊奉天派が例の術策よりして外交權の中央政府移讓を唱へるといふ有樣では、之を突破して我が正しき主張を貫徹するのは容易な業でない。吾等が曩に滿蒙問題を條約改訂交渉中の一難關であると云つたのは此の故である。此の一事だけでも芳澤公使の責任は極めて重いと謂はなければならぬ。

赤露職業同盟の閉鎖を計畫
東鐵電信電話回收案を確定し 蔣斌氏哈爾賓に急行

【奉天特信】張學良氏は五月三日東支鐵道電信電話回收案を承認し前回哈市電信處を回收直接衝に當つた奉天電信電話課長蔣斌氏を十四日哈市に派遣し電話處を回收せしめると共に本月中に東省特別區並に東支沿線に在る赤露の職業同盟其他不穩團體閉鎖をも實行する筈であると

高氏との不和が翟氏辭職の原因
高氏盛に張氏に焚附く

【奉天特信】翟主席の辭表提出に關し某支那側要人の語る所に依れば今回翟主席が辭職したのは高紀毅氏との不和に依るもので高紀毅氏は東北交通委員會副委員長の職を利用し翟主席に無斷で自己の勢力扶植の爲め各鐵路局に自派人物を採用せしめ事毎に翟氏を排斥し最近は奉票暴落に依り之は翟主席の無能なる爲であると學良氏に告げ學良氏も高氏の言を信じ翟主席をうとんずる樣になつたによるためで翟主席は高氏は陰謀家なる爲め將來は第二の郭松齡ならんと語つたと云ふ事である

奉海鐵路總會

【奉天特信】奉海鐵路局にては來る十五日商總會に於て規定に基き株主總會を開催の上董事の改選を行ふ筈にて當日張學良氏は狀況の視察及び監視の意味に於て省府代理主席陳氏を出席せしめると

孫文の移柩式に學良氏參列せず
代表二名を特に派遣

【奉天特信】國民政府より派遣された中央執行委員吳鐵城氏は十二日夜平奉線にて北平へ向つたが聞く處によれば故孫文の移柩式參列につき張學良氏の出席督促のためわざわざ來奉したものであるが之れに對し張學良氏は時局の關係上この際赴燕は見合せると拒絕し代表として軍令廳長王樹常氏秘書廳長王樹翰氏を派遣せしめることゝしたと

閻の特使南下

【天津特信】閻錫山の密旨を受けて朱綬光は十日北平より入津し老站に於て傅警備司令曾公安局長と會見し直に津浦線にて南下し蔣介石と重要問題に就て交渉する筈である

中央の命に依り兩縣名改稱か

【遼陽特信】遼寧省政府は中央政府の命に依り省內の縣名中、興京縣は清朝發祥の地に因んで命名した沿革を有つので、現在では民國政府の趣旨に合致しない、また海龍縣は龍神の神祠と云ふ意味で現代民國としては不合理と云ふ解釋から興京を新賓、海龍を輝北と改稱することに省委員會に提出した由

四鐵路會議終る
各線は互助的精神で自給自足を申合はす

【奉天特信】既報支那側としては最初の試みである東北鐵路會議は十三日を以て終了したが右に就き仄聞する處に依ると北寧四洮洮昂齊克各鐵路にして貨物輸送其他一般の業務擴張に際しては互助的精神を以て切に自給自足となし他國の依賴等は極力排止すべき事を決定せるもの〻如く滿鐵方面との對抗策に就ては別段極端なる方針は執らざる模樣なりと傳へらる

罌粟栽培公許

【間島特信】情報によれば露領水濱區內ハバルク地方の一般住民は昨夏の水害で慘憺たる苦境に陷つてゐる爲め極東政廳は其の情狀に鑑み同地方に限り罌粟の栽培を公許してゐると

開灤炭礦の勞働爭議解決す
双方代表間に安協成立

【天津特信】久しく紛爭して居つた開灤炭礦の爭議も十日午後五時双方の代表間に正式に解決が出來たが其條件の內容は左の如し

一、增給に就ては十五元より二十四元迄の者は每日八分增し、二十四元以上五十元迄の者は一割增し、五十元の者一割增し、七十元以上は五分增し

二、[illegible]に就ては五日以內の休業者は得票を差引かない、一ケ月以內の請暇も願出に據つて差引かない

三、休業日に就ては陰曆正月三日間、陽曆正月二日間、中山先生誕生日、中山先生忌辰日、双十節、五一節、每年定例休日九日然して工作繁忙の際は合宜例休日でも作業に服せしめ二倍の工賃を給し服業せざる者も給料を差引かない

四、工會は廠內に從業中の職工を突然逮捕するが如きは違法に就き法律に依つて解決す

ラヂオ英語講座

大連放送局五月十五日午後七時三十分
講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第七回（第七週第一課）

Cherry-Flower Viewing. 第一回

1. Let us go and see how things look out-doors.
2. Where shall we go?
3. Let us take a walk to Hoshigaura to see cherry blossoms.
4. It's impossible to get into any of these tram-cars.
5. Then let us walk. It wouldn't take us more than an hour.
6. Yes, that will be better, It's rather pleasant to walk, so nice.
7. Now here we are.
8. Oh, it's very nice; much better than expected.
9. Yes, the flowers are now at their best.
10. There's a bench, let us sit down.
11. The sun shines so brightly.
12. Yes, there's not a cloud overhead,
13. Hard! Birds are singing.
14. The rain has not spoiled the flowers.
15. We have come at the right time.
16. See, a butterfly is flying over there,
17. Now I begin to feel chilly.
18. Then let us go home.
19. There comes a car, let's get in.
20. We must change cars at Tokiwabashi.

* * * * * * * *

花見

1. 外出して戶外の樣子を見ませう。
2. 何所に行きませうか。
3. 散步旁星ケ浦へ花見に行きませう。
4. どの電車にも乘れませんね。
5. では步きませう、一時間以上はかゝらないでせう。
6. さう、それもよいでせう、天氣が大層よいから步く方が却つて氣持がよい。
7. さあ、來ました。
8. あ立派だね、思つたより遙によい。
9. さうね、花は今滿開だ。
10. あそこに ベンチ があるから腰をかけませう。
11. よく晴れてゐますね。
12. ほんと―に、日本晴です。
13. 聞いて御覽、鳥がさへづつてゐます。
14. 雨が降つたが花は大丈夫です。
15. 丁度よい時に來ましたね。
16. あれ、向ふに蝶が飛んでゐます。
17. 少し寒くなつて來ました。
18. では歸りませう。
19. 電車が來たから乘りませう。
20. 電車は常盤橋で乘り換へねばなりませぬ。

滿日俳壇

島田青峯選

雲雀

○大連 日野 支鳥
郊外の踏切番や雲雀鳴く
雲雀野に風募りつゝ夕づきぬ
丘の上の午砲鳴りけり揚雲雀

○哈爾賓 玉川 靜波
揚雲雀かそけく浮ぶ晝の月
子を負うて麥踏む母や雲雀啼く
揚雲雀麥の青葉に風輕し

○大連 高木 春陰
雲雀高く鳴きすむ空の眞靑かな
目もはるに續く麥圃や揚雲雀
ねむたさや雲雀に醒めし窓明り

○香川縣 高木 宏影
雲雀鳴く彼岸參りの道すがら
順禮の行く四國路や雲雀鳴く

○哈爾賓 飯倉 凡水
羊遊ぶ夕日が丘の雲雀かな
放牧の馬遠近や雲雀啼く

○同 松本牽牛子
耕すや笠に迫りし夕雲雀
舞雲雀見上げし空の高さかな

南征雜錄(18)

サンボウロ市にて 難波勝治

ブラジル(十八)

新しい事業は兎角傍からケチが附けられ易い、人間嫉妬心のある限り何時の代にも免れぬ傾向ではあるが、性急者の日本人間には殊に區々たる小理窟が絕えぬ、開設直後のアリアンサ移住地もこの例に洩れず、一時は中々盛んに冷笑痛罵を浴びせ懸けられたが、經營の步武を進めるにつれて批評の聲は少くなつた、否少くなつたよりも合理的になつて來た、この地の事情に就いては私も兩三年來各種の不平を聞かされたが、親く實地を視察するに及んでその案外スクスクと成長して居るのに驚嘆した、併しそれは必ずしも批評家の意見が間違つて居たのでなく、時代に應じ若しくは各人經驗の異同に準じて事物の見方に甲乙があつた、其處から議論が起り感情も交つた相互の疎隔を生じたのであらう、されば世間の批判は毒にもなれば藥にもなる黑住宗忠の遺した道歌のやうに「立向ふ人の姿は鏡」でもあれば踏臺でもあつて、要はその批判された人の心得一つに歸着する、この意味に於て過古五六年間のアリアンサが、飽くまで不退轉の所信を貫徹實現し來つたのは、何といつても輪湖、北原兩理事の奮鬪に外ならぬ、今や信濃協會が三移住地區の核子となつて鳥取、富山の二協會は唯拱手成を仰いで居る形だが、之は單に協會の歷史が舊い爲め許りでなく人の力でもある、移住地當初の礎石を置いた永田君の最大貢獻は、此壯年有爲の二適材を拉し來つて自由に働かせた所にある、勿論今後の同移住地は各方面とも新しい人物を驅出せしめるであらうが、併しアリアンサ創立史の第一其中に右二理事の名は永く銘記さるべきである

輪湖君も北原君も出身地は均しく長野縣、南安曇と上伊那の山郷にマカコ相手に育つた田舍者だが、前者は夙に大志を抱いて北米に渡航し、デンバアからユタ方面へ掛けて果物賣りもやればスクールボーイもやつた、居ること數年、會々ブラジルにイグアッペ植民地といふが建設されるときいて、當時は勤務して居たロッキー新聞社を飛び出し、ニューヨークを經てサントスに渡航したのは大正二年であつた、來伯後十年間の君の生活は相當數奇を極めた者であるその間今の聖州新報社長の香山君と伯國新聞社で植字職工を勤めた事もある、革命當時カンボグランデのモンソン耕地に入植したこともあれば、爾來或はブラジル時報社に、或はイグアッペ植民地に轉々したが、大正十一年伯國百年祭の時來遊した片倉兼太郎氏に知られたのが緣となり、翌年末北西年鑑を著したのを最後として放浪生活の足を洗つたのである、北原君は大正六年の渡航者であるが、之は又輪湖君と正反對の鈍重主義を嚴守し、アリアンサの現地位に就くまで八年間イグアッペで綿ゆる農業的研究と體驗とを積んだ、君自身は「何分世間を步かない者だから」と謙遜して居るが夫だけ智識慾が熾烈で多方面の蘊蓄を有し誠實と親切とを以て入植者一般の信望を博して居る、由來アリアンサは入植者の雜多な事に依て知られ「カフェ園勞働てふ實科目を修了した者にして、始めて獨立農たり得」とされた海興會社邊の傳統は種々な意味に於て破壞されて居る、それだけ純農者眼から見て缺點があり、遂に世間から温室農園又は恩給植民地など冷評さるゝに至つた(寫眞はアリアンサ第一移住地事務所と二理事(向つて左)輪湖俊午郎君(右)北原地價藏君)

滿洲日報 地方版

奉天

奉撫對抗競技 六月九日撫順で擧行

[illegible]

黑田次官ら來奉 驛頭出迎へて賑ふ

[illegible]

黑田次官等を東亞煙草招宴

[illegible]

馮庸大學優勝す 日支學生了式蹴球大會

[illegible] 擧つての應援團にグラウンドを埋めた各校選手とも技倆伯仲して盛會を極めたが、結局馮庸大學對文會中學の優勝戰に於て一對零の大接戰で馮庸大學優勝し栄ある優勝旗は馮庸大學チームに授與され午後六時閉會した、なほ當日の成績左の如し（○印勝）

▲第一回戰
○馮庸大學三―一第一高級中學
醫大零―一文會中學○

▲優勝戰
○馮庸大學一―零文會中學

町の便り

[illegible] ▲陸大生一行六十六名 十三日過奉公主嶺へ ▲福岡縣傳習生百卅七名 十三日大連より來奉 ▲吳鐵城氏 十二日夜北平へ

◇ 豫て計畫中であつた奉天輸入組合の商店研究會第一回會合を來る十七日午後七時より組合内に於て開催

◇ 奉天青年團では愈 十九日在奉天各老翁を招し盛大なる敬老會を開催する事となり各方面に招待狀を發し目下準備中である

烏鐵理事一行過奉 京城へ向ふ

烏蘇里鐵理事シラムコ氏一行六名は十三日急行にて長春より來奉同日京城に向つたが、京城に於て開かれる日滿聯絡會議に出席のためであると

呑だくれの人妻 井戸へ身投げ

十二日午前八時ごろ奉天十間房警第七號金鐵植の妻李順伊（三七）は崔東植方に招かれ女だてらに强か酒を呑んで午後二時頃歸宅し更に支那酒を煽り夫と些細の事から夫婦喧嘩を始め李順伊は苦まぎれ自殺せんと裏の井戸に投身自殺を企て夫や其他から助けられたが餘程重態

人事

▲田村滿鐵興業部長 十二日 [illegible]

瓦房店

春季大祭協議

瓦房店神社春季大祭は來る六月三日より五日迄行はるゝ筈なるが之が準備の爲め十三日午後七時より本願寺に於て市民懇協議會を開催した

兒童愛護デー

十二日は兒童愛護デーなる爲め當地小學校及び幼稚園等にては之が準備に忙殺されて居たが當日午前九時より前記兒童等一齊に國旗を振りつゝ愛護デーの歌を高唱して旭山公園に至つて散策を試み一方オモチヤ釣等の遊戲で樂しく一日を送つた

郵便物集配數

瓦房店郵便局で昭和三年度取扱郵便物は左の通り

普通郵便 引受七二六、一七四通 配達七八八、六五八通
小包郵便 引受 一、七一三通 配達 七、一六四通

藤根理事歸任

沿線視察および家族慰問の爲め過般來瓦せる滿鐵藤根理事は北方視察中であつたが十四日午前六時着列車にて歸連した因に手島大長は當地迄出迎へた

機關區家族會

夜來の雷雨も全く止み美しく澄渡つた紺碧の初夏瓦房店機關區は當地旭山公園に於て大家族會を開催した

警官六名着任

開原警察署には新任巡査吉田大雄、楢崎武生、岡田英治下田通弘、平井定雄、熊坂市郎の六名十二日着任した

開原

鐵橋通過は危險 運轉妨害で處罰さる

過般の日曜日に當地の或紳士が子供を連れて開原河に散歩の際同鐵橋を渡つた處子供が未だ渡り終らぬのを折柄進行して來た列車の機關士が認めて急停車せんとしたが辛うじて子供が渡橋したので其儘運轉をした、鐵橋や線路は勿論線路の兩側を歩行する事も

嚴禁

されて居り線路上の通行を認めて列車が停車すると列車運轉妨害として守備隊に引致され嚴罰に處せらるゝ事となつて居り列車が急停車すると大損害を惹起する事であり萬一急停車出來ぬ場合は或はゝね飛ばされて不具者となり轢き殺されて不様な姿を晒す事であり數年前にも開原河鐵橋で枕木に腰を下して釣を垂れて居た人が列車にはね飛ばされて頭部等に大怪我を負つた事實もあり是れから逐日開原河に

遊ぶ

人達も增加する事故前記の樣な危險を犯さぬ樣に線路面を歩行せぬ樣に列車には特に各自注意し列車通過後に踏切る樣にされたいと當局者はいつてゐる

スポンヂ大會

開原青年團主催のスポンヂ大會は早朝雨の爲め豫定より遲れ正午より中央公園グラウンドにて擧行した試合勝負は左の如く

郵便局班七A――六地方區班
驛 班五A――三市中A組
小學生組五A――三市中B組

にて久し振りの事とて觀衆も多く盛會であつたが時間の都合にて優勝試合を行はず午後五時散會せり

弓道部月例會

弓道部月例會は十二日午前十一時

◇…當地浮世小路の食道樂千島の女將西川ツヤさんは老母や息、娘を引具して十日の急行列車で歸國したが出發離開に際し同女將が開原神社へ金五圓〇二錢を寄附して此金を喜捨した人々の幸福を祈願して下さいと申出たので喜捨した人達はと聞いて見ると今年の正月から千島の帳場に「ノロケ箱」と云ふのを備へ付けてお客でも藝者でも帳場へ來てスウチヤンのおノロケを云ふとキツスとか握手とか夫々色々に定められた金高を喜捨させられてノロケ箱が段々おなかをふくらして來て月が滿ちると藝者衆や皆の野遊會に使用する筈であつたが

ノロケ料寄附 金五圓〇二錢也

◇…今回同女將の歸國に際しお醫者ならぬ藝者立會でノロケ箱を切開手術を行つた處前記の通り積つたおノロケ料が合計金五圓〇二錢であつたのでさては早速喜捨した人々の幸福を祈願して下さる樣にと奉納したのだとは隨分振つた珍妙な奇特な寄附金である

鐵嶺

赤ちやん審査會 豫想外の好成績を收む

鐵嶺滿鐵社會係主催第一回の赤ちやん審査會は既報の如く十二日午前十時より小學校講堂に於て開催されたが、申込者百六十名のうち定刻までに出席したる者百四十二名、午後になつて出席した者もあり餘り人員が多いので審査不能の爲め止むなく審査を斷つた程で第一回にも拘らず好成績を收め得たのは

盡力は

元より一に保育者の理解ある贊同が主なる力であり此點に對しては各關係者一同感激してゐた、審査は四平街醫院より應援を求め臨時に係員を定めて順序よく進み審査が終ると別室で寫眞を撮影し午後二時頃全部を終つて成瀨委員の講評に賞書授與式があつて閉會した、當日の審査成績は

特等七名、一等四十四名、褒狀三十三名、其他五十八名

にて審査成績をABC三部に分ちA部五十一名中より更に審査の結果特等を定めA部を一等、C部を褒狀として賞品並に

賞狀を

贈つた、特等入選者の氏名は

氏名	生後日數	保育者
平本元子	三〇〇	平本彌太郎
濱田ヨシ子	六〇九	濱田延榮
横越守	五六〇	横越乙吉
植田拙子	一九九	植田鶴太郎
森田典夫	一八五	森田化治

黑田次官は來鐵しない

水越 隆 二九三 水越佐七
富山茂子 三七一 富山東

黑田次官一行は來る二十二日午後六時二十一分着列車にて歸途來鐵を傳へられてゐたが其後關東廳よりの通知によれば黑田次官は當地に下車せず前記列車で通過南行し只二、三の人のみが下車して守備隊を調査すると

賑かに花祭り

鐵嶺佛教聯合會の釋尊降誕花まつりは十六日午後七時半より商品館クラブで賑やかに行はれるが、式次は灌佛法要に次いで愛らしい稚兒十五名が天童となつて花供養を行ひ講話があつて最後に餘興の三曲合奏筑前琵琶の演奏がある筈、入場無料につき多數の來場を歡迎すると尚當日の花は一本十錢で希望者に頒つと

鮮人民會長の 慘死體發見

去る四月五日吉林縣楊家多村の姿宅を訪れ八日夜不逞鮮人業進會の會長と自稱する金致燦外二名に拉去された西豐縣大阪楊鮮人民會長李震賢氏は爾來行方不明となつてゐたが搜査の結果、殺害された證

撫順

支那側各學校 聯合大運動會

當地支那側各學校聯合の大運動會は十二日城内中學校々庭に於て盛大に行はれ參加學

益田青年畫家來鐵

河上陽立氏門人にして花鳥の青年畫家益田豐年氏は今回滿洲縱行脚の途當地紅太親吉氏方を訪れ暫く滯在する由なるが尚近日中に作品展覽會を開催する筈

于公安局長榮轉

鐵嶺公安局長于國棟氏は近く法庫縣長として榮轉することに内定したと

跡が明白となつた爲日支官憲は極力搜索中、果して去る六日姿宅を距る約三里業進會の根據地たる新安村を距る約一里の山中に慘殺されてゐるのを發見したと

掏摸竊盜團掃蕩 撫順署で全力をあげ 一日に十名を逮捕す

最近スリ竊盜團が横行するので撫順署では是が徹底的掃蕩を計り十二日中左記十名を檢擧した 本籍直隷省保定府住所不定劉玉山（二五）山東省生れ孫嚴禮（二八）同張貴林（二七）同張立增（二三）は四名組スリ專門で奉撫間を股に掛けて荒し廻つてゐたが十一日午前八時半又も來撫、盛んにスリを働いてゐた▲直隷省生れ候起順（三二）は十日午前九時東二條十八番地塚本綱義（三二）方で水色及赤褐色外套三枚時價九十五圓のものを竊取▲奉天省生れ前科一犯吳春山（二八）は四月二十二日大官屯西方にて電線泥棒を働き五月五日第三發電所に於て鐵板を竊取▲前科一犯山東省生れ五長富（二〇）は五月十日午後三時壽町某日本人宅にて黑短靴一足、衣類三點、金票三十圓を竊取▲千金寨支那町西平里李國良（三五）は建築材料專門泥棒▲山東省孫殿君（三二）は市内西九條通五番地共同浴場にて大姿見を竊取運搬中を御用▲直隷省河間府、魏吉俊（一九）は五月上旬東鄕坑社宅にて赤靴一足オーバー一を竊取

實業協會役員

撫順實業協會新評議員會は十三日午前十一時より同協會に參集、正副會長幹事の選擧を行つた結果左記當選

會長山上吉藏氏、副會長出中廣吉氏、中島右仲氏、幹事中原祥光氏、山下七太郎氏、當選古賀初一、大島勇、大江維賢三氏同點の爲め大江氏年長者の故を以て當選

留守中盜まる

十三日午前七時〇分市内明石町六丁目北斗寮二號室陳内伍一（四三）方に忍び十八形金側時計時價四十圓、銘仙袷給上下三十圓、黑紋附羽織三十圓、縮緬兵古帶十圓、銘仙袷十七圓、百圓預入の滿九〇二六二九一の通帳一、勸業債券十圓券二枚、計金票三百四十圓のもの竊取逃走した者があつたが犯人不明

腦脊髓膜炎

市内西四條通り十九番地土屋文藏氏七女シゲル（五つ）は十二日午後五時腦脊髓膜炎と決定、傳染病棟に即時入院、同傳染病撫順は是にて三名、何時終熄するや計られざる狀態にある

人事

▲郡新一郎氏（工務事務所長） 十三日午前大連より歸撫
▲黑田大藏次官一行二十名 同日午後去來
▲飯沼兵士郎氏（炭礦庶務課員）沿線出張中の處十三日午前歸任

三巡査着任

旅順警察官練習所卒業生大坪米作、堤利夫、庄野文雄三氏は卒業と共に鐵嶺署在勤を命ぜられ十二日着任した

今日の案内（十五日）

◇兒童デーと童話會 延期中の兒童デーは本日開催小學校で午後二時より童話の大家安部季雄先生を聘して子供の爲めに面白い童話會が開催される

消防團に一偉力

地消防團は岩永機關區長の盡力で市價の半額で購入した新ホースは十二日到着し試驗放水の結果良好の成績を收め之れで義勇消防團の内容も充實も一段落を告げた

生三千餘に達したが、當地では他地方に於て見るやうな排外的行動は一もなく兒童本位の體育奬勵を主とした運動會であつたい

居留

安東

對平鐵野球試合 安東滿倶大勝す 平鐵側打擊振はず スコアー六對零

安東滿倶對平壤鐵道軍野球試合は既報の如く十二日午後二時十一分から安東驛前球場で田宮（球）千葉（壘）兩氏審判の下に開始された安滿先攻、安滿投手瀨戸山、平鐵投手黑田

平鐵 0 0 0 0 0 0 0 0
安滿 0 0 1 0 4 0 1 6

▲第一回（安）吉本遊擊安打△（平）三者凡退
▲第二回（安）上條右翼安打△（平）黑田四球平松捕邪飛黑田二盜成らず
▲第三回（安）手塚四球筒瀨遊擊安打の後吉本バントして二者進壘服部遊擊安打に手塚生還、一點を先取す、服部二盜せるも吉岡二飛上條一飛に好機を逸す△（平）三者凡退
▲第四回（安）三者凡退△（平）沖三壘安打に出でたが續かず
▲第五回（安）手塚三壘安打筒瀨のバントに盜られ吉本遊擊安打後二盜服部續いて遊擊に安打し平塚生還、服部二盜吉岡三壘安打に吉本本壘に辷り込み生還、吉岡二盜上條のスクイーズ成り服部生還瀨戸山三（邪）安打して吉岡又還る、松崎三振に終るも此の回四點を加へて大勢既に決す△（平）黑田遊擊安打し二盜二死後田中四球に出たが續かず
▲第六回、兩軍無爲
▲第七回（安）吉本二壘安打し二盜服部遊備野選に吉本三壘に刺されチエンヂせんとしたすきに乘じ服部三盜上條の遊擊安打に生還（此の時强雨襲來したが五分にしてやむ）上條二盜瀨戸山一邪飛△（平）二死後黑田中前に安打せり
▲第八回（安）一死後山田遊擊安打し手塚二壘安打に續き筒瀨遊撃野選に一死滿壘の好機到る（此の時再び雨となる）吉本遊備に山田生還、服部中飛にやむチエンヂして八回の裏に移らんとしたが降雨益々はげしくなり試合續行困難となりたる爲め審判はゲームセツトを宣言し遂に六對零のコールドゲームで安滿快勝す終了午後四時十三分

平鐵（守備位置：4 6 3 1 5 8 9 7 2）
選手名（印刷順）：沖 池田 大田 吉田 黑田 平松 小西 田中 林 室賀

	4	6	3	1	5	8	9	7	2	計
打數	3	3	3	2	3	2	1	2	2	21
得點	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安打	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
犧打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盜壘	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
三振	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	3
四死	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	2
過失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

安滿

	7 筒瀨	8 吉本	5 服部	2 吉岡	6 上條	1 瀨戸山	3 松崎	9 山田	4 手塚	計
打數	3	3	4	3	3	4	3	3	2	28
得點	0	1	2	1	0	0	0	0	2	6
安打	1	3	2	1	2	1	0	0	1	11
犧打	1	1	0	1	1	0	0	0	0	4
盜壘	0	2	2	1	1	0	0	0	0	6
三振	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
四死	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
過失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

土けむり

此の日安滿始めから平鐵を壓迫し意氣大いに擧る對兼二浦戰に見られぬ力强さを感じた▲兩軍共守備堅くノーミスで終つた安滿の得點は打擊に依つて得たもの平鐵打擊振はず打上げる三壘踏む者無く敗退した四回目に好機らしきものに惠まれたが取にがす▲安滿瀨戸山投手は上出來、よく平鐵の打擊を封じ四球二を出したが三振三與へし安打三▲平鐵黑田投手三回目ごろから打たれだし五回目に到り續けて安打五本を獻上し一擧四點を奪はる與へし安打十一、四球一、三振三▲安滿吉本平鐵沖ファインプレーを見せ喝采を博す▲本春兩鮮の雄兼二浦三菱軍を二對零でほふつた平鐵軍としては案外の慘敗であつた（勤）

安東一周マラソン 泥濘に足を鈍せたが 參加選手の意氣昂る

安東陸上競技部主催安義三新聞社後援の安東一周マラソン競走は既報の如く十二日の日曜日に擧行された、此の日朝方から雨になり九時頃霽れたが曇勝ちに道路も惡く選手の足を鈍らせた、出場者五十四名を第一部（在住屆あるもの）第二部（在住屆なきもの）の二組に分け前者は午前十一時四十分後者は十分遲れてスタートを切つた初め益濟寮前のトラックを一周し規定のコース六千米を走つて最後に再び會場に還りトラックを一周して決勝點に至る、入賞者は左の如くで第一部は一等より十等迄第二部は一等より三等迄それぞれ賞品があり、第一部一等より三等迄は安東時事新報社寄贈の銅メタルが與へられた

第一部
一等 金 德 用（採公） 二十一分十一秒
二等 崔 鴻 源（滿銀）
三等 福元 末春（新商）
四等 金 起 賢（安東印刷）
五等 矢田時次郎（守備隊）
六等 楠 逢六郎（六道溝）
七等 的場 勉（稅關）
八等 梅田 孝（大和校）
九等 潮原格太郎（中學）
十等 白 用 得（安東印刷）

第二部
一等 崔 鳳 賢（六道溝） 二十二分四十五秒六
二等 洪 在 福（同）
三等 金 天 熙（同）

兒童デー 盛況を極む

滿鐵社會課主催の兒童デーは大和朝日兩小學校合同で十二日の日曜日に盛大に行はれた、朝來の雨も九時頃にはやみ風無く曇勝ながら先づ惠まれた日和となつた、午前九時から大和小學校に於て兒童音樂會開催、聽衆は兩校の兒童合して千五百名これに職員、父兄を混ぜて盛況を極め、約二時間を以て閉會、直に旗行列に移り十一時學校を出發手に赤旗をかざした愛らしい兒童の行列は近々長蛇の如く街をうねる、行列は大和橋通から三省堂脇に出で、市場通を通つて地方事務所前に出で、廣場に整列安東神社に向つて遙拜をなし兒童デーの萬歲を三唱して十二時解散

公主嶺

黑田大藏次官 廿二日來公

大藏次官黑田英雄氏外十二名の一行は二十二日午前九時二十五分着

視察團一束

▲戰史旅行團 陸軍大學戰史旅行團の一行五十名は十三日午後七時十五分來公し十五日午後出發の豫定
▲將校視察團 金澤聯隊區將校視察團一行十六名は二十日來公一泊の上二十一日午後四時四十三分出發列車にて南下すと
▲滿鮮視察團 日本旅行會主催滿鮮視察團一行三百名は二十二日午後二時四分着列車にて來公農事試驗場其他を視察同日午後三時三十三分出發
▲實業視察團 名古屋實業滿鮮視察團七十名の一行は十四日午前十一時三十二分着にて來公即日出發、栃木縣實業視察團一行二十名も十九日同刻に來公の豫定

灌佛式

公主嶺佛教團の釋尊聖誕會は十六日午後一時公會堂に擧行甘茶接待爆竹を合圖に公主嶺驛前に集合せる旗行列は小學生の樂隊を先頭に行進し先發した稚兒の一行は全市を一巡午後七時より灌佛式を擧行講演は東祖心、堀井小學校長の兩氏及び尺八等の餘興がある筈

吸殼から出火

市内新町一丁目七號地毛皮商宋金政方倉庫より十一日午前三時二十分發火したるも無風のため四時十分鎭火した、原因は同家の店員王李、張の三名が午後十時頃寢室に赴く際拋棄した煙草の吸殼が倉庫に推積しある麻繩に燃え移つたので七坪七合の煉瓦建平家一棟を灰燼したのみで損害は建物商品合計三千八百三十三圓である

鞍山

列車の時間改正 來る七月十五日から 急行が殖えて便利になる

鞍山驛列車發着時間は來る七月十五日より改正されるが急行列車が一回多く運轉され大連行長春行共に時間が便利となつた其の時間表は次の通りである

上り

列車番號	發車時間	行先
三六	前七時二十二分	大石橋
一六	同九時三十分	大連
二四	同十一時四十二分	營口
一四	急後零時五十五分	大連
一二	急同三時〇五分	大連
二二	同七時五十五分	營口
一八	同十時四十分	大連

下り

列車番號	發車時間	行先
一三	急前四時三十分	長春
一七	同六時〇二分	同
二一	同九時二十分	同
一一	急後二時五十五分	同
二三	同四時二十二分	同
一五	同六時二十分	同
三五	同九時四十五分	遼陽

將校の視察團

金澤聯隊將校視察團一行十六名は十三日午後三時二分着急行で來鞍製鐵所を視察し午後七時二十四分發で湯崗子に向ひ一泊すると

釣魚池で 競釣會

鞍山柳町西部の池は本年度より種々と手を盡し一般市民の釣魚池になすべく計畫中であるが相谷朝三郎氏の主催にて十九日午前七時より午後六時まで太公望連を集め第一回の競釣會を開催すると會費は金一圓にて中食の用意あり尚一等より十等まで賞品を授與すると、希望太公望は相谷朝三郎氏及び奉天日々新聞支局野村數幸氏まで申込まれたしと

遼陽

赤十字救療所 改築工事入札

遼陽城内元郵便局跡を改修して赤十字社の救療所に充つる計畫は屢報の通りであるが改築設計も出來上り今後の經營維持に付いても篤志家の甚大なる努力に依り成案を得たので十六日午前十時から改築請負入札希望者に說明の上午後入札に附すると

六人組の馬賊

遼陽西門外煉瓦工場陳某方に十三日午前二時頃六人組の馬賊闖入、内四名は拳銃を家人に差付け金品の提供を迫り、現大洋千六百圓、奉票三千五百元を强奪した

領事館コート開き

遼陽領事館のテニスコートは愈修理成り、十八日（土曜日雨天順延）午後から各方面の有志招待の上紅白試合を催すべく準備中

人事

▲松井師團長 十三日坪鄕參謀長外副官を隨へ南方駐劄部隊巡視の爲め出發
▲黑田大藏次官一行 十二日遼陽驛發十三日奉天へ

營口

今樣安達ケ原 投宿客をつき刺して 客引、所持金を强奪

營口驛前支那宿裴聯永に去る十一日山東人蔡芹（三七）商用の爲來營投宿したが、同店の客引等は同人が相當の所持金あるを知り惡心を起し十二日午前一時頃蔡の熟睡中を襲ひナイフを以て咽喉部を突き刺し格鬪中同店の主人が物音に驚き直に驛前派出所に訴へ出でたので加害者は之を察知し有金を奪ひ逸早く逃走した、警察では非常線を張り被疑者十數名を取押へ目下取調中である、被害金は現大洋百二十五元と大洋票二百餘元であると

小學校記念日

十四日は營口小學校の創立第二十三周年の記念日に當るので同校にては午後一時から同講堂に於て神山校長の記念に關する訓話ある筈

開原

好晴に惠れた 兒童デー 盛況裡に終る

開原兒童デーは十二日擧行の豫定であつたが早朝降雨ありし爲め延期となり十三日好晴天に惠まれて午後一時より開原小學校運動場に於て豫定の通り擧行され川崎地方事務所長並に永野小學校長の兒童

滿洲日報

大正大學教授文學士 神林隆淨先生著 東京小石川區… 丙午出版社

密教學

著者は斯界新進の學者にして密教の研究をその生命とす今や新たなる研究法に依つて最も困難なる密教の教相と事相とに體系を與へここに一科の學としての密教を世に問はむとせる最も勇氣ある新著也

權田雷斧僧正著 密教綱要 定價金貳圓 送料十錢
權田雷斧僧正著 密教奥義 定價金四圓 送料十二錢
權田雷斧僧正著 秘密帳中記 定價金貳圓 送料十二錢
權田雷斧僧正著 密教發達志 定價金參圓 送料十二錢
權田雷斧僧正著 兩部曼荼羅通解 定價金貳圓 送料十二錢
權田雷斧僧正著 密教法具便覧 定價金參圓 送料十二錢
大村西崖先生 權田雷斧僧正 共著 佛像新集 定價金十五圓 送料十八錢
小野玄妙先生著 佛像の研究 定價金十四圓 送料十二錢

東京帝國大學助教授文學博士長井眞琴先生著

巴、漢、和 對譯 戒律の根本

定價一圓五十錢 送料十錢

本書は本邦巴利語の權威者長井博士の勞作にして比丘戒律の中核たる巴利本のPATIMOKKHAMを羅字譯したる原文とその和譯とこれに相當する漢譯文（五分戒本）とを並べ擧げたるものなり巴利佛教研究の讀本ともなり同時に又佛教の根本戒律の何ものたるかを知ることを得る一部三冊の名著也

高楠順次郎博士著 巴利語講本並字書 送料十八錢 參圓四拾錢

林原雲來博士著 實習梵語學 二圓 送料十二錢

御客樣本位
十ヶ月月賦

エレクトラ装置 ジユラツシア蓄音器

（絶對肉聲）第一回金御拂込と同時に現品先渡致します

過鎭申込所

大連浪速町角 榮商會 電話八三九〇番

清涼飲料 登録商標

三ツ矢サイダー
ユムケーシトロン

大阪 柴田藥工業株式會社製
滿洲總發賣元 大連 鈴廣商店 電話四八五八

滿日社廣告用電話 四四九一番 六三四八番

新進傑作小說全集

若葉親しむ心に君よ・愛で給へ此の新鮮な文學を!!

熱狂的大觀迎裡に愈

本日〆切

第一回配本 第五卷 片岡鐵兵集
生ける人形。女の瀧姿。口笛吹いて。新聞記者時代。色情文化。大島學議君。藝術の貧困。死に切れず。綾里村快擧。コント七篇。

全十五卷 申込金不用 一冊五十錢
申込は何の手數もいりません五十錢を拂込になれば右から左り第一回配本がお手に入ります同時に豫約權が確保されます。

卽刻 書店又は本社へ

東京麴町 平凡社 振替東京二九六三九

資本金 壹億圓（全額拂込濟）
積立金 壹億五百五十萬圓
本店 横濱市
支店出張所
大連市大山通二番地

橫濱正金銀行 大連支店

FLIT フリツト

蠅・南京蟲・蚊・其他害蟲一切 驅除液

本品は在來の驅除劑に比し絶大の効力あることは既に定評あり是非一度御使用を乞ふ

滿洲總代理店 合資會社 矢野元商店
大連市紀伊町五五 電話 八三五八番 一三二七番

特約店募集

腸にビオフェルミン

ビオフェルミンを服用せば、よく腸内を清淨にし、異常醱酵及び腐敗を防ぐほか澱粉・蛋白質を消化しますから、凡ての腸疾患例へば……

腸カタル、消化不良
常習便秘、乳兒綠便
鼓腸、小兒腸疾患等

の治療及び豫防に用ひて、卓効を收めます。

（錠劑と粉末、知名藥店にあり）

發賣元 武田長兵衞商店
製造元 神戸衞生實驗所

馮との妥協を斷念して
蔣軍河南省境に迫る
閻は張と相結んで馮に備ふ
全支再び大動亂か

【上海特電十三日發】蔣介石氏の積極的挑戰態度に對し消極的妥協態度に出てゐた馮玉祥氏は廣西軍の廣東攻撃が始まると共に俄に態度硬化し、蔣馮間の關係はまことに端倪すべからざるものがあつたが、最近こいたり蔣、馮間の關係

險惡になり兩者の對抗狀勢は漸次明白となると共に兩者間の戰機切迫を思はせる、即ちさきに挑戰的より妥協的に變つた蔣は馮が廣西派の再起と共に蔣軍攻撃の計畫あることを探知したので馮との妥協も斷念し馮軍の進出に先んじて何應欽を漢口に派し湖北にある軍隊を統率して平漢線方面の戰備をなさしめ、蔣鼎文、顧祝同の軍隊は既に河南境の武勝關に進出し河南進入の準備を整へてゐる、蔣介石に先手を打たれた馮軍は河南省境各方面において鐵橋破壞、塹壕築造等により蔣軍の進入を

阻止する一方、有力なる軍隊を山西省境地方に集中して山西進入を計畫してゐる、閻錫山氏は馮氏が豫てより山西進入の野心を抱けることを知り張學良氏と提携して馮軍に備へつゝあり、何れかの方面に一旦破綻を來さんか兩廣の戰局と共に支那南北を再び動亂の渦中にまき込まんとする危機を孕んでゐる

再び危機に直面せる廣東
共産黨と陳公博一派　暴動と政權奪取陰謀

【上海特電十三日發】廣西軍の侵入により危機に瀕してゐる廣東では更に共産黨および陳公博一派の國民黨の暴動或は政權奪取計畫あり、一昨年の廣東の暴動の二の舞を演じはしないかと憂慮されてゐる殊に共産黨側では

米國人共産黨員にして汎太平洋勞働會議秘書として上海にあり支那共産黨運動を指導しつゝあつたクローデルが廣西軍が對廣東軍事行動を開始すると共に逸早くも香港方面へ赴いたのは廣東地方におけるソウエート運動指導の爲であると、しかして共産黨は今度の暴動計畫には軍隊に手を入れ軍隊力をもつてせんとするものである事が判明し、また陳公博一派は廣西派廣東軍兩軍の戰爭に乘ずるものがある

廣東を拋棄して
討馮に全力を集中す
蔣軍は既に河南に進撃

【上海特電十三日發】蔣介石氏は馮玉祥氏の反抗的態度明白となつたので全力をあげて馮討伐を決意し既に河南に向け積極的に進行を開始した、廣西軍の廣東攻撃のため廣東軍應援部隊輸送を開始して

不利なるを察してしばらく廣東か廣西派の手に歸するも止むを得ずとなし廣東拋棄に決し既に一部輸送を開始してゐた應援軍を中止した、これがため漢口に集中されてゐた李明瑞の部隊は既に約三千廣東に輸送されたが殘る半數の部隊は再び河南省境に向け出動した、現在蔣軍の主力は平漢線方面に集中され先鋒を承る劉峙（第一師）軍は既に武勝關を越えて河南に入り蔣軍の精鋭は

平漢線を北上しつゝ軍を率ゐて平漢線を南下せんとしてゐる、又北方からは唐生智氏が大軍を率ゐて今や河南を中心に蔣馮間の一大開戰免れ難き形勢である

討蔣聯盟組織成る

【上海特電十三日發】支那各地に散在する蔣介石反對の諸勢力は護黨討賊同盟を組織したと傳へられる、その首腦者には廣西派を代表して李宗仁、護國民黨員唐紹儀、廣東左派東公博、これに馮玉祥及び四川の楊森を加へて五人より成り各地より蜂起して蔣介石及び蔣派の勢力を一擧に殲滅せんとするにあり昔の呉張聯盟に髣髴たるものがある

廣西派を操縱してゐる

唐紹儀氏との間に或程度の了解ありとも傳へられてゐるが廣東の資産階級は陳公博一派の廣東入りを極度に忌避してゐる

じて廣東における政權を自派の手に收めんと從來犬猿もたゞならなかつた廣西派との間に陰謀取引を行ひつゝありて

山西に

在る閻錫山派にも親蔣、親馮の二派に分れ張學良も表面中央服從を唱へてゐるが平津方面進出を企圖してゐる事實あり、複雜なる暗闘あり蔣馮二派に分れ多少勢力の衝突より蔣馮兩者の衝突の機會が生ずるに非ずやと觀測されてゐる、之に對し閻張間の秘密交渉も傳へられてゐるので一度兩廣戰爭が擴大して馮蔣二派の正面衝突ともなれば、支那各方面の軍閥勢力は俄然其の態度を變じ支那は再び收拾すべからざる混亂に陷るやも知れずと觀測されてゐる

汪精衛氏が新政府主席
廣西派と馮の一派は蔣軍と廣東軍を挾撃

【東京十三日發電】其の筋への情報を綜合するに三水迄南下した廣西軍は最近北方に退却してゐるが之は却て蒼梧道方面より廣東軍の背後を襲ひ一擧に廣東を攻略せんとするものゝ如く、何れにしても廣東は最早廣西軍の手中にあると見られてゐる、十二日の香港南中報によれば

廣西派は馮玉祥、楊森、唐生智と連繫し李宗仁を加へて各東、北、西、南路總指揮に任じ蔣介石軍及び廣東軍を挾撃することゝなり、徐景唐、黄紹雄、周西成を各南路第一、二、三路軍となした、尚馮氏の代表者は香港に來り汪精衛を新政府主席、鄧澤如を廣東政府主席となす計畫であると傳へられ、一般支那人は之を信じ人心動搖してゐる、尚平津方面に於ける勢力間にも蔣馮關係を廻つて

公太堡暴動事件で
張氏に嚴重抗議す
きのふ林總領事から

【奉天特電十四日發】公太堡に於ける支那側農民及び官憲の暴動事件に關しては應援に向つた伊藤警部一行より出先支那官憲に嚴重なる交渉を爲し今後は支那官憲に於て責任をもつて取締ることゝなり暴民並に支那官憲等のわが警官並に勸業公司員に對する暴行に對しては林總領事より本日交渉署員を通じて張學良氏に嚴重なる抗議を爲した

不戰案批准遲れ
内閣改造亦遷延
宣言書の文案決定せず

【東京十四日發電】不戰條約樞府御諮詢奏請問題は十四日の閣議の話題に上つたが未だ批准書中に插入する宣言書の作成が出來てゐない爲め何等決定を見なかつた、此の分では關西行幸に先達御諮詢を奏請することも困難と見られ斯くて内閣改造亦遷延の已むなきに至り結局六月一日迄には拓殖省大臣の任命は困難となつた

民政黨の新政策
具體案成る

【東京十四日發電】民政黨は十二日午後二時半本部に政務調査會の組織機能改善に關する特別委員會を開き、特別委員會には政務調査會長、總務、幹事長も出席して意見を述ぶることに決した上小川委員長より左記政策具體案に關する原案を報告し協議可決し次の政務調査總會に報告するに決し五時散會した、黨としては左の九大項目を主要政策として各目特別委員會を設けて具體化した上民政黨内閣の際實行することゝし又對支問題に於ては非常に力瘤を入れ此の際對支外交特別委員會を設けて調査し黨の意見を定むることゝなつた

政策具體化に關する特別委員會案

一、金解禁
二、公債政策
三、政費節約
四、義務教育費
五、税制整理
六、社會政策
七、農村政策
八、金融制度改善
九、電力政策

露領漁區問題の手打式

【東京十三日發電】露領漁區問題妥協成立につき杉山茂丸氏より其の經過報告を受けた山本農相は、今後の對露交渉の根本方針を決する爲め午後零時半より農相官邸に東、阿部兩次官、砂田參與官其の他が參集協議を重ねた、尚日魯島の二派は協定成立につき十三日午後六時より手打ち式を行つた

米國記者團招待會
歌舞伎座も見物

【東京特電十三日發】日本經濟聯盟會、日本工業倶樂部兩團體は聯合主催で目下來朝の米國記者團十二名を十三日午後四時半工業倶樂部に招待し、團琢磨男の歡迎挨拶があつた、これに對し記者團はセントルイズポストデスパッチ社編輯長ジョウンスを代表として兩團體の歡迎に感謝の辭を述べ同六時散會、ついで一行は東京商工會議所の招待で午後六時から歌舞伎座で「平假名盛衰記」を見物し七時四十分から同座内精養軒で會議所主催晩餐會を開いた

市營市場の改善を圖る
近く調査委員を作り具體案を研究せん

市民の生活に最も密接なる關係を持つ、市の公設市場並に衞生事務の改善完備を期して大連市が之に主力を注いでゐることは既報の通りであるが、傳へらるゝ所によれば別項十三日の大連市衞生事務協議會の席上に於て石本大連市長は各協議事項の内

第三項の「市場不衞生箇所の改善」を最も重要視するものであると聲明した上更に大連市理事者は市民の生活上經濟的にも衞生施設の立場からも公設市場の改善完備を急務として、近く適當な候補地を選定して假市場を建設し、現在の不完全なる信濃町市場を改築した上組織内容を刷新する意嚮があり所要の費用は市民將來の利益のため市債を募つてもその完成を期したく、調査及具體案の作成を俟つて市會の協贊を求むる考へである

市では近く市會議員、關係各當局者中よりエキスパートを選んで調査委員を作り、市場改善に關する具體案を研究することゝなつたと

朝陽鎭吉林城間
十五日から開通
一日一回混合列車運轉

【吉林特電十四日發】吉海鐵道の朝陽鎭、吉林城間はいよく開通し十五日から一般營業を開始するが兩地より一日一回混合列車を運轉することゝなつたが貨客相當に多き見込である

一日一線（9）
滿蒙鐵道驛傳競爭を前にして
頗る有望視さる北滿の呼海鐵道
奥地は宛らの穀倉

呼海鐵道は、哈爾賓傳家甸の對岸松浦より海倫に至る二二四、六哩、馬船船枝線四哩餘の鐵道で、ゲージは標準軌道である。

最初馬船、綏化間の工事に着手したのは一九二六年の春で、この竣工は翌二十七年の春。更に綏化、海倫間は二十八年の春工事に着手し、一九二八年十二月全通を見たものである。

この沿線は、沃野であるが、河川多く、橋梁の數だけでも三十九、内九橋梁は大きなもの、その中で、秦家崗附近の呼蘭河橋梁（全長三三五、五米突）は殊に大きく、而もこれ等は悉く木橋である。

○―○

この鐵道は、一九〇九年以來四度黒龍江省議會に於て敷設問題起り、その間及びその後幾多の經緯があつたが遂に一九二五年黒龍江省官民によつてこの計畫は具體化した。

鐵道資金の内容は、黒龍江省政府と廣信公司の五百萬元、及び民間よりの五百萬元、計一千萬元（哈爾賓大洋）である

本來この鐵道は濱黒線（哈爾賓黒河間）とその他を合せた六四五哩）の一部であり、この鐵道敷設に關しては、一九一六年三月二十七日支那政府と、露亞銀行との間に「濱黒鐵道借款契約」の調印成り、露亞銀行は支那側に前渡金さへも出してゐる、その後、更に一九一九年六月十四日、露亞銀行、［illegible］金銀行との間に、濱黒シンジケート契約」と云つたものが成立して、その權利を享有負擔することゝした。

然るにそれ以後幾多の曲折を經て、遂に吉林省當局は、他國に頼らず自國の資本に依り「呼海鐵道」と銘を打つて敷設したものである。

東支側からこれを見れば、曾て露亞銀行との借款であり、又東支鐵道の援助の下に東支同樣五呎の軌幅として敷設することに、呉俊陞とイワノフ東支管理局長との間に諒解が成立し、後奉天側の反對で獨力敷設となつた鐵道なので、東支にとつては宛ら滿海に於ける滿鐵（滿鐵本線）の關係に類似したものである。

○―○

この鐵道の背後地は名だゝる北滿の穀倉であり、今後頗る有望視されてゐる鐵道である。

現在鐵道哩數も短く、貨車亦尠く未だ馬車、河川によつて運送される數量も存外多い。

然しいづれこの線が齊爾根あたり迄延びるか又は克山鎭方面へ連結した曉は、すばらしい線となることであらう。

一九二八年四月から一九二九年三月迄の一ケ年間にこの鐵道によつて運ばれた貨客數を見ると

人員	九〇二、六〇四人	
其收入	一、二六四、二八三元	
貨物	五八九、四八二噸	
其收入	二、六五五、五九九元	
雜收入	八二、一一二四元	

と云つたやうな有樣で、一ケ年總收入は約四百萬元以上となつてゐる。

勿論今後條件が完備すれば（貨車の増配と運賃の低減等）増收なる所である。

尚三年度沿線貨物出廻り驛の主なる所を拾つて見ると

綏化	九九、九七〇噸
興隆鎭	八二、〇〇〇噸
呼蘭	四一、二〇〇噸

この貨物の約六割は大豆、三割は小麥、その他一割は雜穀と云つた内譯である。

○―○

呼海鐵道の概觀は大體右の通りであるが、しかし問題の重點は鐵道の奥、豐饒なるヒンターランドに在る、而してこの線の將來は頗る大きな興味が繋ぎ得らるゝのである。

この點に關しては、既に齊克線（齊々哈爾克山鎭間）の延長は既定事實で、目下土盛工事も少しづゝ進んでゐる、克山鎭迄進めば海倫は目睫の間である。

そして克山鎭、海倫の連結こそ北滿の穀倉と云はれる沃野の開拓に一劃期を來し、而して穀物の運搬と、移民の招來に一歩を進め目覺ましき「鐵道時代」を生み來すことであらう。（寫眞は呼海鐵道沿線）

教育大會で排日講演
奉天各學校を巡廻して

【奉天特電十四日發】支那側教育會、青年會、道徳普及會等の主催の下に去る十二日より民衆教育大會を開催、王教育會長、袁青年會長、宋東北大學教授等は各學校に於て巡廻講演をなし東北と日本鐵道問題その他に關する排日講演を爲したるも官憲の嚴重なる警戒により會場以外に於ける民衆團體の遊行運動はなかつた

奉天城内に共産黨標語
公安局で發見

【奉天特電十四日發】十二日當地工業區一馬路一帶に、共産黨宣傳の標語を何者か貼附しあるを支那側公安局にて發見し直に之を剝ぎ取り目下共産分子の取締を嚴重にしてゐる

唐生智氏に愛馬を贈る
學良氏提携につとむ

【奉天特信】張學良氏は頃日刑士廉氏を唐生智氏の許に派し今後の連絡提携に就き充分なる妥協を爲す事を約したる上敬意を表すると云ふので愛馬二頭を贈呈したと云ふ

河本高級參謀九師團に轉勤
後任は板垣卅三聯隊長

過般來某事件に關聯して兎角の説のあつた關東軍司令部高級參謀陸軍大佐河本大作氏は今回第九師團司令部附に轉勤を命ぜられ後任として第三十三聯隊長陸軍大佐板垣徳四郎氏が就任することゝなつた

木下長官の視察日程
二十日に歸廳

熊岳城其他視察の途に上る木下長官の日程は左の如くにして春日秘書官、富田理事官外三名が同行し小川殖産課長は熊岳城から一行に加はる筈である

十七日撫順、十八日本溪湖、十九日安東、二十日歸廳

本年度の米穀需給
十月末殘存米五百七十萬石

【東京十三日發電】五月一日現在内地在米高は既報の如くであるが最近五ケ年間及本年上半期の實情より推定するに十月迄の米穀需給狀況左の如くである（單位千石）

△供給

五月一日現在高　三［illegible］
五月以降十月迄の鮮米

高	二、〇〇〇
同臺灣米	一、一〇〇
同外米輸入高	六〇〇
供給合計	三六、九二六

△需要

五月以降十月末迄の内地消費豫想額	三一、〇〇〇
同期間移輸出豫想額	二〇〇
需要合計	三一、二〇〇
差引殘高	五、七二六

即ち總持越高五百萬石を控除すれば七十二萬六千石の供給過剩となる、尚昨年同期持越米七百八十三萬石に比し今年は二百十一萬石減少の見込である

芝罘入港の華船徴發
片つぱしから劉珍年軍に

十四日芝罘より入港した海壽丸がもたらした報道によると、支那船は劉珍年軍の徴發を恐れて芝罘に一隻も入港せず既に政記公司の永利號は劉軍に徴發され張軍敗殘兵約千名を搭載、塘沽に向つて昨日朝出帆したと、なほ利通公司所有の芝罘、仁川、大連間の定期船利通號は十三日芝罘に向つて出帆のところ徴發される恐れありとの報に接し出帆を差し控へ十四日朝漸く出帆した

荷主側は泣寢入か
松花江の航業紛爭問題

【哈爾賓發】航業公會對荷主運輸業者の紛爭のため奉天へ招致せられた航業公會々長王理堂氏は奉天から實情調査のため特派された審查委員とゝもに十日歸哈したが十二日正午航業公會において航運業者、荷主及び運送業者等の聯席會議を開き奉天にての經過につき報告する處があつた、而して一方特派された調査員は各方面に亘つて實地調査の上妥協方法を講ずべく目下双方の意見を聽受中であるが仄聞する處によると奉天當局では航業公會の計畫を遂行せしめる肚であるらしく結局荷主側は泣き寢入りの外はないと見られてゐる

朝鮮博評議員
三百六十八名

【京城特電十四日發】朝鮮博覽會評議員の顔觸れは總督府各局部長、各道知事、參與官、道事務官、各判檢事、各税關長、帝大教授、專門學校長、技術官廳の技師、中樞院參議、外囑託として李王職次官、科學館長、軍參謀長、憲兵隊司令官、並に陸海軍大佐二名、民間側では鮮銀總裁外全鮮に亘る各銀行會社幹部、各道公職者、各新聞社長、通信代表者等總員三百六十八名に及ぶ多數である

朝鮮博覽會農林省出品
決定通知す

【東京特電十四日發】今秋京城で開催される朝鮮博覽會に對し農林省山林局から左の通り出品することに決定し朝鮮當局に通知を發した

一、本邦に於ける林野所有別分布圖
一、内地に於ける保安林種類別並に所有別面積一覽圖
一、最近我國に於ける主要林産輸［illegible］概況圖
一、民有林植伐事業の趨勢
一、國有林野造林事業開始以來隔年施業面積比較
一、國有林野に於ける歳入歳出累年比較
一、國有運搬設備現況
一、國有林特殊の運搬設備模型
一、國有林砂防事業施行とその施行後に於ける林相寫眞並に國有林寫眞
一、輸出入關係林産物各種標本

朝鮮貯蓄創立
近く株式公募

豫て計畫中であつた朝鮮貯蓄銀行はいよく設立の運びとなり來る十六七日頃には發起人會を開き直に株式公募の豫定であるが總株數十萬株千五萬株は殖銀引受け三萬株は發起人引受殘り二萬株は一般公募となる見込である

戰蹟弔慰團一行招待午餐會

滿洲在鄕軍人後援會では卅日正午將校集會所で一戸大將の來旅を機として大將を主賓に戰蹟弔慰團代表一行を招待し午餐會を催すと

支那語兼掌試驗

中島譯官は十一日から出廳したが支那語兼掌試驗は本月廿日から長春を最初に公主嶺、四平街、開原、鐵嶺、奉天廿九日、撫順、本溪湖、安東六月一日、遼陽、鞍山、大石橋、營口、瓦房店、普蘭店、貔子窩、金州、大連、小崗子、水上、沙河口、旅順、警察練習所の順位である、大連は十日頃となつてゐる

西山課長歸期

朝鮮に出張中の西山警務課長は二十日頃歸廳の豫定である、尚警察會議は無期延期となつたが多分藤岡警務局長と西山課長の歸任を俟つて開催されるであらう

人事

▲千秋寛氏（鞍山製鐵所長）十三日夜行にて來連ヤマトホテルへ

木下長官が美味求眞の後篇を脱稿したといふ本欄の記事を見て長官の曰く▲「實は旅順へ來てから書いたのではなく既に浪人中、前篇を書いた後引續き一氣呵成にものしたのであるがマダ之れから朱を入れなければならぬ、之れが容易な仕事ではない」▲と堆い原稿を見せながら「誰かに淨書を頼めば宜いのだが斯ういふものは成るべく自分で一切やりたいと思ふ、さうなるとマヅ浪人でもしなければ完成出來ぬことになる」▲「しかし爛［illegible］てられるのは［illegible］が非常な料理通のやうに評［illegible］方々から講演を［illegible］まれるのは困るよ、東京なら一席數十圓の講演料は呉れるがいくら貧乏［illegible］僕でも關東長官が内職をしたと云つてはネ……」

商品　後場（出來不申）

◇定期後場（銀建）

特産

▲大豆（強調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	六三〇	六三七〇	六三三〇	六三七〇
六月末	六三四〇	六三五〇	六三三〇	六三五〇
七月末	六三一〇	六三三〇	六三一〇	六三三〇
八月末	六三〇〇	六三一〇	六三〇〇	六三一〇
出來高	三十二車			

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（强合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二一四五	二一四五	二一四五	二一四五
七月限	二〇九〇	二〇九〇	二〇九〇	二〇九〇
八月限	二〇八五	二〇八五	二〇八〇	二〇八〇
出來高	一萬二千枚			

▲豆油（保合）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
七月限	一三一五	一三一五	一三一五	一三一五
出來高	二千箱			

▲高粱（保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	三六〇〇	三六〇〇	三六〇〇	三六〇〇
七月末	三六三〇	三六三〇	三六三〇	三六三〇
八月末	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇
九月末	三六七〇	三六七〇	三六七〇	三六七〇
出來高	十五車			

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）	六三五〇	六三八〇
大豆（裸物）		
出來高	二十車	
三等大豆	出來不申	
豆粕	二一四五	二一四五
七日物		
出來高	二萬枚	
豆油	一五九〇	一五九〇
出來高	五百箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
期近	九六五五	九六五五	九六四〇	九六五〇

出來高　期近九十八萬五千圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	金對洋
一時半	九六五〇	一三七五〇
二時半	九六五〇	一三七五〇
三時半	九六五〇	一三七五〇

出來高　銀對金三萬圓　銀對洋三千圓

五品市場に於ける 綿糸定期取引上場
近く關東廳に對して認可申請 一般も好果を期待

商品市場に於ける綿糸定期取引上場問題は其後着々具體化するに至り、商品取引人組合と取引所當事者間に於て之れが具體案を作成しつゝあつたが大體成案を得たので十三日午後三時半より取引所樓上會議室に於て第二回組合協議員會を開き組合の綿糸布當業者と取引所並に商品信託會社當事者出席協議の結果、大體原案通りの方法により

實行の準備を進めることゝなり、近く組合委員會に附議し愈決定の上は目下關東廳に對して申請中の取引所營業細則變更の認可あり次第直に上場實施の豫定であると云ふ、上場物件は先づ福助標左撚二十手として大阪三品市場と當地市場に於けるかけ繋ぎの便を計らんとする計畫であつて愈之れが實現の曉には州内の紡績工場はもとより一般當業者にも多大の便宜あるべく、殊に大阪市場と當市の關係を密接ならしめるに至るものと觀られて居る、元來州内の紡績工場は周水子の滿洲紡と

金州の內外綿の兩工場併せて七萬二千八百錘の生產力を有し、若し兩者が全能力を發揮するときは一ケ月間に綿糸約二千八百梱を生產し得るも、州內に於て之れを消化し得ずして奧地沿線又は山東方面等に輸出し來れるも、兎角滯貨多きため荷捌きに苦まざるを得ない狀態であつたが曩頃來特惠關税の適用を受けることとなり內地輸入税を免除されるとになつた結果、將來日本內地に活路を拓き得られるやうになつたから大阪三品市場とのかけ繋ぎは今後旺となるべく、隨つて綿糸の定期取引上場は一般に多大の期待を以て迎へられて居る

金融組合は 二期に分け創立
調査の終つた八ケ所を先に 源田事務官語る

金融組合の施設實行時期に就て源田事務官は左の如く語る

金融組合の施設に付て中央當局に於ても

非常な理解と同情とを持ち之が施設に要する資金百萬圓の豫算の計上を認め幸に議會の協贊をも得るに至つた、阪谷財務課長は其の實行施設に先立ちて一應沿線各線各地の實狀を視察するため各地出張の途中會々黒田大藏次官一行來滿の爲め急遽歸廳し今又一行に隨行しその爲め殘餘の地に對する視察の時期の遲れたが既に視察を了へたる瓦房店、大石橋、營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、開原、四平街の各地は現在土着銀行又は無盡會社の如き

機關なく、或は有つても睡眠狀態であつて、何れも小口金融に困つてゐる地方である

から、金融組合の設立の一日も速かならんことを熱望し、且つ組合の設立準備に付ても種々の段取が進んでゐる、尚殘餘の各地視察後まで待たせると餘り遲くなるから實行施設の時期を二段に分ちて前記八ケ所に付ては其の內當廳準備の出來次第細かい設立手續その他に付打合をなすため當廳に各地代表者參集を求め協議する豫定である、又殘餘の各地に付ては更に改めて實

滿鐵川崎埠頭 設計書出來上る
横濱の税關へ出願

【横濱特電十四日發】滿鐵では神奈川縣川崎市三菱埠頭の隣地六萬坪を買收し滿洲方面よりの石炭、豆粕等の大量積出を直接同方面に陸揚し得るやう埠頭設備の設計作製中のところ愈完了し十二日横濱税關に出願したがその設計によれば東岸南岸を約二千坪に亘り埋立て深水二十八尺とし更に東岸は大棧橋を設け一萬噸級の大型貨物船三艘を繋留し得ると

預金は増えて 貸出は減る
依然放資難に惱む 四月中の組合銀行帳尻

大連組合銀行の四月中における金勘定預金高は一億八百二十四萬一千圓、貸出高は九千九百九十八萬六千圓にて、更に銀勘定は預金千八百四十九萬圓、貸出千七十九萬四千圓である、これを前月に比すれば左の如し(單位千圓)

	預金	貸出
金勘定	二、九九七増	六〇減
銀勘定	二、一〇六増	二、四四三減

即ち資金の移動情態は回收期に入り金銀共に前月と同樣資金増加の貸出減を示してをり、ことに預金の増加率回收率に對比して著しい遞増振りを示し一般事業界の不況に伴ふ

放資難を喞つてゐる、さらに前年同期に比すれば金勘定は預金三百四十八萬六千圓增、貸出二千七百七十三萬六千圓の激減、銀勘定では預金七百七萬二千圓減、貸出九十四萬九千圓の增加を示してゐる、各行別に見れば左の如くである

金勘定(單位千圓)

	預金	貸出
鮮銀	三〇、一七三	三三、一五〇
正金	一四、三一七	八、一一四
正隆	四三、六六八	四三、二三三
滿銀	一七、三七一	二二、一二〇
商業	一、一〇一	二、五九一
中國	三三四	八五
滙豐	四四〇	九六
花旗	三三〇	八五
交通	九三	七
金城	一〇九	七九
麥加利	三六六	二八
合計	一〇八、二四一	九九、九八六

銀勘定(單位千圓)

	預金	貸出
鮮銀	一、一三八	二七
正金	八、八九五	四、四四四
正隆	七六	八七
滿銀	一、一四〇	三二一
中國	二、六六八	八七三
滙豐	六〇四	一、一三〇
花旗	九四	一、二六四
交通	八九	五四三
金城	二、六三〇	八三五
麥加利	一〇	一
合計	一八、四九〇	一〇、七九四

……上考慮する見込である

福井縣の見本市
今明日商議で

福井縣織物見本市は十四日から大連商工會議所內で開催したが、今回の開市の目的は華商筋に販路を擴めるを主眼とし、支那人の趣味に適した人絹織物、人絹交織物、綿織物、富士絹、羽二重類、縮緬類、手巾等三百數十種の新規織物が展示され、早朝から日支商人の參觀で賑つた、なほ同見本市は十五日限りで閉市し、廿、廿一日の兩日奉天に於て、二十七日ハルビンに開市する豫定である

團體めぐり（七）
對支經濟問題と第一線の勇者
……奉天商議の巻（三）

◇奉票問題が落着して先づ一服せんとした昭和二年一月、現に三年後の今日まで問題となつてゐる不當課税が奉天城內で行はれだしたが先づ建議も請願も、荷物を入れてからと、書記長の野添君が、當時の副領事河野君と爭つて、遂に三十幾臺の馬車を小西邊門から入れ貨物の強制搬入をやらしたことも、今では有名な話柄となつてゐる。奉天の支那官憲が、奉天城內を開放地でないと稱し、銷場税をとることは、明かに條約違反であつて、正面から行けば斷じてこれに應ずることは出來ない。この頃會議所が連日會議を開き、總領事館に日參し、外務大臣に關東長官に、建議書を出すことは、會議所本來の機能から云へば當然であるといへばそれまでだが、これ等の問題は電光石火的に極めて敏活に處理せなければならない。次ぎから次に起る幾多の問題に對し、先づ今日まで會議所の敏活をかいだことのない點は、一般に認められてゐる。

◇奉天商工會議所は、奉天といふ土地柄に即した活動をしなければ存立の意義と使命とがはたされぬ。今日では奉天の外に六會議所が設立されてあり、滿洲輸入組合をつくるとか、金融組合を拵へるとか、近くは黒田大藏次官に陳情した滿洲の金融制度政策改善問題などは、奉天の一會議所が全機能を發揮しなければならぬ事柄でない。現に滿洲の輸入組合、金融組合が生れたのは、各會議所が一丸となつて努力した賚であり、結晶物に外ならぬ。奉天會議所が現に色々な問題を處理して行く上に、又その事柄が殆ど大部分對支那關係のものであるため、日常他地の會議所では出來ないこと、また眞似をせんとしても、絶對に出來ない調査事務をやつてゐるなどは、確かに特筆大書が出來やう。

◇南北妥協して青白旗の揭揚を見た奉天は、既に政治的に經濟的に幾多の變り方を見せてゐるが、今後は更にまた一層の變り方を見せるであらう。張作霖の御曹子學良君が、今に健康を恢復して、頻りに欵を某國に通ずるとき、果してどんな變り方を見せるかは、目下既に問題視されてゐる。經濟問題といつても、滿洲殊に奉天に起る問題は、政治を離れたものがない現在の狀態から見て、將來もまた政治を離れた經濟問題はないと思へる。奉天商工會議所の重要性は、更に今後その機能の發揮と共に現れるであらう。

◇會議所二百五十名の會員が一年會費約三萬圓を負擔し、これに滿鐵會社と關東廳とが一年約二萬圓の補助金を出して、この機關が存立し、活動をしてゐることは、その會員の數に於て、また經費の點に於て、極めて少數少額であるが、今後の機能發揮の如何によつては、奉天は愚か滿洲、延ては國家全局に貢獻するところ多大である。終りに昨年奉天會議所が、御大典の記念事業としてやつた旅商團の組織は、既に近く第二回を昨年と同樣奉海沿線でやつたが、これなどは日本品を未開の地に持つて行き、陳列所の役目をはたしてゐる事業であつて、極めて有意義なことである（寫眞は奉天商工會議所）

黃塵

◇…取引所の民營合同氣運愈濃厚となる、多年の懸案解決せば財界の暗雲も又一掃されん。

◇…不統一な制度のもとに各市場分立するよりも之れを單一に合同するの有利なるは敢て毛利元就の古諺を引かずとも明白な事實だ。

◇…大連財界をして更新せしむるは、これを置いて他なし、官民共に之が實現に努力すべきである。

◇…唯此際三社の間に介在して蠢動する事件師或は會社ゴロの某々等バチルス共は斷然排除することが肝腎。

大連の卸賣物價
四月は三厘方下落

大連商工會議所調査＝四月中における市內卸賣物價は調査品目七十種中前月に比し騰貴九種、下落十六種、保合四十五種にて總平均に於て三厘強の下落、これを前年同月に對比すれば一分三厘の騰貴を告げた、卽ち前月に比し品目別に騰落を示せば左の如し

●騰貴 小豆、玉葱、精製糖、綿糸、蒲團綿、羅紗、亞鉛引平板、洋釘、塗料(光明丹)

●下落 白米(滿洲一等)大豆、高粱、粟、麥粉(紅三井、竹、緑兵船)、午蒡、馬鈴薯、清酒(地物皇花)、麥酒、鷄卵、綿布、丸鐵、大豆油、大豆粕

●保合 白米(朝鮮特等、滿洲特等)押麥、清酒(白鶴)醬油、味噌、食鹽、鰹節、茶、牛肉、豚肉、鷄肉、ハム、煉乳、色甲斐絹、銘仙、金巾裏地、晒木綿、モスリン、綿ネル、煉瓦、セメント、屋根瓦、木材、硝子、平鐵、銑鐵、疊表、塗料(地物ピース)酒精、石炭酸、石油、石炭、コークス、木炭、薪、燐寸、半紙、洋紙

類別	前月對比	前年同月對比
穀類及蔬菜類(十四品)	九八、七	一〇六、九
飲料及調味類(十品)	九九、五	九五、三
肉類(七品)	九八、七	一〇六、五
衣料品類(十五品)	一〇〇、六	一〇一、五
建築材料(十四品)	一〇〇、三	一〇〇、三
雜品	九八、八	九八、三
總平均	九九、七	一〇一、三

一日現在の在米高
三千三百萬石

【東京十三日發電】本年五月一日現在在米見積り高は農林省發表に依れば左の通りである

一、總數量 五月一日現在內地在米高は報告未着の沖繩縣の分を除き三千三百二十二萬六千二百九十九石にして之れを前年同期の三千三百五十七萬四千六百八十三石に比すれば三十四萬八千三百八十四石卽ち約一分四毛の減少を示せり

二、內外產米別及所有者別（單位千石）

▲內地米 民間特生產者持	二五、九三五
米商人持	三、三五三
小計	二九、二八九
政府持	二、七一七
合計	三二、〇〇六
▲朝鮮米 民間持	八七一
▲臺灣米 民間持	一三八
▲外國米 民間持	二〇五
政府持	四
計	二〇九
合計民間持	三〇、五〇四
政府持	二、七二二
總計	三三、二二六

十四日限り 豆粕豆油
賣買出來高

大連特產市場に於ける豆粕、豆油五月十四日限は十三日前場を以て夫々納會を告げた

大豆は賣買總出來高二百六萬枚、受渡高六十六萬三千枚、受渡步合一割七分六厘强、受渡標準値段は二圓十四錢

これを前月十四日限と比較すると賣買總出來高に於ては二十五萬四千枚の減少を示し、受渡し高では却て二十九萬五千枚の增加を來し標準値段は九錢高を示した、受渡しにつきこれが手口を示せば（單位千枚）

▲渡方 東永茂一〇、同泰二二、同聚厚三一、和泰一六、和生祥二八、乾聚和二七、双聚福一一、双成二一、萬義長二六、源昌三[illegible]、福順厚二七、福順義一九、福聚恒二四、福和成五一、福聚昌一二、廣永茂、四一、廣沅泰二七、興茂東一、恒昇三三、益發合九、丁新昌一五、天和成四、玉昌合一一、昇沅六一、成德一二、東記三〇、西記三三、日清五、三泰四八

▲受方 杭順東五、萬合公八、裕泰一三、聚成祥一六、日陞七、瓜谷二二四、松田一一、三井二三一、三菱一四八

次に豆油は賣買總出來高二十四萬七千箱、受渡高二萬一千箱、受渡標準値段十五圓七十錢、總出來高に對する殘玉步合八分五厘强で、これを前月十四日限に比較すれば賣買總出來高では六千箱の增加を示し、受渡高では五千箱の減少を見、受渡標準値段は四十錢高を示してゐる、之が手口を示せば（單位百箱）

▲渡方 東永茂五、同泰一〇、乾聚和五、萬義長二五、福和盛二五、福聚恒五、成德盛五、東記五五、日清七〇、三泰五

▲受方 源昌一〇、福順厚三〇、福元五、文盛裕五、恒昇五〇、裕泰二〇、昇源二〇、三井五〇、三菱二〇

市況

特產 一般に平調 材料に乏し

今朝の定期は依然何等特異の材料なく一般に無味平調なる[illegible]辿つた大豆は强保合を示し等大豆は出來不申豆粕は[illegible]は焦付商狀を辿り高粱[illegible]した

◇定期前場（銀建）　◇現物前場（銀建）　錢鈔　前場（弱含）　商品　前場　◇定期取引（單位）　◇現物取引（單位）

株式 內地小屆りに 五品反撥

今朝諸株の小屆りを入れて當市も市況俄かに硬化し五品は當限七八十錢高先物四五十錢高と反撥し新豆錢鈔も四五十錢高に引締つた現物の五品は三十三錢高錢鈔も五十錢高大豆は寄十錢高引三十錢高新株共に一齊高の納會にあつた出來高定期二千四百枚現物六百三十枚

株　豆　銀　手形交換高（十四日）　市場電報　銀塊及爲替　棉花　大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戶豆粕　橫濱生糸　印度麻袋　奧地市況（十四日）　上海爲替情報　爲替相場（十四日正午）　上海標金　正金（銀勘定）　正金（金勘定）　鮮銀（金勘定）

金剛呪門 (238)

山中峰太郎作 小田富彌畫

自然兒

川の流れを見つめて、少年の虎三が、何を考へてゐたか?

それを思ふと、可憐な氣に動かされた隼、

「そして、お前のお父さんのことは、なんにもお母から聞かされなかつたか?」

と、いたわつて尋ねる言葉に、虎三は顔を激しく振つた。

「聞きたかねエんだ。そんなこと」

「なぜだ?、虎三!」

「聞くだけ、おいらは涙が出らあ!」

「ウム、だが、お父さんに逢ひたくはないのか?」

「……」

「え?、おまへは孤兒ぢやなかツたんだぞ。血を引いてゐる立派なお父さんが、こゝにゐられるんだ!、虎三!」

と、聞くと、俄に顔を輝かした虎三、見る〜眞赤になると、眼の前に坐つてる重兵衛と、まともに顔を見合した。

……初めて相見る父と子が、つながる血縁に、かよふ互ひの情愛に眼ざめながら、

「これ、おまへは!」

「……」

と、言つたまゝ重兵衛は、ハラ〜と涙をこぼした。

「……」

虎三の圓らな眼にも涙がにじんだ。

「あゝ私が、わるかつた。私は、決してお前を捨てる氣ではなかつたけれど、……今さらこれを言ひだして、父と名のれる私であるとは、思はれぬけれども、どうぞ今日からは、この家にゐて、おまへの一生涯を……」

と、きれ〜に言ふ重兵衛を、まばたきもせずに見つめる虎三、急に顔をしかめると、

「では、おいらは、この十合の子だつたのかい?」

と、大聲に叫びだした。

「さうだ、虎三!、この御主人が江戸へ行かれた時に、今日お前が逢つたお母さんと、そしてお前は江戸で生れたんだ」

と、そばから敎へる隼に、虎三、またも尋ねた。

「すると、あの數之助といふ人は、おいらの兄さんだね?、親分、さうなんかい?」

「あゝさうだとも!、かうして素性が分つてみれば、お前はこの十合のお家の御次男さまだ。何も聞いたら驚くだらう」

「……」

檜普請の周圍の建具から天井をグルリと見廻した虎三、なほシミ〜と重兵衛を見まもると、涙をためたまゝ言ひ出した。

「おいらは、十合の次男だか知らねエが、こんな邸の子になるのは嫌ひでエ!」

「なんで?、なんで、そんなことを言ふ?」

と重兵衛は、手を取らぬばかりに膝をすゝめた。

「こんな大きな邸にゐて、樂に暮してちやア、人間が腐つちまわア!」

「それはお前の了簡ちがひ、私らは決して樂には暮してゐない。朝夕共に、商賣のことで、心配しい〜生きてゐるのやもの、よその人が思ふほど、さう〜樂なものでは……」

「そんな心配なら、なほ面白くねエや」

と、虎三が啖呵を切つた時、丁稚の松吉が勝手に呼んできた數之助とお京、その後に乙藏が、あわたゞしく廊下から入つてきた。と

「やア、虎三、手前、大え出世をしやがつたぢやねエか」

眞先に聲をかけた乙藏が虎三の前に、ムズと座ると、

「松吉どんから聞いたんだ。手前……ぢやねエ、何といつたら好いんだい、やツぱり若旦那か、坊ちか、中坊ちか、小坊ちやんか、此まア邸の落し胤だツて言ふぢやねエか!、かう?、かう!、少しは己にも分け前をよこしねエよ、小坊ちやん!」

と、差し出した顔を、いきなり

「何を言ふんでエツ!」

聲と共に、ピシヤリと横面を張つた虎三、スツと立上ると、

「おいらは、隼の親分!、野育ちの虎三だよ。出世するなら獨りですらア!、こんな邸に引取られるのは眞平だ!」

叫びながら燕のごとく廊下へ飛び出したまゝ、前に自分が隠れたことある縁を、ツ、と走つて行つた。

映画と演藝

少女歌劇三の替

連日大入滿員の歌舞伎座の少女歌劇は明晩より左の通り三の替りを上演する

歌劇 モガ水兵 一幕
歌劇 神に祈る夜 一幕
新作舞踊 レヴユウ 七景
歌劇 石童丸 一幕
歌劇 銀座行進曲 一幕

◇◇豐太閤足輕篇◇◇ マキノキネマ春季特作品太閤記三部曲の其一でマキノ省三氏總指導中島寶三脚色監督作品オールスターキヤスト(次週帝國館上映)

映画案内

滿日旅順版

長官が女學校で美味求眞の講義
常識講座第一回講演

旅順高等女學校に本年度から新設された補習科生に對し常識養成の一つとして常識講座を設けることになつたが、第一回の講座に木下長官の調理法に關する講話と實習を乞ふ由で多分「美味求眞」の一頁が開講されるであらうと

青年聯盟
支部定時總會

青年聯盟旅順支部では十四日午後六時半から語學校で左記議題に就き定期總會開催の筈である
▲第一議案　支部會計並に事業計畫に關する件
イ、櫻樹を植える件（十年計畫一萬本）
ロ、戰跡順禮の件
ハ、市會の傍聽並に市内諸設備見學の件
其他五項目
第二號議案　本部に建議の件
第三號議案　會則改正の件
第四號議案　青年議會議員選擧の件

好成績の滿洲館
廣島博視察談

廣島の博覽會を視察し東上中であつた關東廳經理課大森主計は十一日歸廳したが、廣島博の滿洲館に就き次の如く語つた
地理的關係もあらうが廣島博は大體に於て成功であつた、一日平均七、八萬人の入場者あり少くとも五萬圓の收入はあつたらしいから經費に五、六十萬圓を支出しても裕に利益があつたであらう、植民地特設館のうち矢張り滿洲館は一番人を惹きつけてゐた、場所も會場のドンヂリではあつたが他の北海道、樺太の其れよりは位置もよく他の館は殆ど素通りであるのに反し、滿洲特設館は活動映畫を撮影してゐた爲めに一寸休憩すると云ふ風な足溜りとなり多數の觀覽者が詰めかけてゐた、其れに滿洲を代表する白塔は慥に他の館よりは目立つてゐたのも亦其の成功の一つであつたらしい

警官の庭球戰
旅順軍惜敗す

大連警察署對關東廳警務局との對抗庭球試合は十二日午前十一時から高等女學校コートに於て開始され四十二對三十八の點數で大連軍のために名を成さしめたが、試合後一同は大正公園で懇親宴を開催し四時散會した、次回は大連で行ふと

旅順春秋

「健全なる精神は健全なる身體に宿る」とは古い諺であるが、今も眞理として使ふに變りはない、國家の消長盛衰は國民體力の總和によつて決せられることは昔も現今も一貫した事實である、さればこそ近代人は「國民體育デー」の名によつて健全なる體育と思想を養ふために練磨の方法を機會ある每に造らんとしてゐるのである

◇

來る二十六日は旅順市民の年中行事の一つとして全市を擧げての運動會が開催される日である回を重ねること今年で三回目であるが恐らく盛大に擧行されることだと信ずるが、參加申込は十五日限であるに對して十三日までには僅々三百數十種の希望者があるばかりだと云ふ、一名四種目以上を選擇することのできる規程であるから、一千種に達しても出場者は頭數からすれば三百名に滿たぬ寥々たるものである、一萬一千有餘の人口を有する市とすれば大海の一滴の感がある、これでは果して旅順市民運動會として誇るに足るであらうか

◇

回を重ねる每に盛大となるべき運動會が逆に衰退して行く傾向のあるは市の名譽のためにも面白くない、市民は何がために斯く無關心となり又ならんとしつゝあるのか、原因は色々あらうが其主なるものは運動會の組織と方法に缺陷が存するのではなからうか

◇

競技本位のものと、遊山氣分を含んだ運動會なる名稱のものとは根本の出發點に於て差異がある、市民の大部分は運動會なるが故に其の一日をドンチャン騷ぎで愉快に小人も大人も遊びたいとの希望はある、其れがシカツメらしい競技によつてのみ行はれるならば運動會と稱する意味が現はれないのである

◇

故に旅順市民運動會は市民運動會は市民全體の希望を容れての競技本位を去り運動會としての本來の性質に還元し擧行せしめるならば年中行事の一つとして全市は當日をもつてお祭り氣分に浸ることができ、會は年々盛大となるであらう

來旅する筈

警官の新配置

十一日附で旅順署に左記の警察官配置に決定した
松原敎義、森武男（以上練習所修了生）澤田石岩三郎（警ロ）山崎美巳（四平街）

高橋氏追悼碁會

關東廳秘書課長安藤氏外二名が發起と爲り十四日午後四時半から千歲俱樂部に於て故關東廳秘書官高橋寬氏の追悼圍碁會を催した

少年誘拐さる
監禁されたか

王家店會李溝屯李新增の二男長春子（一五）及び同會屯一五李秀峰長男小八子（八）の兩人は四月二十九日午前中大連市外周水子番地不詳韓玉明に誘拐され八方搜査したが杳として消息が分らぬが仄聞する處に依ると旅順署管內に監禁されてゐるらしいから十三日搜査方を願出た

會行政講習會

旅順民政署地方係では來る十四日から三日間に亘つて管內會吏員に對し會行政實務講習會を開催するが其日割左の如し
十四日　方家屯會事務所
十五日　三澗堡會事務所
十六日　王家店會事務所

木下長官の招宴

木下長官は十三日午後六時十五分から官邸に於て大連記者俱樂部と旅順記者を招待し一夕の懇親宴を開催したが、長官はデザートコースに入るや立ちて電通大連支社長內海、吉川新舊兩氏を主賓として招待したる一場の挨拶あり、犧牲氏の謝辭に內海吉川兩氏の挨拶に主客歡を盡し八時半散會した

金澤聯隊區將校の見學團

金澤聯隊區將校滿鮮見學團一行十六名は憲兵中佐佐藤喜四郎氏指導の下に十六日午前九時着の列車で

暴民の爲傷ける警官表彰されん
警務局長に電請中

關東廳警務課にては奉天勸業公司農場公太堡に於て菅原、根本、船越の各巡查に外二、三名のものが支那暴民のために重輕傷を負ふた事件に關し直に東上中の藤岡警務局長に十三日急電を發し經過を報告したが、此等の勇敢なる巡查に對して多分公傷規程を以て慰藉されるであらう

同浴場前に於て吉野町方面から自轉車で來た軍司令部の給仕三上に突かけ三上は其場に跳返され人事不省に陷ちたので直に自動車に乘せ關東廳病院へ舁つぎ込んだが三上は後頭部に全治一週間の擦過傷を負ふた

大社教春祭

出雲大社教旅順教會所に於ては來る十八日から三日間春季大祭のため左の行事を擧行する、十八日宵祭十九日本祭、廿日祝祭で每夜講話あり、本祭の當夜は筑前琵琶、奉納和歌、生花展覽會を催すと

山崎末松氏

乃木町三丁目七七時計商山崎末松氏（三八）は去る十日腸チブス患者として療病院へ收容されたが十二日午後死亡十三日龍心寺にて埋葬式を擧行した

くさねむ短歌會

滿洲短歌會旅順支部主催のくさねむ短歌會は十二日午後一時から市內千歲俱樂部で開催したが大連から西田猪之輔、內山茂雄、末野稠、鈴木千草、氷原星の雫、西島貞子の幹部連あり、旅順は菱田世紀、中尾千代子等合計十六名で題詠に移り、終つて晩餐會を催し七時散會した、因に當日の會員互選に依る高點歌を擧げると

この街の見ゆるものみなおちつけりしばし移りて住まむと思ふ　七點　內山義雄

道のべの斑入りの小石打ち割れば血のにじむやと思はるゝ　七點　菱田世紀

山土饅頭の石積みの塀一樣に曠野のはてに夕陽にむけり　六點　西田猪之輔

尚支部では每月一回短歌會を開催の豫定である

賣掛代を浚ふ

山東生れ當時瓦房店西區共榮街雜貨商王子鳴方店員趙永紀（二〇）は去る五月八日大石橋の取引先から賣掛代金一千四百圓を集金し其の足で拐帶逃走したが、旅大方面へ高飛びしたらしい形跡あり瓦房店署からの通牒に接した旅順署では直に手配を開始した

自動車が少年を撥ね飛ばす

敦賀町滿洲タクシー運轉手篠原忠一（三〇）は十二日午後六時半頃旅第一二一號を運轉して乙女橋から大正公園に向け疾走中櫻町三丁目共

黃金臺

關東州水產試驗場で本年初めて試みられた龍王塘及水源池の公魚卵の孵化試驗は美事に成功し全部孵化せしめることができたので設備品を全部引揚げた
○―○
朝鮮總督府から送付して來た若布の移殖は嶺前屯會嶺甲海地先に養殖場を設け蕃種に着手したが大體の準備を了つた
○―○
鰮の鹽貯藏試驗は引續き行つてゐるが今週は黃華魚及金頭魚鹽藏の試驗に着手する
○―○
本月五日から十一日までに至る天然痘罹病者は大連八名、沿線二名であつた、尚腸チブス其他流行性に關する豫防に關し衞生課では極力各署に注意を與へてゐる

公休日

旅順ヤマトホテル支配人川原氏が星ケ浦の支配人と同行で上海方面の視察から歸つての話▲用命は黃金臺のホテルへ避暑客を勸誘することであつた▲ツマリ早手廻しに特別契約を上海地方の外人と結ぶ爲▲川原さん「多少豫約はして來ましたが、今年から一つダンスホールを設けやうかと考へましてネ」と▲ダンサーの美しい日本人二、三名を上海から仕込んで來る豫算▲「ダンサーにエプロンをかけるかと問ふたらネよろしいと言ひましたョ」と▲引張つて來る前に試驗濟の說明が與へてある樣子だから怪しい

コドモページ

童話 繪をかく阿闍梨(三)

江上照彦

やがてその日の眞夜中になりました。すると沙門始めて筆をおいて、御堂の欄干にもたれながら身體を休めました。

外では死靈の衣の様な陰氣な雨が降つてゐました。

すると間もなく不思議や大伽藍の軒には蛇の形をした青い鬼火が、ぐる〳〵とからみながら燃えはじめ、池に落ちる雨はひそ〳〵と怖しい秘密を語りだしました。

やがて鬼火はふわ〳〵と軒を離れ、酸漿提灯よりも眞赤になつて鐘樓の傍まで來ました。鬼火は赤く青く色を變へながら、ぐん〳〵大きくなつて行きそしていつの間にか赤鬼と青鬼とにかはつてしまひました。赤鬼はぎら〳〵する赤い眼を炎を吐く赤い口とを持つてゐました。青鬼はぎら〳〵する青い眼と、炎を吐く青い口とを持つてゐました。二匹の鬼は臼を思はせる大きな足をどしん〳〵踏みならしながら何かをさがしてゐました。而し間もなく赤鬼青鬼は鐘樓の傍まで來ると一度に「見つけた」と叫びました。

そしてその聲が雷になつてあたりに響きわたりました。

「これだ。この鐘だ。毎日々々俺達を苦めるのは」赤鬼はさも口惜しさうに云ひました。

「さうだ。にくい鐘だ。此の鐘の音を聞くと百萬斤の大釜を片手で支へる此の俺でさへ、まるで亡者の様に震えあがつてしまふ」青鬼は怖ろしさうに云ひました。

「ぶちこはしたいものだ」赤鬼は申しました。

「而し一寸でも是にさはれば俺達がおしまひだぞ」青鬼は答へました。

二匹の鬼はさも〳〵無念さうに大きな釣鐘を眺めてゐましたが、やがて一時にその炎の口からパツと唾を吐きかけました。その勢ひがあまり强かつたので釣鐘は大きく前後にゆれ大伽藍の五色の瓦が五枚下へ落ちて怖ろしい響きをたててわれました。赤鬼青鬼はその音に驚いてふりかへりました。すると伽藍の欄干に沙門がよつかかつてこちらを見てゐるのが見えました。「人間だ。人間だ」鬼は手をうつてげら〳〵嗤ひました。

而し青鬼赤鬼は沙門の朝露よりも輝かしい瞳を見ると、急に震へあがつて煙りの様にどこかへ消えてしまひました。翌朝小僧が曉の鐘をつかうと鐘樓へ上りますと不思議にも釣鐘に赤い銹や青い銹が一面についてゐました。それで小僧が驚いて和尚に此事を申しますと、和尚は蚊の様な聲で「大方雨のせいだらう」と云ひました。

光と影の美

何と美しい模様ではありませんか一寸見ると、まるで友禪染か千代紙のやうです。しかしこれはそんな描いたものや染め出したものではなく、テーブルの上にならべたマッチの箱とマッチの軸を横の方から强い光線を送つて、それによつて出來た面白い光と影とを眞上から寫眞に寫したものなのです。ほんとに面白い實物圖案ではありませんか

ニドメノ大チャンノタンケン (49)

ハルミチ作 ジラウ畫

シマノムスメタチハ　大チャン　ソレカラ　ムスメタチハ　クレニ　ナニカ　カハツタコトガア　カカル　モリノナカヲ　ブルルコトヲ　シリマシタ。

「アツ　アンナトコロニ」　ムスメタチハ　シバラレテヰル　アンナイサレテ　大チャンヲ　大チャンヲ　ミツケテ　オドロ

「ヨシ、ワタクシタチハ　大チャンヲタスケヤウ」　ミンナハ　カタスケヤウト　ダンダン　オクヘ　オクヘト　ハイツテイキキマシタ。大チャンハ　シマノムスメタチガ　タスケニキテクレタコトヲ　ヨロコビマシタ。

タク　ケツシンヲシマシタ。

學校と家庭

よく跳ねる州内の兒童と 案外腕力のない公學堂の兒童

豫て關東廳體育研究所で調査中であつた關東州內初等學校兒童の體力檢査の結果は三ケ月の日子を費して漸く完成したが、小學校は滿十二歲の男兒に公學堂は初等科第三學年につき懸垂と立幅跳の二種目の試驗を行つた結果一つの表を得た。それによると公學堂生は內地の各小學兒童よりは遙かに劣つてゐるが、州內小學兒童は立幅跳に於て第三位を占め懸垂では大阪市小學兒童のそれよりはよい成績を示してゐる。內地の小學兒童と州內初等學校の兒童との體力の比較を擧げて見ると

立幅跳(平均數)

岐阜縣	一、七七米
關東州	一、七四米
富山縣	一、七一米
公學堂	一、四七米

懸垂(五回を最高の體力として算定)

岐阜縣	四、四八回
富山縣	三、六四回
關東州	二、二九回
大阪	一、七〇回
公學堂	〇、八四回

右の表によつて見ると腕力と脚力とが最もよく調和してゐるのは岐阜縣小學校で關東州內小學校兒童は腕力に於て稍劣つてゐる。又このテストによつて支那人兒童は全く腕力に缺けてゐることが判つた。以上の如き體力檢査は關東廳に於て今回初めて施行したのであるが今後は毎年この種の檢査を施行し小學兒童の體力增進に對する新しい研究方法を講ずる方針であると

大廣場校の保護者聯合運動會

大廣場小學校では學校と家庭の親交を計り且つ其の接觸を緊密にせんとする趣旨により一昨年以來春季に學校保護者聯合の團體的運動會を開催してゐるが本年は來る六月二日(第一日曜)新綠薫る同校々庭に於て盛大に擧行、兒童保護者の最も興味ある各種競技を行ふと

石田訓導の二葉の記 聖德の特輯號として發行

聖德小學校石田訓導の「二葉の記」が同校保護者會報「聖德」の特輯號として發行された。僅か九十五頁の小册子ではある。しかし收むる所は一行一句すべて石田訓導擔任兒童の生活から滲み出た金玉の文字である。先づ四月四日の入學式より筆を起し三月二十五日の終業式まで數十項目に亘り石田訓導の其の日〳〵の教育體驗が批判を通して如實に描き出されてゐる。而もすべてが毎日學級から家庭へ送つた日記から蒐錄したものだけに生命が躍如としてゐる。

學校だより

◇入試存廢委員會延期 十三日に大廣場校で開催される筈であつた入試存廢研究の委員會は中等學校側の都合により二十日十時から開催に變更された

◇アカシヤ編輯委員會 十五日午後三時から大廣場校に於て奬學會が發行してゐる兒童文集アカシヤの編輯委員會が開催されるが該アカシヤは從來年三回發行のところ本年より二回發行に更める由、尙ほ本年度第一回分は六月下旬發行の豫定であると

新刊教育書紹介

▲教育論叢(五月號) 地理科往來物についての研究、私的惡は公的利、修身教授と德目との關係トルストイの人生論を批評して教育則愛の探究に及ぶその他の講話、研究、教育、隨筆、教育春秋等(五十錢東京牛込區赤城元町文敎書院)

童謡

じどう車

松林小學校三年 大橋壽江

じどう車ぶう〳〵
はしつてる
まちからまちへと
走つてゐる
わたしが町かど」
たつてゐたら
大きなお目めを
ひからして
むかふのほうへ」
いつちやつた
じどう車ぶうぶう

はしつてる
おきやくをのせて
はしつてる
大きな音を
たてながら
おほきなおくちを」
あけたまま
むかふのほうへ
いつちやつた
じどう車ぶうぶう」
はしつてる
わたしも一ど
のつてみた
あんまりはやくて」
めがまつた
おうちもおひとも
あとへ行く

じどうしやほんとに
はやいな。

オセックスンダ

大廣場小學校尋一 阿部庄一郎

オセツクスンダ
五月六日
オカアサンオ人形
カタヅケル
ボクモテツダイ
シマシタヨ
モモタロサンモ
キンタロモ
ミンナオハコニ
イレマシタ
マタマタセツクガ
クルマデハ
オトナニネンネ
シテオイデ

皇后陛下來る十七日に御内着帯式を擧げ給ふ
―十三日公式に發表さる―

【東京十三日發電】皇后陛下は來る十七日御内着帯式を擧げさせらるゝ旨十三日公式に發表された

御機嫌益々麗はし

【東京十三日發電】御妊娠五ケ月に亙らせられる皇后陛下には御機嫌益々麗しく別項の如く十七日御内着帯式を行はせらるゝが、當日陛下には御袿袴姿にて竹屋女官長介添へ申上げ出御あらせられて皇后宮職員、坂田、梅林寺兩勅産婦の奉仕で御式は極御内々に行はせらるゝ筈である、尚陛下には最近獨逸より歸朝の磐瀨御用掛と塚原侍醫との拜診を受けさせられ、御内苑の御散策等適宜の御運動に專ら御靜養に努め遊ばされてゐると承る

内鮮滿連絡の新造機でけふから試驗飛行
愈よ七月一日から輸送を開始

【東京特電十四日發】日本航空輸送會社では過般來内鮮滿連絡旅客輸送機スパーユニヴアーサル機二臺の組立て中であつたがいよ〳〵十三日終了、十五日より試驗飛行をなすことになつた、斯て七月一日より旅客輸送を實行する筈である

所要時間と料金

所要時間

區間	時間
東京大阪間	一時間三十分
大阪福岡間	二時間五十分

料金

區間	料金
東京大阪間	三十圓
大阪福岡間	四十圓
福岡蔚山間	三十圓
蔚山京城間	二十圓
京城大連間	四十圓

大連迄の開通は八月となるか
設備は急いでする 麥田大連營業所長語る

右に就き麥田大連營業所長は東公園町の事務所で語る

本社からまだ詳細な通知に接しませんが旅客輸送の七月一日開始は本社が主務省に對して履行の義務を負つてゐるのです但し

新造機 二臺のみを使用して福岡あたり迄で我慢するか新舊機混用で全線に亘り一齊に開始するかは未定です、之が準備として各地から飛行士が五、六、七の三月に交替上京して夫々一ケ月の新造機操縦練習を行ふ豫定で當地からも六、七の兩月に一人づゝ派遣します、結局當地まで開通するのは八月に入るかとも思ひますが格納庫その他の設備は極力早急に竣工させます、郵便飛行の成績ですか？一日まづ平均内地向十通から

十五通 まで、餘り多忙とはいへませんがこれは蔚山までしか飛行機が利用できないためだらうと思はれます、朝鮮向郵便物は現在では皆無といつていゝ狀態です

横斷飛行の準備整ふ
カナダ、東京間

【東京十四日發電】北米カナダから東京までの太平洋横斷無着陸大飛行計畫はタコマ飛行場教官ハロルド、ブロムレイ中尉が計畫してゐる、實施時期は六月半から七月初めまでの間であるが使用飛行機は四百馬力、時速二百四十キロと云ふ素晴らしい一人乘單葉機で、既に萬端の用意も成り出發時期を待つばかりとなつてゐると

上海日報公會東北視察團來る
きのふ榊丸で一行二十三名 大いに氣焔を擧ぐ

上海における言論界の權威と云はれる五大新聞社員廿三名よりなる上海日報公會東北視察團一行は既報の如く榊丸で十四日午後大連に上陸した、一行は團長格たる申報の張竹平氏を初め特に一行の爲に上海日報日本特派員として中國新聞界切つての

日本通 たる鮑振青氏の加はるなぞ賑々しい顏ぶれであるが、滿蒙視察に好奇のまなこを輝かしてゐた、特に一行を代表して上海時事新報記者程滄波氏は船中出迎への記者團の問ひに對しリファインされた快い應答ぶりで

中國の政界の今後ですつて、難しいですねこのことは私等自身でも未知數な問題ですよ、國民政府は將來如何に進むかと云ふ事には頗る興味のある問題でせう、國民全體が三民主義をもつて政府が樹立した政策に

邁進し て行く時こそ判然した國民政府の今後と云ふものが話せるのです、だが今國民の殆ど總べてが三民主義者になりつゝある事は事實です、蔣介石對馮玉祥との間の紛糾もお互が同主義の下に今日まで妥協して來たのですから誤解が一掃されたら結局武力に訴へなくても濟む事と思ひます、同じく廣東廣西兩派の戰ひも極く小部分のもので大局には關係ないと見るのが至當だと思ひます又

反日會 の暴狀とか色々云はれるがこれは支那人自身が日本の國民に對して何も反感があつてするものではなく貴國政府が樹てた政策が不合理な點があると云つて騷いでゐるのであつて、對支政策さへ確立したら恐らく反日の影は消えるであらう、不合理とは即ち隣國にあり乍ら常に一部軍閥派の非倫理的な例へば不平等條約等の政策の爲に禍されてゐるその事を云ふのです、どうも私達の考へによると日本の所謂浪人と云ふ方々が色々策動されるには今後日支國交の

親善の 上に色々な支障を來しはしないでせうか、私達輿論を代表するものは今までもそうですが今後とも公正な立場に立ちしかも輿論の指導者として戰つて行きたいと思ひます、御國の新聞社の方にもこの點は同じ意味で御努力下さい、この旅行團は團體としては最初のもので滿蒙における經濟狀態、文化狀態をよく見て置かうと考へたからです、更に私等から見た最近の中國の

婦人界 の事に移りますがやれアメリカニズムとか毀譽褒貶區々ですが何と云つても過渡期にあるのですから仕方がないでせう、要するに眞實の意味で目覺めてくれゝば好いのです

一行は上陸と共に滿鐵差廻しの自動車に分乘し星ケ浦のヤマトホテルに向うた、ホテルにて少憩の後龍王塘を見學引返し泰華樓にて滿洲報主催の歡迎宴にのぞみ同十時の列車で北上した【寫眞は榊丸船上の一行】

若葉かほる ―きのふ市中所見―

應援華工で作業を開始
怠業を機會に徹底的に改善 國際運輸奉天支店が

【奉天特電十四日發】國際運輸奉天支店に於ける二百名の積卸苦力が突然怠業する迄には、解雇される苦力頭が煽動し、例によつて同盟罷業を開始して會社側を困らしてやるといふ手段で行つたらしく會社側では應急對策を講じ、應援華工として急派された大連からの六十三名、鐵嶺からの十名、長春からの四十五名及び臨時に雇入れた華工百九十一名をもつて作業に取掛つてゐるが、更にこれを機會に徹底的の改善を試みると

解雇されると早合點が原因
奉天國際の怠業

【奉天特電十四日發】既電の如く國際運輸奉天支店の奉天驛貨物積卸苦力二百名が十三日突然怠業せる事件の原因は賃金値上ではないかと云はれてゐたが右に關し白石同支店長は語る

實は現在の使用苦力は貨物の積卸しに不十分な點あり滿鐵荷主側に對しても是非之を改善する必要ある處から既に二ケ月前からその準備を急いでゐたのであるが、急に出來るものでないので大體今月廿日頃から新制度を實施するため

準備を 整へてゐた、之を知つた苦力等はもう解雇されるのだと早合點し苦力頭四名が作業を休んだのでその下に使はれてゐた苦力も全部休んだ譯で別に同盟罷業と云つた程の事でもない、然し會社としては緊弊はドシ〳〵改革する方針であるからこれを機會に充分改善を加へる積りである、既に新苦力も入れてボツ〳〵作業に取掛つてゐる

夫婦共謀して資金詐欺の訴へ
東亞證券の取締役が

大連櫻花臺六四東亞證券株式會社代表取締役長井春雄は昨年十二月八日二葉町七五野口一二の紹介により當時紀伊町三三喜野商會内同居中尾久こと岡野鹿次(五三)を知り共同にて曹達灰製造事業を經營すべく二千三百圓を出資した處、岡野は一月二十日ごろ長井方に來り右二千三百圓は一月十五日ごろ内縁の妻白川フジ(三〇)のため拐帶内地へ逃走されたから之れより奪還のため追跡して來ると内地に至りその儘所在を晦ましたので、岡野が内縁の妻と共謀して打つた狂言に相違ないと長井は憤慨し十四日大連署に岡野を相手取り詐欺の告訴を出した

復讐を期して全大阪柔道軍
七月初旬來滿に決定
選士は六段以下二十五名の多勢

滿鐵運動會柔道部では來る七月初旬全大阪柔道軍を迎へ一決戰を行ふことゝなつた、全大阪軍は二十五名より成り六段一名を大將として五段五六名、四段十名以下全部三段といふ堂々たる陣容で審判員は相互より出すことゝなつてゐるが、大阪軍は多分田畑昇太郎七段これに當るべく本年初めての遠征のことであり、小谷五段石垣四段の新鋭を加へて陣容を増した滿洲軍としては山田六段を大將としてこれに對すべく大阪軍は先年滿洲軍が遠征したる際の復讐戰ではあり必勝を期してゐる點より見て恐らく接戰が演ぜらるゝものと今から期待されてゐる

密航露人發見

當地水上署高等係が十三日午後上海より入港のノールウエー汽船タンシアン號を臨檢中、一名の露西亞人が上海より浦鹽に向つて密航を企てつゝあるを發見した旨船員より申告あつたので、直に本署に連行取調べると同人はハアルマン・ラアイン(二〇)と稱し上海が思はしくないので生れ故郷の浦鹽に歸らうとしたものであると申立てたが、取調官憲に種々反抗したので餘罪あると見込をつけ留置場送り

身投を救ふ

直隷省生れ苦力范金盛(四〇)は數日前より職にあぶれその上生來病身のため此世が嫌になり十二日午後六時頃市内北大山通り海岸より投身自殺を企てたが、死に切れず浮き沈みしてゐるところを附近警邏中の鐵嶺劉恒俗(二〇)が發見北大山通派出所の宮原巡査等と協力救ひ上げられた

身から出た錆
飛んだ滿洲見物

水上署留置場に兩三日前より五十歳前後の一紳士が拘留されてゐたが十三日同人の罪狀明白となり檢察局送りに決した同人は原籍兵庫縣武庫郡御影町、現住大阪東淀川區今里町の桝谷光造(四〇)にて印刷業を營んでゐたが、このほど滿洲見物に出掛ける事となり同じ行くなら一儲けし樣と淺墓にも拳銃彈丸千五百發をトランクに隱匿うらる丸に乘船して來連上陸した所を待合所にて當地水上署員に怪しまれ引つ捕へられたものであると

露天市場に辻强盜
支那人襲はる

十三日午後八時過ぎ柳樹屯の劉喜文(三〇)がズツク袋に大洋六十五圓を入れ露天市場にて所用を果しての歸り途、市場の二區と三區の中間にて二名の支那人風の怪漢が現れ一名は拳銃をもつて劉を脅迫し現金在中の袋を强奪闇にまぎれ姿をかくした、かくと屆出に接した小崗子署では各署に手配犯人搜査の手を進めたが、本稿締切りまでには逮捕にいたらなかつた

死場所を探す若い藝者

十一日午後五時頃逢坂町某樓抱藝者八重松(二〇)が永々お世話になりましたと樓主宛の遺書を殘して家出した儘歸らぬので八方搜索中の處同八時ごろ小雨そぼ降る星ケ浦西海岸を泣きながら徘徊する妙齡の一婦人を警官が發見取調べたるに其女は八重松で死場所を探して居たのであつた、裏面には複雜な事情があるらしいが樓主は泣いて嫌がる女を無理矢理に連れ戻つた

張宗昌氏夫人旅順へ引揚ぐ

永らく星ケ浦ヤマトホテルに滯在し豪奢な生活に世人を驚かしてゐた張宗昌第一夫人及び四人の子供等は十三日午後六時下僕を引連れ三臺の自動車に分乘してホテルを引揚げ行先も告げず旅順へ向つて去つた

三越爭議解決

【東京十三日發電】三越呉服店配達部員の爭議は警視廳官房調停課の調停に依り十三日漸く圓滿解決した

下關の大火
廿六戸燒く

【下關十四日發電】下關市園田町三百六番地前田英助方より十四日午前四時二十分發火し二十六戸を全燒し五時二十分鎭火、病臥中の英助は無慘の燒死を遂げた、損害約三萬圓の見込みである

姦通誘拐の訴へ

大連市泰公街一五一人力車夫張伴明は泰公街一五一仕立職邢峰亭を相手取り十四日大連署へ姦通及び誘拐の告訴を提起した、張は四年前妻高氏(二二)を娶り同棲中昨年十一月より邢を同居せしめた處、邢は張が人力車夫で毎日外部へ働きに出るのを奇貨とし甘言を以て妻高氏を籠絡し遂に情を通じたのみか、一ケ月前張はこの事實を突き止め他へ居所を變へたのに何時の間にかこれを嗅ぎ出し屢々高氏と密會の上、この四月十八日誘拐して他へ隱匿したと云ふのである

船員拐帶逃走

目下大連入港中の鎭港丸船員濱田清吉(二一)は十二日午後八時ごろ同船炊事夫天野喜三郎の所持金二十圓を拐帶逃走したので天野からの願出により目下大連署で所在搜査中

貔子窩會屯長團

貔子窩管内の會屯長約百二十名は金福鐵道築家店驛長に案内せられ去る十日に來連し小崗子公和棧外一二軒の宿屋に分宿して居たが市中各施設を視察し沙河口工場中央試驗所電氣遊園等を廻り一兩日中に貔子窩に歸ると

けふのラヂオ

昭和四年五月十五日(水曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)

自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

自午後七時三十分

一、ニュース
二、英語講座(第一課花見) 大連彌生高等女學校 茶谷茂
三、獨唱と合唱「合唱1夏の夕べ2櫻草、アルト獨唱1死と少女(シウベルト作)2子守歌(山田作)」 滿鐵音樂會演奏部員
四、常盤津(岸澤常盤松島) 彈語り 山下千代
五、講談(清水次郎長荒神山血煙)(第三席) 燕城九正
六、支那唱(時調小曲) 唱 王桂寶
七、料理獻立 師付條月亭
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

本社懸賞當選小説

人生の曲藝 (130)

(無斷轉上演)

瀬野皓太作　淺枝次朗畫

彼女の行方(一)

早川啓吉の必死の努力を持つてしても、葉山百合子の行衛を見つける事が出來なかつた。

彼は藤村子爵に會つて、彼女についての一切を話して、その助力を乞ふたのであつた。いかに彼女は恐ろしき計畫を持つてゐるか、そして彼女が哈爾賓の赤化本部の優れたる女探であるかについて話したのであつた。

子爵はその明けすけな大きな笑ひでそれを打ち消して了つた。

「冗談じやない。あの女は俺が長いこと、ひいきにしてやつてゐる女だ。殊に東京劇場の花形女優じやないか。そんな馬鹿な……」

「いゝえ、これは子爵と個人の資格でお話してゐるのではありません。私は哈爾賓に特派されてゐる陸軍の軍事探偵としてお話申し上げてゐるのです。私が冗談なぞ言ふ譯はありません」

早川は少しばかり顏色を變えた。

「いや、それは充分判つてゐる。判つてゐるが、しかしあまり、突飛な話なんだもんだからな」

「どうだ、この早川を信じて下さい。この突飛とも思はれる事が、實に周到な彼らの計畫なんです。あの女は子爵に近づく爲に有らゆる努力を拂ひ、子爵から探り得るいろいろな秘密を彼女の本國に報告する樣に命ぜられてゐるのです。私はこの事について、隨分長い間その確證を握る事に努力をしたのです。そして、漸く私の豫想に近い證據を握つたのでした」

「證據?」

「さうです。あの女は實に大膽にも荒井研究所の助手に住み込んで荒井博士の手許から重要な書類を盜み去つたのです」

「えつ、荒井博士の!」

藤村子爵は、まるで電氣に打たれたかの樣に立ち上つた。子爵の胸には、葉山百合子が彼に乞ふて、その友人と稱する素晴らしい若い女性を荒井研究所の助手に推薦した事、そして數日前も荒井博士からの慇懃な禮狀を手にした事が考へ起されたのであつた。

「うむ、それは違ふ。早川君、荒井博士の助手になつてゐる女は青江節子と言ふアメリカ歸りの婦人だよ」

「ところが、その青江節子と稱してゐる女こそ、葉山百合子なのです。而も、葉山は夜は夜でやはり東京劇場に勤めてゐたのです」

「うむ、そして、荒井博士の研究所へ入れて呉れと依頼したのは勿論葉山百合子であつた。じやあ、葉山が青江節子と名乘つて研究所に入り込んでゐるのだと、君は言ふのだね」

子爵は尚も疑ひの念を消さなかつた。苟且にも、荒井研究所の助手たる爲には、かの一女優たる葉山百合子の到底、及びもつかない仕事の樣に思はれたからであつた。

「どうも、自分は不思議でならない」

彼はさう言ひながら机の中から一通の書狀を取出して早川に示した。

「荒川博士からも、此の樣に感謝狀が來てゐる。これを見ると、青江節子と言ふ婦人は、稀に見る勝れた才能を持つた女らしくもある。葉山が言つてゐた事は、例ち、かけひきがなかつたばかりでなく、葉山の推賞した才能よりももつと素晴らしい才能を持つてゐるらしく書かれてある。荒井博士の言葉を借りて言へば、現在の世界の女性が持つ最も勝れたる頭腦の持主だと言ふ事だ。その青江節子が葉山百合子で有樣がないではないか」

「いゝえ、子爵。あなたは葉山百合子と言ふ名前のもとの彼女の中から、その勝れた才能をおみつけにならなかつたばかりなのです。私は充分調査もし、而も疑ひもなくあの研究所に助手をして働いてゐる彼女を、この眼で見究めたのです」

「うむ」

子爵の胸には、しかし、かすかながらも、葉山百合子の持つてゐる、その大膽なる計畫の一端を見つけつゝあつた。

「そこで、子爵。私は重大な過失をして了つたのです」

「過失?」

藤村子爵は、ぢつと早川啓吉の顏をみつめた。

新刊紹介

▲税の話(勝正憲著)「税金のゆくへ」と「日本の租税」とを收め租税の意義、歴史等からその性質種類、税務機關等にいたるまで詳細に而かも通俗的に解説されてゐて、不平ダラ〳〵で納税して納税を終ればそれが如何なる方面に使はれて行くかに案外平氣な日本人などの一讀すべき書である、著者は前東京税務監督局長たりし人(四六判布裝箱入三六四頁金一圓五十錢)東京京橋第一相互館、千倉書房

▲空(平井常次郎著)實用時代にまで漕ぎつけた飛行機の一つの物語りであり航空發達史である內容を上中下三編に分ち上編では征空に成功するまで約四世紀にわたる受難の跡を顧み中編は新らしい空の旅人に贈る著者の手記、下編には近時の航空界の外相とでもいふべきものが記されてゐる(四六判布裝箱入四〇四頁金一圓八十錢)東京日本橋本石町博文館

▲獨逸語(五月號)東京市本郷區森川町大學正門前獨逸語發行所(定價三十五錢)

▲電氣の友(五月號)東京市芝區新幸町一番地第一堤ビルデング電氣の友社(定價四十五錢)

▲農民(五月號)東京府北多摩郡千歳村八幡山入全國農民藝術聯盟(定價十錢)

▲女聲界(五月號)東京市麹町區飯田町四丁目社團法人至誠會(定價二十錢)

▲土上(五月號)東京市牛込區若松町八十一番地國民吟社(定價二十錢)

▲生活と宗教(五月號)名古屋市中區南久屋二ノ七磁慶剛書房(定價十一錢)

▲川柳きやり(五月號)東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社(定價二十五錢)

● 島谷汽船大連出帆
●南鮮、裏日本各港函館小樽行 大成丸 五月十九日
鮮海丸 五月卅一日
長成丸 六月十四日
●寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●各等客室設備あり
●敦賀伏木新潟行
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三四八二・六二二三

● 大連汽船出帆
●青島、上海行 天津丸 五月十四日前十一時
榊丸 五月十七日前十一時
奉天丸 五月廿日前十一時
●天津行 天潮丸 五月十五日前九時
濟通丸 五月十七日前九時
長平丸 五月十八日後二時
●登州府、龍口行 龍平丸 五月十五日後六時
●香港、廣東行 一東洋丸 五月廿日
●安東行 濟通丸 五月廿二日後六時
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八番

● 高橋汽船大連出帆
●芝罘行 大連芝罘間定期船 海壽丸 五月十六日午後六時
大連加賀町三〇 代理店 鹿玉軒記 電六一一七・三八五一

● 社船大連出帆
●鹿兒島三角行 廣發丸 五月十八日
富士丸 五月十七日
●函館、小樽行 井八乾坤丸 五月十六日
大連市山縣通一二九 栃木商事株式會社大連出張所 電話七四一八番

● 政記輪船出帆
成利號 五月十五日營口行
得利號 五月十五日芝罘行
乾利號 五月十五日上海行
有利號 五月十六日安東行
増利號 五月十六日復州行
吉地號 五月十六日香港行
達利號 五月十七日天津行
廣利號 五月十九日威海行
政記輪船股份有限公司 電話四一四一番

● 大阪商船出帆
●門司神戸(大阪行)午前十時出帆 ばいかる丸 五月十七日
はるびん丸 五月廿日
うらる丸 五月廿三日
香港丸 五月廿六日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆 盛京丸 五月廿四日
長沙丸 六月五日
福建丸 六月十六日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行 關東丸 五月廿一日
●北米シヤトル、タコマ行(上海神戸四日市横濱經由) ありぞな丸 六月八日
●紐育行(神戸四日市横濱經由)船客お斷り へいぐ丸 五月廿三日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り あんです丸 五月三十日
●天津行 貴州丸 五月廿一日後四時出帆
河南丸 五月廿五日後五時出帆
武昌丸 六月一日前七時出帆
●横濱直行(後三時出帆) 河南丸 五月卅一日
武昌丸 五月十七日
貴州丸 五月廿四日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬船客案內所 滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル內 電四一三一番
乘船切符發賣所 ジヤパンツーリストビューロー 大連市伊勢町 大連案內所 電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り列符發賣所 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行內 電話九五〇六番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番

● 日清汽船大連出帆
●青島、上海行午前九時出帆 華山丸 五月卅一日
唐山丸 六月八日
大阪商船株式會社 代理店 大連支店 電話四一三七番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

● 阿波共同汽船
●芝罘、威海衛、青島行 第十六共同丸 五月
●芝罘、威海衛、仁川行 第廿六共同丸 五月十五日後七時
●芝罘、威海衛、青島行 第廿一共同丸 五月十六日後七時
●鎭南浦行 長山丸 五月
滿鐵とは貨物通路取扱致候 大連市山縣通二〇〇番地 阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇一番

● 日本郵船出帆
●歐洲行 松本丸 五月卅日漢堡行
照國丸 六月廿五日漢堡行
敦賀丸 七月廿五日漢堡行
だかあ丸 六月六日孟買行
だあばん丸 七月二日孟買行

● 近海郵船出帆
●長崎、神戸、大阪、横濱行 支武丸 五月卅日
勝浦丸 六月廿一日
●横濱行 湊路丸 五月十八日
勝浦丸 五月廿四日
相模丸 六月八日
●天津、牛莊行 勝浦丸 五月十六日
支武丸 五月廿二日
相模丸 五月卅一日
湊路丸 六月六日
●基隆、高雄行 神州丸 五月十八日

● 朝鮮郵船出帆
●青島、仁川行 會寧丸 五月廿五日
●仁川、長崎、鹿兒島行 羅南丸 六月一日
●朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地行貨物受託發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九番 七八四六番
監部通(吾妻橋)
專屬荷客取扱店 丸二商會 電話四二四六・五八八八番